

^{NTT}
docomo

GALAXY S5
SC-04F

取扱説明書
'14.3

はじめに

「SC-04F」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

■ 「クイックスタートガイド」(本体付属品)

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明しています。

■ 「取扱説明書」(本端末のアプリ)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

- ホーム画面で  → 「取扱説明書」をタップします。項目によっては、記載内容をタップして、説明ページよりダイレクトに内容の参照や機能の起動を行うことができます。
- 初めてご利用される際には、画面の指示に従って本アプリのダウンロードとインストールをする必要があります。
- 「取扱説明書」アプリを削除した場合、再度インストールするには、ホーム画面で「Playストア」から「SC-04F 取扱説明書」で検索し、「取扱説明書」アプリをダウンロードしてください。

■ 「取扱説明書」(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

- ドコモのホームページでダウンロード
<http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html>
- ※ 「クイックスタートガイド」の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など連続する操作手順を省略して以下のように記載しています。

- タップとは、本端末のディスプレイを指で軽く触れて行う操作です (P.78)。

(例) ディスプレイのホーム画面から、 (アプリアイコン)、 (Googleアイコン) を続けてタップする場合は、以下のように記載しています。

1 ホーム画面で → 「Google」

- 本書の操作手順や画面は、主にお買い上げ時の状態に従って記載しています。本端末は、お客様が利用するサービスやインストールするアプリによって、メニューの操作手順や画面の表示内容などが変わる場合があります。
- 本書はホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。ホームアプリは、ホーム画面で  → 「設定」 → 「ホーム切替」をタップして切り替えられます。
- ホーム画面やアプリ画面などに、操作方法などを説明するガイダンス画面が表示される場合があります。「今後表示しない」などの選択項目が表示されている画面は、選択すると、以降表示されなくなります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、複数の操作方法が可能な機能や設定は、主に操作手順がわかりやすい方法について説明しています。
- 本書では、「SC-04F」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

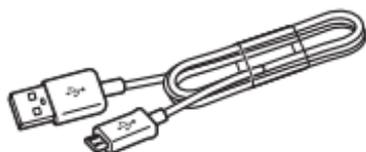
SC-04F (保証書付き)



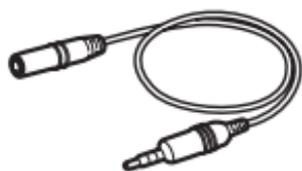
クイックスタートガイド



USB 接続ケーブル SC02



ワンセグモバキャス
アンテナケーブル SC01



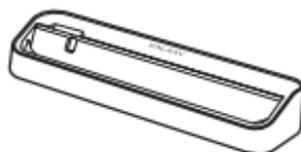
リアカバー SC14



電池パック SC13



卓上ホルダ SC07
(S Viewカバー調整アタ
achment/保証書付き)



マイク付ステレオ
ヘッドセット (試供品)



本端末に対応するオプション品(別売)は、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/option/>

目次

はじめに	本体付属品	2
	本端末のご利用について	7
	安全上のご注意（必ずお守りください）	10
	取り扱い上のご注意	36
	防水／防塵性能	50
ご使用前の 確認と設定	各部の名称と機能	58
	ドコモ miniUIM カード	61
	電池パック	64
	充電	67
	電源を入れる／切る	74
	基本操作	77
	文字入力	92
	初期設定	106
	通知LED	109
	画面表示とアイコン	110
	ホーム画面	118
	アプリ画面	125
	クイック検索ボックスを使用する	136
	S ファインダーで検索する	141
	最近使用したアプリの一覧	141
タスクマネージャー	142	
ホームアプリの切り替えかた	143	
緊急時長持ちモードを有効にする	144	
docomo LIVE UX	ホーム画面の見かた	146
	ホーム画面の管理	148
	アプリ画面の見かた	154
	アプリの管理	155
	「おすすめ」アプリのインストール	157
	マイマガジンの利用	157
	ホームアプリの情報	159

電話	電話をかける	160
	電話を受ける	166
	通話中の操作	170
	履歴	173
	伝言メモ	175
	国際電話 (WORLD CALL) を利用する	176
	通話設定	178
	電話帳	188
	ドコモバックアップ	200
	メール／ ウェブブラ ウザ	ドコモメール
SMS		202
Eメール		211
Gmail		225
緊急速報「エリアメール」		227
ウェブブラウザ		230
アプリ	dメニュー	243
	dマーケット	244
	Playストア	244
	Samsung Apps	246
	おサイフケータイ	247
	トルカ	253
	モバキャス	255
	テレビ (ワンセグ)	264
	カメラ	283
	ギャラリー	300
	プレイヤー	308
	GPS / ナビ	322
	時計	327
	Sプランナー	331
	ボイスレコーダー	332
	電卓	335
ドコモバックアップ	336	
YouTube	341	

アプリ	辞書.....	342
	S Health	343
	Sボイス.....	345
本体設定	設定メニュー	346
ファイル管理	ストレージ構成.....	421
	ファイル操作	427
データ通信	Bluetooth通信.....	433
	NFC通信.....	439
外部機器接続	パソコンとの接続.....	441
	プリンターとの接続.....	445
	メディアファイル共有機能対応機器との 接続.....	446
	MHL 接続でテレビに表示	449
海外利用	国際ローミング (WORLD WING) の 概要.....	451
	ご利用できるサービス	452
	ご利用時の確認.....	453
	帰国後の確認	458

付録／索引

試供品	459
トラブルシューティング (FAQ)	461
スマートフォンあんしん遠隔サポート	
	482
保証とアフターサービス	483
ソフトウェア更新	488
主な仕様	491
携帯電話機の比吸収率 (SAR) などに ついて	498
輸出管理規制	506
知的財産権	507
SIMロック解除	512
索引	513

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM / GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM / GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ディ스플레이は、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- microSDカードや本端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 本端末は、iモードのサイト（番組）への接続やiアプリなどには対応していません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- モバキャスは通信と連携したサービスであるため、サービスのご利用にはパケット通信料が発生します。パケット定額サービスの加入をおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応していません。
- 本端末では、マナーモード中（サイレント、パイプ）でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、シャッター音など）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は以下の手順で確認できます。

ホーム画面で  → 「設定」 → 「端末情報」 → 「ステータス」をタップします。

- 本端末のソフトウェアを最新の状態にすることができます (P.488)。
- 本端末は、オペレーティングシステム (OS) のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になったりすることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し端末のセキュリティを確保してください。
- 万が一紛失した場合は、ハングアウト、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやSNSなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、<http://www.nttdocomo.co.jp/>をご覧ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. 本端末、電池パック、アダプタ、USB接続ケーブル、
卓上ホルダ、ワンセグモバキャスアンテナケーブル、
ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）
..... P.13
2. 本端末の取り扱いについて P.16
3. 電池パックの取り扱いについて P.21
4. アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて… P.24
5. ドコモminiUIMカードの取り扱いについて
..... P.27
6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて… P.27
7. 材質一覧 P.29
8. 試供品（マイク付ステレオヘッドセット）の取
扱いについて P.33

1. 本端末、電池パック、アダプタ、USB接続ケーブル、 卓上ホルダ、ワンセグモバキャスアンテナケーブル、 ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

危険



禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

防水性能についてはこちらをご参照ください。

→P.50「防水／防塵性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に液体（水や飲料水、ペットの尿、汗など）を浸入させないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



指示

本端末に使用するオプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告



禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子、ヘッドホン接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。（NFC / おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください。）



指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- ・ 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
 - ・ 本端末の電源を切る。
 - ・ 電池パックを本端末から取り外す。
- 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。



指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらゲームやワンセグ視聴などを長時間行うと本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなる場合があります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2. 本端末の取り扱いについて

警告



禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。



禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。



禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

本端末内のドコモminiUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。



指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。



指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ内部には耐衝撃性の樹脂、カメラのレンズの表面にはアクリル部品を使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意



本端末が破損したまま使用しないでください。

禁止

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

禁止

けがなどの事故の原因となります。



誤ってディスプレイを破損し、内部物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

禁止

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。内部物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。



自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

指示

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について → P.29「材質一覧」



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

- 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

危険



禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

火の中に投下したり、熱を加えたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

警告



禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。



指示

ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠ 注意



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4. アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて

警告



アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

禁止

火災、やけど、感電の原因となります。



ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

禁止

火災、やけど、感電の原因となります。



DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

禁止

火災、やけど、感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

禁止

感電の原因となります。



コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

禁止

火災、やけど、感電の原因となります。



アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

禁止

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、上下左右に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタ：AC100V

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）



指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

指示

火災、やけど、感電の原因となります。



ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

指示

火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。

指示

火災、やけど、感電の原因となります。



本端末にアダプタを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。

指示

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモ miniUIM カードの取り扱いについて

注意



ドコモ miniUIM カードを取り扱う際は切断面にご注意ください。

指示 けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は 15cm 以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源OFFなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

7. 材質一覧

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース	PC	非導電蒸着
外装ケース（側面枠）	PC	非導電蒸着
スピーカー	SUS	研磨／つや有仕上げ
カメラレンズ周囲部分	アルミニウム	陽極酸化処理
カメラレンズパネル	ガラス	AFコーティング
ライト／センサーパネル周囲部分	アルミニウム	陽極酸化処理
ライト／センサーパネル	アクリル	—
microSDカード／ドコモminiUIMカードスロット	SUS304	指紋／スクラッチ防止圧延処理
外部接続端子キャップ	PC	非導電蒸着
サイドキー（電源／画面ロックキー、音量キー）	アルミニウム	陽極酸化処理
ホームキー（周囲部分）	アルミニウム	陽極酸化処理
ホームキー（中央部分）	エポキシモールド化合物	UV塗装

使用箇所		使用材質	表面処理
卓上ホルダ用充電端子		亜鉛ダイキャスト	金メッキ
赤外線LED		PC	—
ディスプレイパネル		強化ガラス	AFコーティング
ヘッドホン接続端子 (周囲部分)		SUS	電着塗装
リアカバー SC14	本体	ガラス繊維強化PC(10%)	SFコーティング
	防水用パッキン部分	シリコン	—
	保護シール部分	銅、グラファイト	PET
電池パック SC13	端子部分	Au	金メッキ
	本体	PC	テクスチャ加工
	ラベル	PET	つや消仕上げ
	防水シール	紙	ラミネート加工

使用箇所		使用材質	表面処理
USB接続 ケーブル SC02	USBコネ クタ部	SPCC	—
	microUSB コネクタ部	HTN、 STS304	ニッケルメッ キ
	コネクタ ケース	PC	UV塗装処理
	ケーブル	TPE (Non pvc)	—
卓上ホル ダSC07	外装ケース	PC	—
	接触端子	銅	ニッケルおよ び金メッキ
	感知スイッ チ	PA	—
	ラベル	PET / ポリ エステルフィ ルム	—
	底面ゴム	ウレタンゴム	—
	S Viewカ バー調整ア タッチメン ト(本体)	PC	UV塗装
	S Viewカ バー調整 アタッチメ ント(マグ ネット部)	ネोजウム N35H	—

使用箇所		使用材質	表面処理
ワンセグ モバキャ スアンテ ナケーブ ル SC01	接続プラグ (先端部)	C3604BD、 C2680	金フラッシュ メッキ
	接続プラグ (外装)	オレフィン系 エラストマー 樹脂	シボ加工
	ケーブル	スチレン系エ ラストマー樹 脂	—
マイク付 ステレオ ヘッド セット	イヤホン外 装部	PC	UVコーティ ング
	ケーブル	NON PVC	—
	スイッチ/ マイク外装 部	PC	UVコーティ ング
	スイッチ	PC	Corrosion処理
	イヤピース	シリコン	—
	プラグ (金属部)	真鍮	ニッケルおよび 金メッキ
	プラグ (樹脂部)	POM	—
	プラグ外装 部、ケーブ ル分岐部	NON PVC	—

8. 試供品（マイク付ステレオヘッドセット）の取り扱いについて

危険



禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告



強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

禁止 火災、やけど、けが、感電の原因となります。



端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

禁止 火災、やけど、けが、感電の原因となります。



自動車などを運転中にマイク付ステレオヘッドセットを操作しないでください。

禁止 事故の原因となります。



歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、マイク付ステレオヘッドセットの音量を上げないでください。

禁止 事故の原因となります。

⚠ 注意



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

禁止

火災、やけど、感電の原因となります。



マイク付ステレオヘッドセットのコードを持って本端末を振り回さないでください。

禁止

本人や他の人に当たったり、コードが外れたりするなど、けがなどの事故、故障、破損の原因となります。



マイク付ステレオヘッドセットを使用するときは、音量に気を付けてください。

禁止

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。



子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

指示

けがなどの原因となります。



乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

指示

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- SC-04Fは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。

電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、USB接続ケーブル、ワンセグモバキャスアンテナケーブル、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
 - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やヘッドホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- ディ스플레이は金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

本端末についてのお願い

- ディ스플레이の表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
ディスプレイが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご利用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子やヘッドホン接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子キャップを閉じた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- 指紋センサーは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で清掃してください。
指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり、認証性能の低下や誤動作の原因となります。

- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 本端末をデコレーションしたり、ペインティングしたりしないでください。
誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■ 電池パックは消耗品です。

使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■ 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■ 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■ 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。

- ・ フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- ・ 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタ、卓上ホルダについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタや卓上ホルダが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。
- 医療用機器や電子機器などの近くで磁力の影響を受ける場所では使用しないでください。
- 卓上ホルダのS Viewカバー調整アタッチメントは磁石を使用しています。砂鉄や金属製の異物（クリップなど）が付着していないことをお確かめの上、本端末を取り付けてください。異物がある場合、柔らかい布などで取り除いてからご使用ください。
- 卓上ホルダのS Viewカバー調整アタッチメントにキャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類を近づけないでください。S Viewカバー調整アタッチメントの磁石の影響でカードの磁気に変化して使えなくなることがあります。

- 液晶画面保護フィルムを使用する際は、厚さ約0.3mm以下のものをご使用ください。フィルムが干渉して正しく卓上ホルダに装着できない場合があります。
- S Viewカバー調整アタッチメントの取り付け、取り外し時に無理な力が加わらないようにしてください。無理な力が加わると故障や破損の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- S Viewカバー調整アタッチメントを無理に取り外そうとすると、指や爪などを傷つける場合がありますので、ご注意ください。

ドコモ miniUIM カードについてのお願い

- ドコモ miniUIM カードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他の IC カードリーダー／ライターなどにドコモ miniUIM カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモ miniUIM カードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモ miniUIM カードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- ドコモ miniUIM カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモ miniUIM カードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモ miniUIM カードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4 FH1 / DS4 / OF4 / XX8



- 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- FH/DS/OF/XX : 変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDM、その他であることを示します。
- 1 : 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- 8 : 想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。

 : 2400MHz ~ 2483.5MHz
の全帯域を使用し、かつ移動
体識別装置の帯域を回避不可
であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetoothデバイス使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN (WLAN) についてのお願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・ 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
 - ・ WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz 機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 5GHz 機器使用上の注意事項

本端末は、5GHzの周波数帯において、5.2GHz帯（W52）、5.3GHz帯（W53）、5.6GHz帯（W56）の3種類の帯域を使用できます。

- 5.2GHz帯（W52 / 36、40、44、48ch）
- 5.3GHz帯（W53 / 52、56、60、64ch）
- 5.6GHz帯（W56 / 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）

本端末に内蔵の無線LANを5.2GHz / 5.3GHz帯でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについてのお願い

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライター、P2P機能をご使用の場合、十分に離してお使いください。
また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては使用が制限されている場合があります。
その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

試供品（マイク付ステレオヘッドセット）についてのお願い

- **水をかけないでください。**
マイク付ステレオヘッドセットは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなる場合がありますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

- 本端末からマイク付ステレオヘッドセットを取り外すときは、必ずマイク付ステレオヘッドセットのプラグ部分を持って本端末から水平に引き抜いてください。

無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク 」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面で  → 「設定」 → 「端末情報」 → 「認証情報」
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

- FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。

本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

SC-04Fは、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けられた状態で、IPX5^{※1}、IPX7^{※2}の防水性能、IP6X^{※3}の防塵性能を有しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
- ※2 SC-04FにおけるIPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの所にSC-04Fを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。(水中においてカメラ機能は使用できません。)
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75 μ m以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

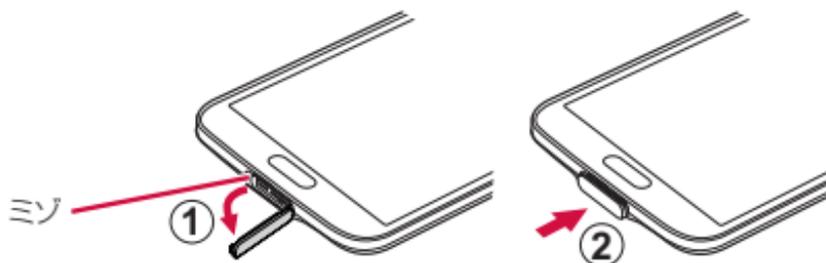
SC-04Fが有する防水性能でできること

- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話ができます。
 - 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- 常温の水道水で手洗いすることができます。
 - 外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
 - 規定（P.50）以上の強い水流を直接当てないでください。
 - ブラシやスポンジ、石鹼、洗剤などは使用しないでください。
 - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
 - 洗った後は所定の方法（P.55）で水抜きしてください。

防水／防塵性能を維持するために

■ 水や粉塵の浸入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 外部接続端子を使用するときは、ミゾに指先をかけて外部接続端子キャップを①の方向に開きます。使用後は外部接続端子キャップをしっかりと閉じて②の方向に押し込み、外部接続端子キャップの浮きがないことを確認してください。



- リアカバーの取り付けかたは、「電池パックを取り付ける」(P.65) 内で説明しています。
- リアカバーは浮きがないように確実に取り付け、外部接続端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- ヘッドホン接続端子、送話口／マイク（上部／下部）、受話口、スピーカーなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子キャップ、リアカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。リアカバーをねじるなどして変形させたり、ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



石鹸／洗剤／入浴剤
をつける



海水につける



風呂場／温泉
で使う



砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 規定（P.50）以上の強い水流を直接当てないでください。SC-04FはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。

- プールで使用する際は、プールの水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、施設の規則を守って使用してください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。卓上ホルダ用充電端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ヘッドホン接続端子、送話口／マイク（上部／下部）、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子キャップやリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップやリアカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

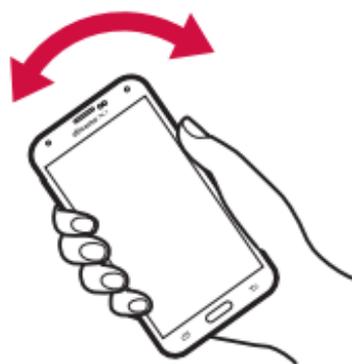
水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

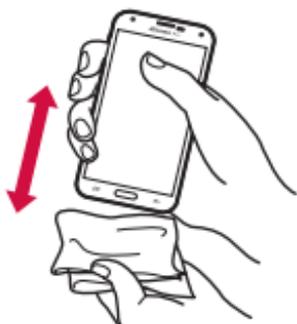
- ① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



- ② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



- ③ ヘッドホン接続端子、送話口／マイク（上部／下部）、受話口、スピーカー、キー、卓上ホルダ用充電端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るよう押し当てて確実に拭き取ってください。



スピーカーの水抜きのために
スピーカーを上にして振る



- ④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
 - 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

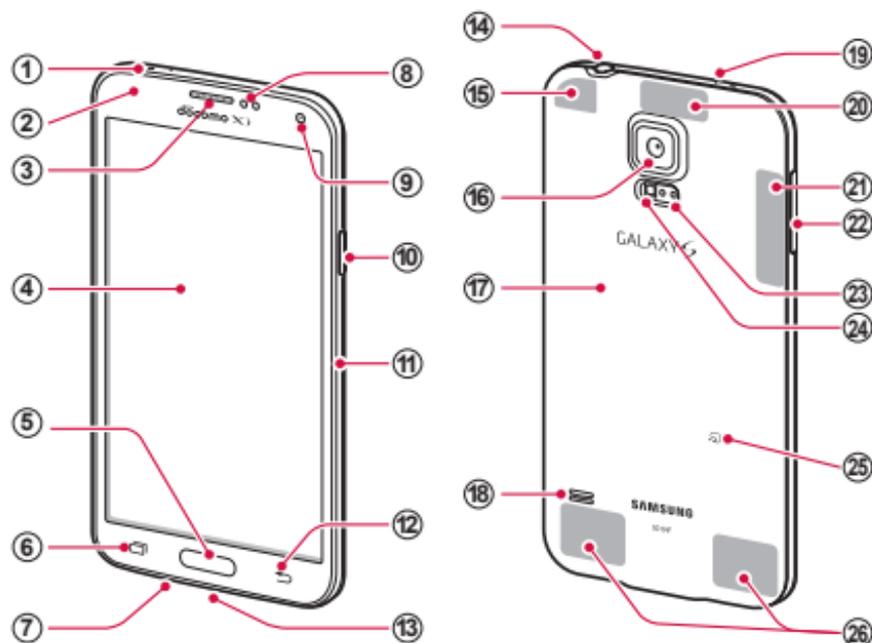
充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりと外部接続端子キャップを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



① 赤外線ポート

- 「Smart Remote」アプリ (P.129) でテレビなど他の機器を操作する際に使用します。赤外線通信によるデータの送受信はできません。

② 通知LED → P.109

③ 受話口

- 相手からの音声聞こえます。

④ ディスプレイ (タッチスクリーン) → P.77

⑤ ホームキー / 指紋センサー

- 操作中の画面をホーム画面に戻します。また、指紋認証に使用します (P.87)。
- 1秒以上押しすと、しゃべってコンシェルまたはGoogle検索が起動します。

- ⑥  **履歴キー**
- 最近使用したアプリの一覧が表示されます。
 - ロングタッチするとメニューが表示されます。
- ⑦ **送話口／マイク（下部）**
- 通常の通話、ハンズフリー使用時の通話、ボイスレコーダー録音時、動画撮影時、Sボイスやメモアプリなどの音声認識時に動作します。
- ⑧ **近接・照度・ジェスチャーセンサー**
- 顔などの接近や周囲の明るさを検知しディスプレイの表示を消したり、手や指の動き（ジェスチャー）を検知し本端末を操作したりします。
- ⑨ **内側カメラ**
- ⑩  **電源／画面ロックキー**
- 2秒以上押して、本端末の電源を入れます（P.74）。
 - 手動で画面ロックを設定できます（P.75）。
 - 1秒以上押すと、電源OFF、機内モードの有効／無効、再起動、緊急時長持ちモードの有効／無効、マナーモードの設定ができます。
- ⑪ **卓上ホルダ用充電端子**
- ⑫  **バックキー**
- メニュー表示などをキー操作の一段階前の状態に戻します。
- ⑬ **外部接続端子**
- 右側の端子はUSB2.0対応のコネクタ、左側の端子はUSB3.0対応のコネクタを接続します。
- ⑭ **ヘッドホン接続端子**
- 付属のワンセグモバキャスアンテナケーブル SC01 やマイク付ステレオヘッドセット（試供品）などを接続する直径3.5mmの接続端子です。
- ⑮ **GPSアンテナ^{*1}**
- ⑯ **外側カメラ**
- 静止画や動画を撮影します（P.286、P.287）。
- ⑰ **リアカバー**

- ⑱ **スピーカー**^{※2}
 - ・ 着信音が鳴ります。
 - ・ ハンズフリー通話時に相手からの音声聞こえます。
- ⑲ **送話口／マイク（上部）**
 - ・ 通常の通話、ハンズフリー使用時の通話、ボイスレコーダー録音時（インタビューモード／会話モード）、動画撮影時などに動作します。
- ⑳ **Wi-Fi / Bluetooth アンテナ**^{※1}
- ㉑ **Wi-Fi アンテナ**^{※1}
- ㉒ **音量キー** → P.376
- ㉓ **心拍数センサー**
 - ・ 心拍数を測定します（P.343）。
- ㉔ **フラッシュ／ライト**
 - ・ 静止画や動画撮影時に点灯します。
- ㉕  **マーク**
- ㉖ **FOMA / Xi アンテナ**^{※1}

※1 アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

※2 リアカバーのスピーカー部分に、ストラップなどを取り付けしないでください。リアカバーが破損する恐れがあります。

お知らせ

- ・ 本端末のホームキーや外側カメラのレンズの周囲、および側面には端末保護のための透明な保護シートが付いています。ご使用の際は、必要に応じてお取り外しください。

ドコモ miniUIM カード

ドコモ miniUIM カードは、お客様の電話番号などの情報が記録されている IC カードです。

- 本端末では、ドコモ miniUIM カードのみご利用できます。ドコモ UIM カード、FOMA カードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモ miniUIM カードが取り付けられていないと、本端末で電話の発着信やメールの送受信、データ通信などの機能が利用できません。
- 日本国内では、ドコモ miniUIM カードを取り付けないと緊急通報番号（110 番、119 番、118 番）に発信できません。
- ドコモ miniUIM カードは、対応端末以外ではご利用いただけないほか、ドコモ UIM カードからのご変更の場合は、ご利用のサイトやデータなどの一部がご利用いただけなくなる場合があります。
- ドコモ miniUIM カードの詳しい取り扱いについては、ドコモ miniUIM カードの取扱説明書をご覧ください。

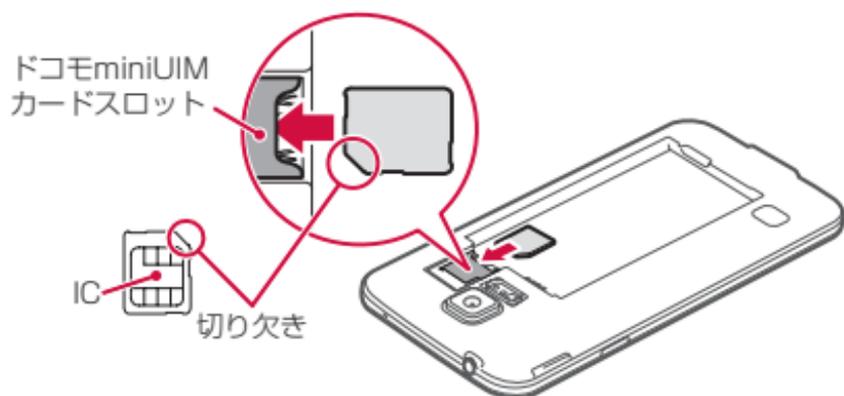
ドコモ miniUIM カードの暗証番号について

ドコモ miniUIM カードには、PIN コードという暗証番号が設定されています (P.414)。

ドコモ miniUIM カードの取り付け／取り外し

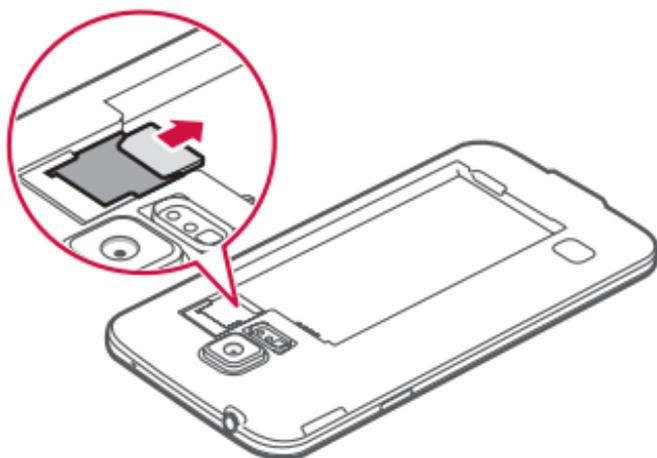
ドコモ miniUIM カードを取り付ける

- 1 リアカバーを取り外す (P.65)
- 2 電池パックを取り外す (P.66)
- 3 ドコモ miniUIM カードの IC 面を下にして、矢印の向きにドコモ miniUIM カードスロットの奥まで差し込む



ドコモ miniUIMカードを取り外す

- 1 リアカバーを取り外す (P.65)
- 2 電池パックを取り外す (P.66)
- 3 ドコモ miniUIMカードを矢印の向きにまっすぐ引き出す



お知らせ

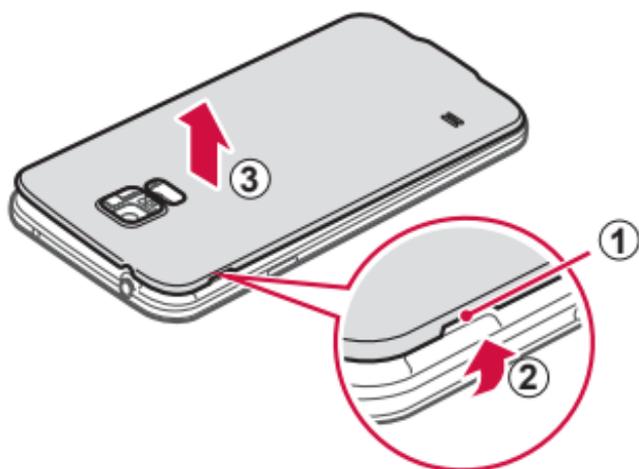
- ドコモ miniUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。
- ドコモ miniUIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモ miniUIMカードが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したドコモ miniUIMカードはなくさないようご注意ください。

電池パック

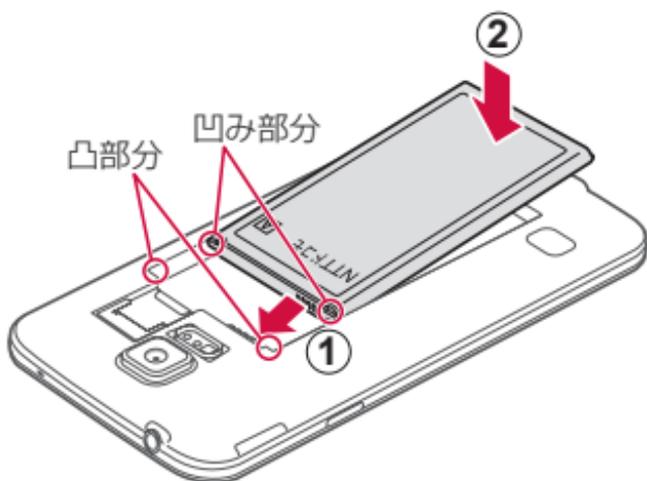
- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- 電池パックやリアカバーの取り付け／取り外しは、本端末のディスプレイなどが傷つかないように、手に持って行ってください。また、指や手で  を押さないようにご注意ください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、無理な力を入れて曲げたり、ねじったりしないでください。リアカバーが破損することがあります。
- 本端末専用の電池パック SC13 をご利用ください。

電池パックを取り付ける

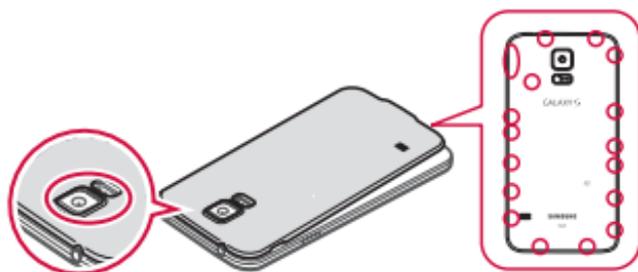
- 1** リアカバーの①の部分に指先をかけて、②の方向へ少し持ち上げ、③の方向に向けてリアカバーを取り外す



- 2** 電池パックの **A** マークを上にして、本端末の凸部分を電池パックの凹み部分に確実に合わせ、①の方向へ押し付けながら、②の方向へ押し込む



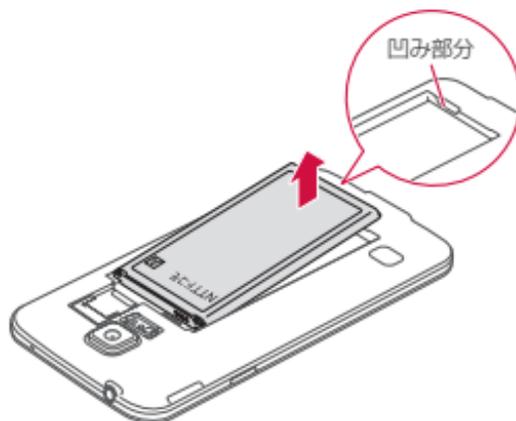
- 3** リアカバーの向きを確認し、外側カメラの位置と合わせてから装着し、○部分をしっかりと押しながらすき間がないように取り付ける
- 防水／防塵性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。
- ※「防水／防塵性能」について→P.50



○部分をしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認してください。

電池パックを取り外す

- 1** リアカバーを取り外す (P.65)
- 2** 本端末の凹み部分を利用して電池パックに指先をかけて、矢印の方向へ持ち上げて取り外す



充電

■ 電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 充電しながらワンセグ視聴などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなる場合があります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくとつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。



Li-ion00

■ 充電について

- ACアダプタ 04 (別売)、ACアダプタ 03 (別売)、DCアダプタ 03 (別売)、DCアダプタ 04 (別売) について、詳しくは該当の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 04、ACアダプタ 03はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中でも本端末の電源を入れておけば、本端末を操作することができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電時間が長くなります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。

- 充電中に電池パックを外さないでください。
- 充電時に電源オフの状態か、画面のバックライトが消灯している状態で急速充電を行います。ただし、通話中は画面が消灯していても急速充電はされません。
- 電池残量が50%以上の場合、急速充電による充電速度が遅くなることがあります。

■ 電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。

- 充電中に本端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わったあと本端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れの警告が表示されてしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、本端末を一度ACアダプタ、DCアダプタから外して再度セットし直してください。

■ 電池パックの使用時間の目安

- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度などで異なります。

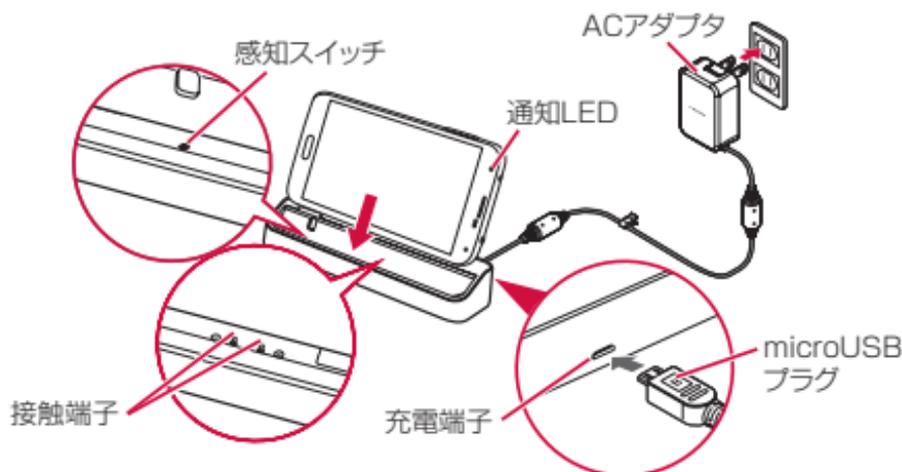
連続待受時間	FOMA / 3G	静止時（自動）： 約500時間
	LTE	静止時（自動）： 約440時間
	GSM	静止時（自動）： 約440時間
連続通話時間	FOMA / 3G	約1020分
	GSM	約700分

■ 電池パックの充電時間の目安

- 充電時間の目安については、「主な仕様」(P.491)をご参照ください。

■ 卓上ホルダを使って充電する

付属の卓上ホルダ SC07とACアダプタ 04 (別売) を使って充電する方法を説明します。



- 1** 卓上ホルダの充電端子に、ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印を上にして水平に差し込む
- 2** ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む
- 3** 電池パックを取り付けた本端末を卓上ホルダに取り付ける
 - 画面の表示が消えている場合は、通知LEDが赤色に点灯します。
 - 充電が完了すると、ステータスバーに  が表示されます。

4 充電が完了したら、本端末を卓上ホルダからまっすぐ上に引き抜いて取り外す

お知らせ

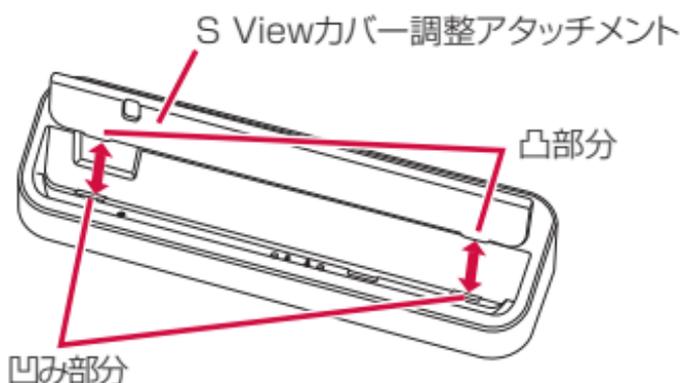
- 卓上ホルダは急速充電に対応していません。
- 本端末の電源が入った状態で卓上ホルダに取り付けると、デスクホーム画面が表示されます。
 - ⊗ をタップするとホーム画面に切り替わります。
 - OFF をタップすると画面が消灯します。
 - ⋮ をタップするとショートカットの編集や表示／非表示の切り替え、各種設定などができます。ホーム画面などを表示状態でも充電することができますが、その場合の充電時間は長くなります。また、通話／通信中は充電が完了しない場合があります。充電を完了したい場合は、通話や通信を終了してから充電することをおすすめします。
- 卓上ホルダに本端末が取り付けられ、感知スイッチが押されている場合のみ、卓上ホルダから充電できます。

■ S Viewカバー調整アタッチメントについて

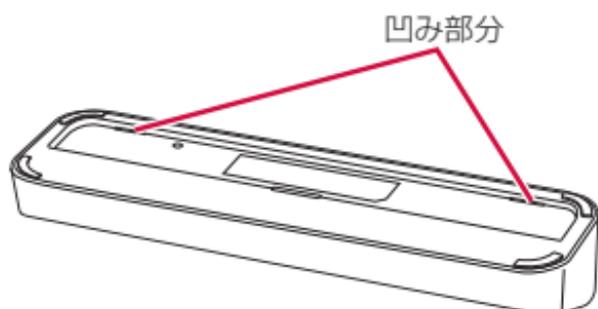
お買い上げ時はS Viewカバー調整アタッチメントが卓上ホルダの上部に取り付けられています。通常はS Viewカバー調整アタッチメントを卓上ホルダに取り付けた状態で充電してください。

S Viewカバー調整アタッチメントを取り外すと、本端末に市販のSamsung製S Viewカバーを取り付けた状態で充電できます。取り外す場合は、S Viewカバー調整アタッチメントを上方向にスライドさせて取り外してください。

- 取り外したS Viewカバー調整アタッチメントを再度取り付ける場合は、S Viewカバー調整アタッチメントの凸部分を卓上ホルダの取り付け部分の凹み部分に合わせてはめ込み、卓上ホルダとS Viewカバー調整アタッチメントのすき間が空かないようにしっかりと押してください。



- 紛失防止のため、取り外したS Viewカバー調整アタッチメントは卓上ホルダの底面に取り付けておくことをおすすめします。S Viewカバー調整アタッチメントの凸部分を卓上ホルダ底面の凹み部分に合わせてはめ込んでください。

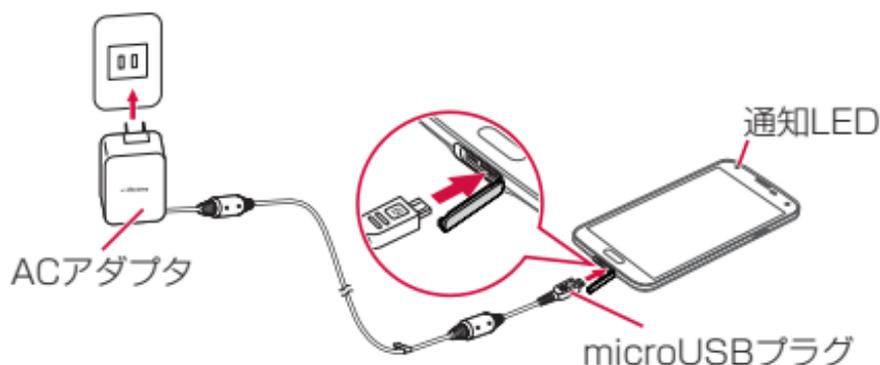


お知らせ

- Samsung製S Viewカバー以外の市販のカバーなどを本端末に取り付けた状態では充電できませんので、ご注意ください。

ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 04 (別売)を使って充電する方法を説明します。



- 1 本端末の外部接続端子キャップを開く (P.52)
- 2 本端末の外部接続端子の右側に、ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして水平に差し込む
- 3 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む
 - 画面の表示が消えている場合は、通知LEDが赤色に点灯します。
 - 充電が完了すると、ステータスバーに  が表示されます。
- 4 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- 5 本端末からACアダプタのmicroUSBプラグを水平に引き抜く
- 6 外部接続端子キャップを閉じる (P.52)

USB接続ケーブル SC02を使って充電する

付属のUSB接続ケーブル SC02を使って本端末とパソコンを接続すると、本端末をパソコンで充電することができます。

- パソコンとの接続のしかたは、P.441をご覧ください。
- パソコンとUSB接続を行うと、パソコン上に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面または「同期セットアップウィザード」画面が表示される場合があります。パソコンと同期せずに充電のみ行いたい場合は、「キャンセル」を選択してください。
- 本端末の状態により、充電に時間がかかる場合や、充電できない場合があります。

電池が切れそうになると

通知音が鳴り、充電を促すメッセージが表示され、ディスプレイが暗くなります。電池残量がなくなると自動的に本端末の電源が切れます。充電を促すメッセージとともに表示される「バッテリー使用量」をタップすると、現在電力を消費している機能が一覧表示されます。機能やアプリによっては、起動しようとするとき電池残量が少ない旨のメッセージが表示され、起動できないことがあります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を2秒以上押す

- ・ 起動画面が表示され、続いてロック画面が表示されます。

初めて電源を入れた場合

画面の指示に従って初期設定を行います (P.106)。

2 をタップ

- ・ ホーム画面を「TouchWiz標準ホーム」または「TouchWizかんたんホーム」に設定している場合は、画面ロックが解除されるまで、画面を上下左右のいずれかの方向にスワイプ (P.79) します。

■ 電波状態を確認する

ステータスバーに電波の受信状態を示すアイコンが表示されます (P.113)。

 が表示されたときは、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外や電波の届かない場所にいます。

電源を切る

1 を1秒以上押す

- ・ 端末オプション画面が表示されます。

2 「電源OFF」→「OK」

- ・ 終了画面が表示され、電源が切れます。

画面ロックを設定／解除する

画面ロックを設定し、タッチスクリーンやキーの誤動作を防止できます。

- 「画面のタイムアウト」(P.370) の設定により画面の表示が消えると、約5秒後に自動的に画面ロックが設定されます。

画面ロックを設定する

1 を押す

- 画面の表示が消え、画面ロックが設定されます。

画面ロックを解除する

1 画面ロック中に / を押す

- ロック画面が表示されます。

2 をタップ

- ホーム画面を「TouchWiz標準ホーム」または「TouchWizかんたんホーム」に設定している場合は、画面ロックが解除されるまで、画面を上下左右のいずれかの方向にスワイプ (P.79) します。

ロック画面について



ロック画面（表示例）
「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

- ① 時計ウィジェット
- ② 天気ウィジェット
- ③ ロック解除ボタン*
- ④ カメラ起動ボタン
- ⑤ マチキャラ*（例：ひつじのしつじくん）
 - ・ メール受信や着信などの情報をお知らせします。
- ⑥ 検索ボタン*
 - ・ 「しゃべってコンシェル」または「Google」アプリを起動し検索できます。

※ ホーム画面を「docomo LIVE UX」に設定している場合のみ表示されます。

お知らせ

- 画面ロック中に不在着信などの通知情報があると、ロック画面に通知情報が表示される場合があります。
- 画面ロックの解除に画面ロック解除方法が必要になるように設定できます (P.381)。

基本操作

タッチスクリーン、モーションを使って多様な操作ができます。

- タッチスクリーンに電気を帯びた物質や金属性の物質が触れないように注意してください。静電気により本端末がうまく動作しないことがあります。
- 充電中に本端末を使用すると、タッチスクリーンが動作しないことがあります。この場合は、本端末を充電機器から取り外してください。
- 本端末を持って操作する場合は、アンテナが組み込まれている部分を手で覆わないようにしてください。

タッチスクリーンの使いかた

■ タッチスクリーン利用上のご注意

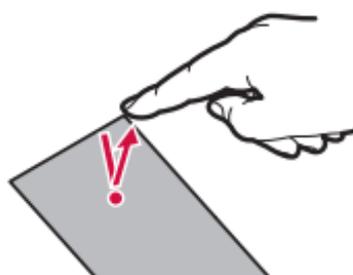
- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼ったままでの操作

本端末のタッチスクリーン（ディスプレイ）は、指で触れて操作できます。本書内では主な操作方法を次のように表記しています。

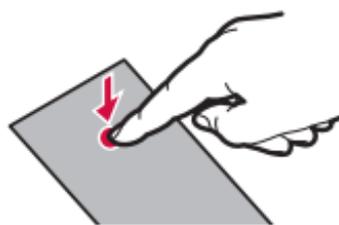
■ タップする／ダブルタップする

表示項目やアイコンなどを指で軽く触れて選択／実行します（タップ）。また、表示されている画像やホームページなどをすばやく2回続けてタップして、表示内容を拡大／縮小します（ダブルタップ）。



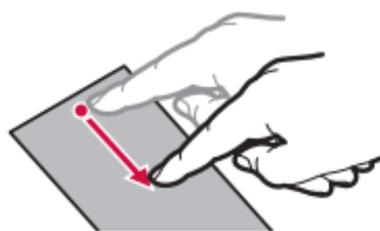
■ ロングタッチする

表示内容や表示項目などを指で1秒以上触れ続けて、メニューなどを表示します。



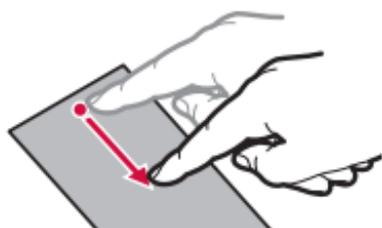
■ ドラッグする

表示項目やアイコンなどを指で触れたまま移動します。



■ スワイプする

表示画面を指で軽くなぞる動作です。



■ スクロールする

表示内容を指で触れながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。



■ フリックする

表示内容を指で触れながら、すばやく上下左右に動かして離し、表示内容をスクロールします。



■ 2本の指の間隔を広げる／狭める

表示されている画像やホームページなどを2本の指で触れながら、指の間隔を広げたり、狭めたりして表示内容の拡大／縮小ができます。



モーション／ジェスチャーの使いかた

簡単なモーション／ジェスチャー動作を利用して、情報の表示、着信音または再生音のミュートなど多様な機能を実行できます。

※ ドコモが提供するアプリ、およびその他一部のアプリでは、本機能を利用できない場合があります。

モーション／ジェスチャーの主な機能

本端末の近接・照度・ジェスチャーセンサーの上で手を動かす、または本端末を動かす、ディスプレイ上でスワイプやタップするなどの動作で、次の操作ができます。

- モーション／ジェスチャーを利用する前に、ホーム画面で  → 「設定」 → 「モーションとジェスチャー」 → 利用するモーション／ジェスチャーをタップ →  をタップしてONにする必要があります。
- 利用するモーション／ジェスチャーをタップすると、各モーション／ジェスチャーのチュートリアルを表示して使いかたを確認したり、利用するアプリや機能を設定したりできます。

■ ブラウズ

センサーの上で手を上下に動かすと、Eメールの本文で画面をスクロールします。



センサーの上で手を左右に動かすと、設定したアプリで画像や音楽の再生時に前後のデータに移動したり、ブラウザ閲覧時に前後のウィンドウへ移動します。



■ ダイレクトコール

SMS一覧画面や、Samsungが提供する「連絡先」アプリの詳細画面などを表示した状態で、本端末を持ち上げて顔に近づけると、その連絡先に電話をかけます。

※ 発信時に、国際ダイヤルアシスト画面が表示されることがあります。



■ スマートアラート

不在着信や新着SMSがある状態で、画面の表示が消えているときに本端末を持ち上げると振動して通知します。

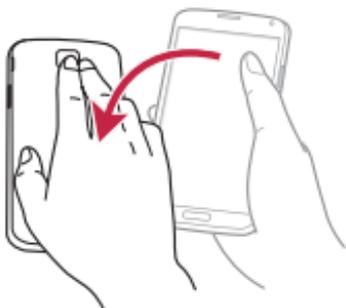


■ 消音／一時停止

手のひらで画面をタッチ
着信音やアラームの鳴動中などに、手のひらでタップすると消音します。また、音楽・動画などの再生中に、手のひらでタップすると再生を一時停止します（ディスプレイOFFの場合は除く）。

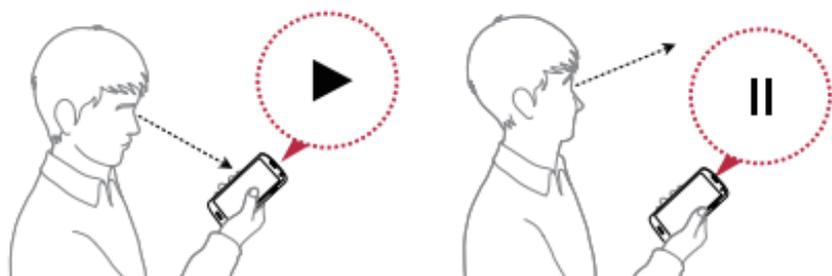


端末を伏せる
着信音やアラームの鳴動中などに、本端末を伏せると消音します。また、音楽・動画などの再生中に、本端末を伏せると再生を一時停止します（ディスプレイOFFの場合は除く）。



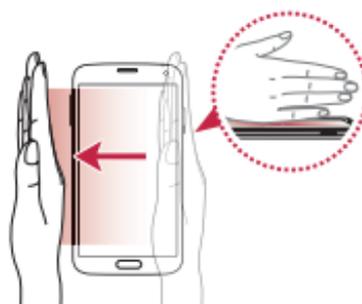
スマートポーズ

内側カメラで顔を検出し、画面を見ていないときに動画の再生を一時停止します。



手のひらでキャプチャ

手の側面で画面上を右から左、または左から右にスワイプすると、画面の表示内容を画像として保存できます。



お知らせ

- 本端末に過度な動き（揺れ、衝撃など）を与えた場合、センサーの特性によってモーション機能が正しく動作しない場合があります。
- 暗い色の手袋などを着用したり、センサーの認識範囲外でジェスチャー動作をした場合は、センサーの特性によりジェスチャー機能が正しく動作しない場合があります。

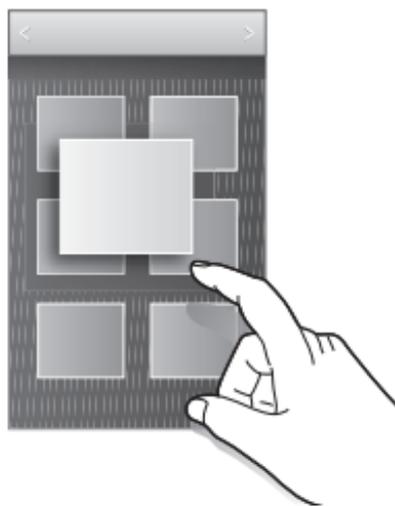
Sプレビューの使いかた

本端末のディスプレイに指を近づけることで、次の操作ができます。

- アプリによっては、本機能を利用できない場合があります。
- Sプレビューを利用する前に、ホーム画面で  → 「設定」 → 「Sプレビュー」 →  をタップして機能を有効にする必要があります。

■ 情報／プログレスバー／スピードダイヤルのプレビュー

テキストや画像に指を近づけて画面に表示しきれない情報をプレビュー表示したり、動画再生中などにプログレスバー（現在の再生位置）に指を近づけることでシーンやフレームの時間情報を表示したりできます。また、Samsungが提供する「ダイヤル」アプリのキーパッド画面の番号に指を近づけると、設定したスピードダイヤル（P.190）の名前などを表示します。



お知らせ

- Sプレビューによる操作中は、指と本端末の距離を一定に保ってください。操作中に指と本端末が離れると、Sプレビューによる操作ができなくなります。
- Sプレビューによる操作中、指と本端末の距離が近すぎると、タッチ操作として認識される場合があります。

ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える

本端末の縦／横の向きや傾きなどを感知するモーションセンサーによって、ディスプレイの表示方向を自動的に切り替えることができます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ディスプレイ」
- 2 「画面回転」
- 3  をタップ

お知らせ

- 通知パネルでも画面の自動回転の設定ができます。
- ホーム画面や一部の機能など、表示方向が自動的に切り替わらない機能やアプリもあります。

画面の表示内容を画像として保存する

表示中の画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）できます。

- 一部のアプリではスクリーンキャプチャが動作しない場合があります。

1 画像として保存したい画面を表示

2  と  を同時に 1 秒以上押す

お知らせ

- キャプチャした画像はpng形式で保存され、「ギャラリー」アプリで確認できます。
- モーション機能の「手のひらでキャプチャ」(P.83)の機能をONにすると、本端末の画面上を手の側面で右から左、または左から右にスワイプしてスクリーンキャプチャできます。

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能は、指紋センサーに指をスライドして行う認証操作です。

■ 指紋認証利用時の注意事項

- 本機能は指紋の特徴情報を認証に利用するためのものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で複数回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指が濡れている、汗をかいている、手が乾燥しているなど、指の状態によっては指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。その場合、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
- 指紋の登録や認証の際は、第1関節をセンサー中央に合わせ、指を押し当てながら指紋センサーの領域を通過するまで下方向へスライドさせます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を置いてスライドさせてください。
- 指を曲げたり、指先だけでセンサーに触れたりすると、正常に認識できないことがあります。
- スライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。

- できるだけ指紋の渦の中心が指紋センサーの中心を通過するようにスライドさせてください。
-  を押してからロック画面が表示されるまでの間は、指紋センサーに触れないでください。指紋センサーが機能しなくなることがあります。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時の注意事項

- 指紋センサーの表面を、ペン先など鋭利なものでついたりしないでください。
- 指紋センサー表面は防水性を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- ぶつかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、センサー表面をひっかいたり、先の尖ったものでついたりしないでください。
- 爪やストラップの金具など硬いものを押し付けると、指紋センサー表面に傷が付くことがあります。
- 泥などで指紋センサー表面が汚れたり、表面に傷が付いたりすると、故障および破損の原因となることがあります。

- お買い上げ時に貼り付けられている保護フィルムをはがしてからご使用ください。保護フィルムを貼り付けたまま使用すると、正常に認識できないことがあります。
- 指紋センサー表面にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分が付着したり結露が発生すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下することがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が解消されることがあります。
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい、乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがありますが、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬季など乾燥する時期は、特にご注意ください。

指紋認証機能を設定する

指紋を登録したり、利用する機能や代替パスワードを設定します。

- 画面ロックの解除方法については、「画面ロックの解除方法を設定する」(P.381)をご参照ください。

■ 指紋を登録する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「指紋スキャナー」
- 2 「指紋管理」
- 3 免責条項を確認 → 「OK」
- 4 以降、画面の指示に従って指紋を登録

■ 画面ロックの解除方法として設定する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「指紋スキャナー」
- 2 「画面ロック」
- 3 「指紋」

■ Samsungアカウントへの認証操作での利用を設定する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「指紋スキャナー」
- 2 「Samsungアカウントを認証」
- 3  をタップ → 以降、画面の指示に従って設定

■ PayPal決済での利用を設定する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「指紋スキャナー」
- 2 「PayPalで決済」
- 3 以降、画面の指示に従って設定

■ 代替パスワードを変更する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「指紋スキャナー」
- 2 「代替パスワードを変更」
- 3 現在のパスワードを入力→以降、画面の指示に従って新しいパスワードを設定

指紋認証を行う

- 1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサーに指をスライド
 - ・ 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。

文字入力

文字を入力するには、文字入力欄をタップして文字入力用のキーボード（Samsung日本語キーパッド）を表示し、キーボードのキーをタップします。

お知らせ

- Google 音声入力、ドコモ文字編集を利用すると、音声で文字を入力できます。
- 使用状態によって各キーボードの表示や動作が異なる場合や、利用するアプリや機能専用のキーボードが表示される場合があります。

キーボードの種類（入力方法）を切り替える

- 1 キーボード表示中に通知パネルを開く
- 2 「入力方法を選択」
 - 「入力方法を選択」画面が表示されます。
- 3 利用したい入力方法をタップ

Samsung 日本語キーパッドで入力する

Samsung 日本語キーパッドは、「テンキー」と「QWERTY キーボード」の2種類のキーボードを利用できます。

- テンキー：一般の携帯電話のような入力方法（マルチタップ方式）のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が入力されるまで数回タップします。

- QWERTYキーボード：パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語をローマ字で入力します。



- ① 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
 - 「日本語予測変換」(P.102) / 「予測変換」(P.102) をOFFに設定している場合や、予測変換候補の表示中に  をタップすると、通常変換候補が表示されます。
 -  をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の表示領域を広げます。 をタップすると、元の表示に戻ります。
- ② 確定前の文字を、キーをタップしたときと逆順に切り替えます。
 - 文字が入力されていない場合は、表示されているキーの操作を実行します。
ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。
：音声入力に切り替え
：手書き入力キーボードに切り替え
：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
：Samsung日本語キーパッドの設定メニューを表示
：自由に移動できるキーボード／片手操作キーボードに切り替え
- ③ カーソルを左または右に移動します。
 - テンキーで同じキーに割り当てられている文字を続けて入力する場合は、 をタップします。
 - 「日本語ワイルドカード予測」(P.102) / 「ワイルドカード予測」(P.102) をONに設定している場合は、タップするとワイルドカード予測 (P.96) を利用できます。

- ④ 英数カナの変換候補が表示されます。再度タップすると予測変換候補／通常変換候補が表示されます。
- 文字が入力されていない場合は、が表示され、タップすると数字／記号入力モードに切り替わります。ロングタッチすると絵文字／顔文字／記号の一覧を表示します。をタップすると、キーパッド表示に戻ります。
- ⑤ ひらがな漢字／英字入力モードに切り替えます。
- ⑥ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。
- ⑦ 通常変換候補を表示します。
- 変換候補が表示されていない場合は、タップするとスペースを入力できます。は、ひらがな漢字入力の場合のみ表示されます。
- ⑧ 入力した文字を確定します。
- が表示されている場合は、タップすると改行します。
 - が表示されている場合は、タップすると次の入力欄にカーソルを移動します。
 - 、、が表示されている場合は、タップすると検索などの操作を行います。
- ⑨ 濁点や半濁点を付けたり、文字を大文字／小文字に切り替えたりします。
- 英字入力モードの場合は  と表示されます。
- ⑩ 表示されているキーの操作を実行します。
- ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。
 - ：音声入力に切り替え
 - ：手書き入力キーボードに切り替え
 - ：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
 - ：Samsung 日本語キーパッドの設定メニューを表示
 - ：自由に移動できるキーボード／片手操作キーボードに切り替え
- ⑪ 記号入力モードに切り替えます。
- ロングタッチすると絵文字／顔文字／記号の一覧を表示します。タブをタップすると一覧表示が切り替わります。をタップすると、キーパッド表示に戻ります。

お知らせ

- ドコモ文字編集には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

キーボードの種類を切り替える

- 1 キーボード表示中に 
- 2 「テンキー⇄QWERTYキーボード」
- 3 「テンキー」 / 「QWERTYキーボード」 → 「OK」

お知らせ

- 手順3で「カスタム設定」を選択した場合は、画面の向き、入力言語ごとにキーボードの種類を設定できます。

半角／全角を切り替える

- 1 キーボード表示中に  をロングタッチ
- 2 「半角」 / 「全角」

ワイルドカード予測を利用する

ワイルドカード予測とは、単語などの読みの文字数を入力して、変換候補を絞り込む機能です。

- 「日本語予測変換」(P.102) と 「日本語ワイルドカード予測」(P.102) をONに設定している場合に利用できません。
- 英文／ハングル入力時は、「予測変換」(P.102) と 「ワイルドカード予測」(P.102) をONに設定している場合に利用できます。

例：「東京都」を入力する場合

1 キーボード表示中に「と」「う」を入力

2  を4回タップ

- 「とう〇〇〇〇」が表示され、予測変換候補に「東京都」が表示されます。

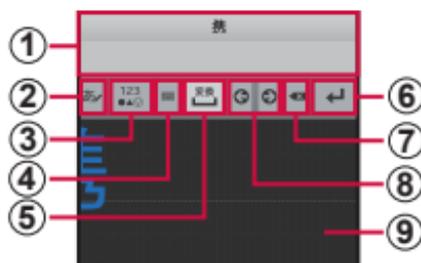
読みの文字数を変更する場合

 /  をタップします。

3 「東京都」

手書き入力キーボードで入力する

Samsung日本語キーパッドで **T** をタップすると、手書き入力キーボードが表示されます。



手書き入力キーボード

- ① 入力候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- ② 認識モード（ひらがな漢字／英字）を切り替えます。
- ③ 数字または記号のキーボードを表示します。
 - ・ ロングタッチすると絵文字／顔文字／記号の一覧を表示します。
- ④ Samsung日本語キーパッドに切り替えます。
 - ・ ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。
 - ：音声入力に切り替え
 - ：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
 - ：Samsung日本語キーパッドの設定メニューを表示
 - ：Samsung日本語キーパッドに切り替え
- ⑤ 通常変換候補を表示します。
 - ・ 変換候補が表示されていない場合は、タップするとスペースを入力できます。
- ⑥ 改行します。
- ⑦ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。
 - ・ 入力エリアに表示中の文字がある場合は、表示中の文字を一字ずつ削除できます。
- ⑧ カーソルを左または右に移動します。

- ⑨ 入力エリアに手書きで文字を入力できます。

文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付ける

1 キーボード表示中に入力した文字列をロングタッチ

- ・  や  などが表示されます。 または  などをドラッグすると、カーソルを移動できます。

2 利用するアイコンをタップ

アイコン	説明
 / 	入力したすべての文字を選択します。
 / 	選択した文字列を切り取ります。
 / 	選択した文字列をコピーします。
 / 	コピーした／切り取った文字列を貼り付けます。
	「クリップボード」をタップすると、クリップボードを表示します。
 *	選択した文字列を辞書で検索します。

※ お買い上げ時は、辞書データがインストールされていません。利用可能な辞書の一覧画面が表示された場合は、インストールを行ってからご利用ください。

お知らせ

- 画面を横向きにした場合は、表示が異なる場合があります。
- アプリによっては、本機能を利用できない場合や、利用できない機能がある場合があります。また、アイコンの表示が異なる場合や、手順2以外のアイコンが表示される場合があります。
- 文字入力欄で文字が入力されていないエリアをロングタッチするとメニューが表示され、「貼り付け」「クリップボード」を利用できます（アプリによっては利用できない場合があります）。

文字入力／変換機能を設定する

Samsung日本語キーボードの設定を行う

Samsung日本語キーボードを利用して文字を入力する際の入力動作の設定や、ユーザー辞書の登録などができます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「言語と文字入力」 → 「Samsung日本語キーボード」の 

2 設定したい項目をタップ

項目	説明
入力言語	システム言語、日本語、英語、韓国語の組み合わせから選択します。
テンキー⇔QWERTY キーボード	キーボードの種類を切り替えます。
フリック入力	<p>フリック入力のOn / Off、フリックタイプの選択、フリック感度やトグル入力、記号フリック入力を設定します。「標準フリック」または「8フリック」に設定すると、キーに触れたとき、入力できる文字が表示されたキーポップアップが表示され、入力したい文字が表示された方向にフリックすると文字を入力できます（「8フリック」は入力モードがひらがな漢字の場合に使用できます）。</p> <ul style="list-style-type: none">• 「8フリック」に設定すると、斜め方向へのフリックで入力できる文字を変更できます。

項目		説明
表示／ 操作補助	キーサイズ	画面の向きごとにキーボードの高さを設定します。
	候補表示行数	候補表示の行数を設定します。
	キー操作音	キーをタップしたとき、タップ音を鳴らすかどうかを設定します。
	キー操作バイブ	キーをタップしたとき、本端末を振動させるかどうかを設定します。
	キーポップアップ	キーをタップしたとき、入力する文字をポップアップ表示させるかどうかを設定します。
	自動カーソル移動	自動カーソル移動の速度を設定します。
	左右キーを表示	QWERTYキーボードで左右キーを表示させるかどうかを設定します。
	カーソル操作	キーボード上で指をスライドさせてカーソルを移動させるかどうかを設定します。
	韓国語キーボードタイプ	韓国語のテンキーのキーボードタイプを設定します。

項目		説明
予測／ 変換	日本語候補 学習	日本語変換で確定した語句を 学習辞書に保存させるかどう かを設定します。
	日本語予測 変換	日本語文字入力時に変換候補 を表示するかどうかを設定し ます。
	日本語ワイルド カード予測 ^{*1}	日本語文字入力時にワイルド カード予測 (P.96) を利用 するかどうかを設定します。
	候補学習	英文／ハングル入力時に変換で 確定した語句を学習辞書に保存 させるかどうかを設定します。
	予測変換	英文／ハングル入力時に変換 候補を表示するかどうかを設 定します。
	ワイルド カード予測 ^{*2}	英文／ハングル入力時にワイル ドカード予測 (P.96) を利用 するかどうかを設定します。
	入力ミス 補正 ^{*2}	入力を間違えたとき、変換候 補に修正候補を表示させるか どうかを設定します。
	自動スペー ス入力	英文／ハングル入力時に候補 を選択すると、スペースを自 動的に入力するかどうかを設 定します。

項目		説明
予測／ 変換	自動大文字 変換	英字を入力したとき、文頭の文字を自動的に大文字にするかどうかを設定します。
	数字予測 変換 ^{*2}	数字キーボードで数字入力時に変換候補を表示するかどうかを設定します。
音声入力 ／手書き 入力	音声入力	音声での文字入力を「ドコモ音声入力」「Google 音声入力」「使用しない」から選択します。
	On / Off 設定	手書き入力を使用するかどうかを設定します。
	候補タイプ	手書き入力された文字の表示を予測候補（予測変換候補）／認識候補（入力文字候補）から選択します。
	認識時間	手書き入力の候補を表示するまでの時間を「速い」／「普通」／「遅い」から選択します。
	ペンの太さ	手書き入力した文字の太さを設定します。
	ペンの色	手書き入力した文字の色を設定します。
	手書き入力 について	手書き入力アプリのバージョンを確認します。

項目		説明
辞書登録	日本語	日本語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
	韓国語	韓国語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
	英語	英語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
外部アプリ連携	マッシュルーム拡張	マッシュルームの拡張を使用するかどうかを設定します。
リセット	学習辞書リセット	学習辞書の内容をすべて削除します。
	設定リセット	設定内容をすべて初期化します。
iWnn IME for Samsung		Samsung 日本語キーパッドのバージョンを確認します。
ヘルプ		ヘルプを表示します。

※ 1 「日本語予測変換」がOFFの場合は設定できません。

※ 2 「予測変換」がOFFの場合は設定できません。

Google 音声入力の設定を行う

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「言語と文字入力」 → 「Google 音声入力」 の 
- 2 設定したい項目をタップ

項目	説明
入力言語を選択	音声で入力する言語を選択します。
不適切な語句をブロック	音声入力で認識した不適切なテキストを表示しないようにするかどうかを設定します。
オフラインの音声認識	オフライン時に音声入力を利用できるようにダウンロードします。

ドコモ文字編集の情報

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「言語と文字入力」 → 「ドコモ文字編集」 の 
- 2 「アプリ情報」
 - ・ ドコモ文字編集の詳細情報を確認できます。

初期設定

お買い上げ後、初めて本端末の電源を入れた場合は、画面の指示に従って、使用する言語やGoogle / Samsungアカウントなどの設定、およびドコモサービスの初期設定を行います。
ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なる場合があります。

1 「スタート」

- 言語を変更する場合は、「日本語」→ 使用する言語をタップします。
- ユーザー補助設定を変更する場合は、「ユーザー補助」→ ユーザー補助を設定します。

2 Wi-Fiを設定 → 「次へ」

3 ライセンス契約などの内容を確認し、チェックを付ける → 「次へ」

4 「はい」 / 「いいえ」 → Googleアカウントを設定

- すでにGoogleアカウントを持っている場合は「はい」を、Googleアカウントを持っていない場合は「いいえ」をタップします。
- Google+に参加する設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

5 Googleアカウントを使用して、バックアップや復元、位置情報についての設定、Google Playからの最新情報の受信について利用するかどうかを設定 →

- Googleアカウントを設定しない場合は、位置情報の利用許可についての設定画面が表示されません。画面の指示に従って操作してください。

6 Google Playでアプリなどを購入可能にするかどうかを設定

- 携帯端末の所有者の入力画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

7 Samsungアカウントを設定

- 「スキップ」をタップすると、後でアカウントをセットアップすることができます。

8 ホーム選択画面で「docomo LIVE UX」→「次へ」

- 「TouchWiz標準ホーム」または「TouchWizかんたんホーム」を選択すると、Samsungが提供するホームを利用できます。

9 「完了」

- 続けてドコモサービスの初期設定を行います。

10 注意事項や利用規約などの内容を確認し、チェックを付ける→「設定をはじめる」

- docomo ID設定の画面が表示されます。

11 docomo IDを設定するかどうかを選択 →「進む」

- 「IDをこの端末に設定する」を選択した場合は、「進む」をタップしたあと、画面の指示に従って操作してください。

12 ドコモクラウドを有効にするかどうかを選択 → 「進む」

- 「クラウドを有効にする」を選択した場合は、「進む」をタップしたあと、画面の指示に従って操作してください。

13 ドコモアプリパスワードを設定するかどうかを選択 → 「進む」

- 「パスワードを設定する」 / 「今は設定しない」のいずれかを選択して、「進む」をタップしたあと、画面の指示に従って操作してください。

14 ドコモのサービスで位置情報を提供するかどうかを選択 → 「進む」

- 「電話帳登録先にのみ提供」にチェックを付けると電話帳に登録していない相手には居場所は送信されません。

15 遠隔初期化を設定するかどうかを選択 → 「進む」

16 アプリを一括インストールするかどうかを選択 → 「進む」

- 「今すぐインストールする」を選択すると、すでにご契約されているサービスのアプリのインストールを行います。インストールしない場合は、「後で自動インストールする」を選択します。

17 「使いはじめる」

通知LED

画面の表示が消えている状態で、不在着信などの通知があるときや、充電しているときなどに、通知LEDが点灯／点滅して通知や本端末の状態をお知らせします。

動作	説明
赤で点灯*	充電中
緑で点灯	充電完了
赤で点滅*	電池残量が残りわずか
青で点滅* (約5秒間隔)	不在着信や新着メールなどの通知あり
青で点滅* (約1秒間隔)	録音中
青で点灯	電源を入れて起動中／電源を切ってシャットダウン中

※ 「LEDインジケーター」(P.380) で通知LEDを動作させるかどうかを設定できます。

お知らせ

- 充電中に通知がある場合は、通知をお知らせする動作（青で点滅）が優先されます。

画面表示とアイコン

ディスプレイ上部のステータスバーには、本端末の状態や通知情報などを示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。



主な通知アイコン

- 通知アイコンには、複数件の通知があったことを示す、アイコンが重なったデザインで表示されるものもあります。

通知アイコン	
	着信中／通話中
	不在着信あり
	新着 Gmail あり
	新着 Eメールあり
	新着 SMS あり
	SMS の送達通知あり
	SMS の配信に問題あり
	新着 エリアメールあり
	新着 ハングアウトメッセージあり

通知アイコン

	データダウンロード中/完了
	データアップロード中/完了
	留守番電話サービスの伝言メッセージあり
	伝言メモ機能 ON
	伝言メモの録音メッセージあり
	アラームあり
	スケジュールなどのアラームあり
	充電完了
	バックグラウンドで音楽再生中/一時停止中
	microSDカードのスキャン中
	microSDカードのマウント解除中
	USB接続中
	エラーメッセージあり
	GPS 機能現在地測位中 (点滅)
	USB テザリング機能 ON
	Wi-Fi テザリング機能 ON
	USB テザリング機能と Wi-Fi テザリング機能を同時に ON

通知アイコン

	ドコモ miniUIM カード未挿入状態
	Samsung Apps のアプリがインストール完了 / インストール済みアプリのアップデートあり
	ステレオヘッドセット接続中
	ソフトウェア更新の設定 / 確認中
	dマーケットに更新可能なアプリあり
	Google Play に更新可能なアプリあり
	Google Play のアプリのインストール完了
	非表示の通知情報あり
	VPN 接続中
	スクリーンキャプチャで保存した画像あり
	使用可能な Wi-Fi オープンネットワークあり
	キーボード表示中
	本端末のメモリの空き容量低下
	ワンセグ視聴中 / 録画中
	モバキャス受信中
	おまかせロック設定中
	クルマモード設定中

通知アイコン

	docomo ID 設定の認証失敗
	ドコモバックアップアプリの通知あり
	ドコモアプリの位置情報機能 ON

主なステータスアイコン

ステータスアイコン

 (弱⇔強)	電波状態
 (弱⇔強)	電波状態 (国際ローミング中)
	圏外
	機内モード設定中
	LTE ネットワーク使用可能／通信中 (待機中は矢印が濃いグレー、受送信中は矢印が薄いグレー)
	3G ネットワーク使用可能／通信中 (待機中は矢印が濃いグレー、受送信中は矢印が薄いグレー)
	FOMA ハイスピード／HSDPA ネットワーク使用可能／通信中 (待機中は矢印が濃いグレー、受送信中は矢印が薄いグレー)

ステータスアイコン

	GPRS ネットワーク使用可能／通信中 (待機中は矢印が濃いグレー、受送信中は矢印が薄いグレー)
	Wi-Fi ネットワーク使用可能／通信中 (待機中は矢印が濃いグレー、受送信中は矢印が薄いグレー)
	Bluetooth機能 ON
	Bluetooth デバイスと接続中
	マナーモード (バイブ) 設定中
	マナーモード (サイレント) 設定中
	アラーム設定中
	ハンズフリー通話中
	電池レベル (低⇔高)
	充電中
	Wi-Fi Direct 接続中
	ハイブリッドダウンロード機能 ON
	スマートステイ機能 ON
	本端末とドコモ miniUIM カードに NFC / おサイフケータイ ロック設定中

ステータスアイコン

	本端末またはドコモ miniUIM カードに NFC /おサイフケータイ ロック設定中
	通信制限モード設定中

通知パネルについて

ステータスバーを下方方向にスクロールすると通知パネルが表示され、通知情報などを確認したり、アイコンをタップして機能を設定したりすることができます。



通知パネルの表示内容（表示例）

- ① タップすると日付と時刻の設定画面（P.401）が表示されます。

② 各種機能のON / OFFを切り替えます（クイック設定ボタン）。左右にスクロールしたり、右上のをタップしたりすると、表示されていないアイコンを表示できます。ロングタッチすると、各機能の設定メニュー画面が表示されます。

- Wi-Fi：→ P.350
- 位置情報：→ P.322
- サウンド：→ P.376
- 画面回転：→ P.85
- Bluetooth：→ P.436
- モバイルデータ：データ通信のON / OFFを切り替えます。OFFにすると、モバイルネットワークによるデータ通信ができなくなります。
- ハイブリッドダウンロード：→ P.356
- ウルトラ省電力モード：→ P.410
- マルチウィンドウ：→ P.120
- ツールボックス：→ P.119、P.147
- Wi-Fiテザリング：→ P.357
- Screen Mirroring：→ P.367
- NFC：→ P.439
- 同期：→ P.395
- スマートステイ：→ P.369
- スマートポーズ：→ P.83
- 省電力モード：→ P.410
- ブロックモード：→ P.391
- 機内モード：→ P.360
- 通信制限モード：→ P.360
- クルマモード：→ クルマモードが起動します。^{*1}
- プライベートモード：→ P.384
- 高感度タッチ操作：→ P.371

③ Sファインダーが表示されます（P.141）。

④ ディスプレイの明るさを調整します（P.378）。

⑤ 進行中情報や通知情報が表示されます。

- ⑥ 接続中のネットワークの通信事業者名とドコモminiUIMカードから読み取った事業者名が表示されます。上方向にスクロールすると通知パネルを閉じます。
- ⑦ タップすると、設定メニューが表示されます (P.346)。
- ⑧ クイック接続画面が表示されます。^{*2}
- ⑨ タップすると通知情報とステータスバーの通知アイコンの表示を消去できます。
- 通知情報の種類によっては、消去できない場合もあります。
- ※1 電話の発信やSMSの送信、ナビの利用など、音声入力で本端末の各機能を利用できます。また、Bluetooth機能を利用してカーオーディオと接続することもできます。クルマモードの詳細については、 → 「ヘルプ」をタップしてヘルプをご覧ください。
- ※2 他のクイック接続対応機器と接続してデータを共有したり、「SmartRemote」アプリ (P.129) と連携してテレビのリモコンとして使用したりすることができます。クイック接続の詳細については、 → 「ヘルプ」をタップしてヘルプをご覧ください。

お知らせ

- クイック設定ボタンは、ONに設定されている場合は緑色で表示されます。

通知パネルを編集する

クイック設定ボタンを並べ替えたり、ディスプレイの明るさを調整する項目を表示／非表示したりします。

- 1 通知パネルの  → 
- 2 クイック設定ボタンをロングタッチ → 移動したい位置までドラッグして離す

ホーム画面

○ を押して表示される画面（ホーム画面）には「docomo LIVE UX」「TouchWiz標準ホーム」「TouchWizかんたんホーム」の3種類の画面があります。

- 「docomo LIVE UX」については、P.146をご覧ください。

TouchWiz標準ホーム



ホーム画面の表示内容（表示例）
「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

- ① **マルチウィンドウ (P.120) のハンドル**
 - ・「マルチウィンドウ」(P.373) をONにすると表示されます。
 - ・マルチウィンドウトレイを、どの画面からでも呼び出すことができます。このハンドルをタップすると、マルチウィンドウトレイが表示されます。
 - ・☞ をロングタッチすると、マルチウィンドウのハンドルを非表示にすることができます。再度 ☞ をロングタッチすると、マルチウィンドウトレイが表示されます。
- ② **ショートカット**
 - ・アプリなどを起動できます。
- ③ **ホーム画面の現在の位置を表示します。ホーム画面を左右にスクロール／フリックして切り替えられません。**
- ④ **ホーム画面を切り替えても常に表示されます。**
 - ・「アプリ」以外のアイコンは、ショートカット、フォルダを配置できます。
- ⑤ **ツールボックス**
 - ・ホーム画面や各アプリ画面など、異なる画面をまたがって常に一定の位置に表示されます。
 - ・タップすると、ツールボックスに登録されている各アプリのショートカットが表示されます。ロングタッチすると、ツールボックスの位置を移動できます。
 - ・ツールボックスを利用するには、あらかじめツールボックス (P.374) をONにする必要があります。
- ⑥ **ウィジェット (例：天気予報、Google検索)**
 - ・ウィジェット (ホーム画面に配置するアプリ) の起動や操作を行います。
- ⑦ **フォルダ**
 - ・複数のショートカットをフォルダにまとめることができます。
- ⑧ **マチキャラ (例：ひつじのしつじくん)**
 - ・メール受信や着信などの情報をお知らせします。

お知らせ

- ホーム画面で画面を右にフリックすると、「マガジン」が起動します。

マルチウィンドウで表示する

2つの画面を表示し、異なるアプリを同時に使用することができます。

- あらかじめ、「マルチウィンドウ」(P.373)をONにする必要があります。



マルチウィンドウ

① マルチウィンドウトレイ

- アプリをマルチウィンドウトレイから表示したい位置へドラッグします。ドラッグした後、アイコンの右横に  が表示されるアプリは2つの画面の両方で同時に使用できます。

② マルチウィンドウトレイの編集ボタン

- 「作成」をタップすると、現在表示させている条件で名前をつけてペアウィンドウを作成できます。

- ・「編集」をタップすると、マルチウィンドウトレイに表示させるアイコンの追加・削除ができます。
- ・「ヘルプ」をタップすると、マルチウィンドウのヘルプを確認できます。

③ 分割バー

- ・中央のハンドル(○)をドラッグして表示領域を調整します。

④ 終了ボタン*

- ・マルチウィンドウを終了します。

⑤ コンテンツのドラッグ&ドロップボタン*

- ・ウィンドウ間をまたがってテキストや画像をドラッグ&ドロップします(対応しているアプリのみ)。

⑥ ウィンドウ切り替えボタン*

- ・2つの画面の上下(横画面の場合は左右)を切り替えます。

※ 分割バーの中央のハンドルをタップすると表示されます。

お知らせ

- ・Eメールの添付ファイルや、マイファイルなどから画像を開くと自動的にマルチウィンドウで画像などが表示されるよう設定できます。→ P.373

ショートカットやウィジェットを追加する

1 ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ

- ・アプリのショートカットを追加する場合は、ホーム画面で「アプリ」をタップし、手順3へ進みます。

2 「ウィジェット」

3 ホーム画面に追加したい項目をロングタッチ → 追加したい位置までドラッグして離す

フォルダを追加する

- 1 ホーム画面でフォルダにしたいアイコンをロングタッチ → 「フォルダ作成」までドラッグして指を離す
- 2 フォルダ名を入力 → 「完了」

壁紙の変更

- 1 ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ → 「壁紙」
- 2 「ホーム画面」 / 「ロック画面」 / 「ホーム画面とロック画面」
- 3 壁紙を選択 → 「壁紙を設定」
 - 壁紙以外の画像を選択する場合は、「他の画像」をタップ→アプリを選択し、画像を選択します。

お知らせ

- ショートカット、ウィジェット、フォルダなどを削除するには、ショートカットやウィジェット、フォルダをロングタッチ → そのまま画面上部の「削除」までドラッグして離します。
- ネットワークに接続するウィジェットの場、パケット通信料が発生する場合があります。

TouchWizかんたんホーム



ホーム画面の表示内容（表示例）
「ひつじのしつじくん」
©NTT DOCOMO

- ① S Health (P.343)
- ② 天気
- ③ 時計
- ④ ショートカット
- ⑤ ホーム画面の現在の位置を表示します。
 - ・ ホーム画面を左にスクロール／フリックすると、アプリショートカット一覧が表示されます。
 - ・ ホーム画面を右にスクロール／フリックすると、連絡先ショートカット一覧が表示されます。
- ⑥ マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）
 - ・ メール受信や着信などの情報をお知らせします。

⑦ 編集

- ・ ホーム画面のショートカットのアプリを編集したり、ヘルプを確認したりできます。

⑧ カレンダー

連絡先のショートカットを追加する

1 連絡先ショートカット一覧で

2 「連絡先を登録」 / 「既存の連絡先を追加」

- ・ 「連絡先を登録」をタップすると、連絡先の保存先の選択画面が表示されます。保存先のアカウントを選択し、連絡先を登録するとショートカットが追加されます。
- ・ 「既存の連絡先を追加」をタップすると、連絡先一覧画面が表示され、追加する連絡先を選択してショートカットを追加します。

アプリのショートカットを追加する

1 アプリショートカット一覧で

2 追加したいアプリをタップ

ショートカットを削除する

1 → 「編集」

2 削除したいショートカットをタップ → 「OK」

アプリ画面

ホーム画面が「TouchWiz標準ホーム」のアプリ画面について説明します。

- 1 ホーム画面で「アプリ」
 - ・ アプリ画面が表示されます。



アプリ一覧画面の表示内容（表示例）
「ひつじのしつじくん[®]」
©NTT DOCOMO

- ① アプリ
- ② アプリ一覧画面の現在の位置を表示します。アプリ一覧画面を左右にスクロール／フリックして切り替えられます。
- ③ アプリ一覧画面のメニューを表示します。
- ④ マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）
 - ・ メール受信や着信などの情報をお知らせします。

アプリ一覧

一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。

アイコン	アプリ	説明
	ダイヤル	Samsungが提供する「ダイヤル」アプリを利用して、電話の発着信ができます。
	連絡先	Samsungが提供する「連絡先」アプリを利用して、連絡先の管理ができます。
	SMS	SMSの送受信ができます。
	ブラウザ	ウェブブラウザアプリです。
	ギャラリー	静止画や動画を閲覧・整理できます。
	カメラ	静止画や動画を撮影できます。
	ミュージック	音楽を再生できます。
	ビデオ	動画を再生できます。
	時計	アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。
	Sプランナー	スケジュールを管理できます。

アイコン	アプリ	説明
	Eメール	Eメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。
	設定	本端末の各種設定ができます。
	電卓	計算ができます。
	メモ	テキストのメモを作成できます。
	ボイスレコーダー	音声を録音できます。
	マイファイル	静止画や動画、音楽などのデータを表示・管理できます。
	Samsung Apps	アプリのダウンロードや、インストールしたアプリのアップデートができます。
	ChatON	グループチャットを楽しむことができるアプリです。
	S Health	体組成計や血圧計などと連携して健康管理します。
	Sボイス	音声で検索できます。
	防災生活インフォ	気象や防災などの情報を提供するアプリです。
	ワンセグ	ワンセグの視聴などができます。

アイコン	アプリ	説明
	おサイフケータイ	本端末を店などの読み取り機にかざすだけでお支払いなどができます。
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
	Chrome	Googleのウェブブラウザアプリです。
	Gmail	GmailでEメールの送受信ができます。
	Google+	GoogleのSNSが利用できます。
	マップ	Google マップで現在地の確認や目的地の検索などができます。
	Playムービー	Google Playから映画を購入できます。
	Playブックス	Google Playから書籍を購入できます。
	Play ゲーム	Google Playからゲームを購入できます。
	ドライブ	画像や動画などをGoogleドライブに保存したり、共有したりすることができます。
	YouTube	動画の再生・投稿ができます。

アイコン	アプリ	説明
	写真	写真や動画を閲覧できます。Google フォトに同期してバックアップしたり、他人と共有したりすることもできます。
	ハングアウト	Googleハングアウトでチャットができます。
	Google	クイック検索ボックスで各種情報を検索できます。
	音声検索	音声で検索できます。
	Playストア	Google Play からアプリをダウンロードできます。
	Google 設定	Google アプリに関する設定ができます。
	Dropbox	写真や動画、ドキュメントをクラウドにアップロードして管理・閲覧できます。
	Flipboard	ブログやニュースを表示します。
	Smart Remote	本端末でテレビなどの機器を操作できます。
	辞書	辞書を利用して単語などを調べることができます。
	災害用キット	災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです。

アイコン	アプリ	説明
	電話	電話を利用したり、電話の設定を行ったりできます。
	ドコモ電話帳	ドコモが提供する電話帳アプリを利用して、連絡先の管理を行います。
	dメニュー	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、iモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探すことができます。
	dマーケット	音楽、書籍などさまざまな商品を取り扱っており、お客様のニーズに合った商品を購入することができます。
	ドコモメール	ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができるアプリです。送受信したメールはクラウドに保存されるので、複数のデバイスで同じメールを閲覧したり、機種変更時のメールデータ移行が簡単に行えます。また、絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

アイコン	アプリ	説明
	i コンシェル	i コンシェルを利用するためのアプリです。i コンシェルは、ケータイがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートしてくれるサービスです。
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。i コンシェルに対応しています。
	メモ	メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。i コンシェルに対応しています。
	しゃべってコンシェル	やりたいこと、知りたいことなどを端末に話しかけると、その言葉を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。
	IC タグ・バーコードリーダー	IC タグやバーコードに書き込まれた情報を読み取ることができるアプリです。
	iD アプリ	電子マネー iD を利用するための設定などを行うアプリです。
	トルカ	お気に入りのお店のお得なクーポン・便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。

アイコン	アプリ	説明
	フォトコレクション	写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。
	データ保管BOX	データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。
	遠隔サポート	「スマートフォンあんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「スマートフォンあんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。
	ドコモバックアップ	<p>「データ保管BOX」もしくは「microSDカード」へのバックアップ・復元を行うためのアプリです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • データ保管BOXへ保存・復元 → P.339 • microSDカードへ保存・復元 → P.336

アイコン	アプリ	説明
	メディアプレイヤー	音楽や動画を再生することができるアプリです。
	あんしんスキャン	ウイルス検知、個人データを利用するアプリの確認支援、危険サイトアクセス時の注意喚起などにより、スマートフォンを安心してご利用いただくためのアプリです。
	Twitter	Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。
	NOTTV	モバキャスを視聴できます。「NOTTV」などの放送局の番組・コンテンツをお楽しみいただけます。

お知らせ

- このアプリ一覧は、お買い上げ時にプリインストールされているものです。プリインストールされているアプリには一部アンインストールできるアプリがあります。一度アンインストールしても「Playストア」(P.244)などで再度ダウンロードできる場合があります。
- 通知情報があるアプリのアイコンに、数字（通知情報の件数）が表示される場合があります。
- ホーム画面を「TouchWizかんたんホーム」に設定している場合は、アプリショートカット一覧画面や「その他のアプリ」をタップすると、アプリの一覧を確認できます。

ショートカットのホーム画面への追加

- 1** アプリ一覧画面で、ホーム画面に追加したいアプリをロングタッチ
- 2** 追加したい位置までドラッグして離す

アプリのアンインストール／無効化

- 1 アプリ一覧画面で  → 「アプリのアンインストール／無効化」
- 2 アンインストール／無効にしたいアプリをタップ
 - ・ アンインストール／無効にできるアプリには、アイコンの右上に  が表示されます。
- 3 「アンインストール」 / 「無効」

お知らせ

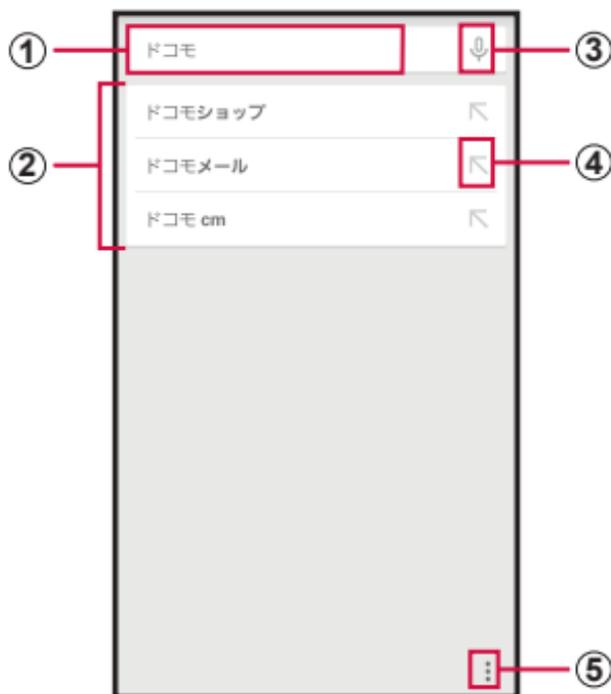
- ・ 無効にしたアプリを有効にしたい場合は、アプリ一覧画面で  → 「無効なアプリを表示」 → 有効にしたいアプリにチェックを付ける → 「完了」をタップします。

クイック検索ボックスを使用する

入力した文字が含まれる情報を本端末内やインターネットから検索できます。

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットをタップ

- クイック検索ボックスが表示されます。
- 「Google Nowを使ってみる」画面が表示された場合は、画面の指示に従ってGoogle Nowを利用するかどうかを設定します (P.140)。



クイック検索ボックス

- ① 入力した文字が表示されます。
- ② 入力中の文字を含む本端末内の情報や検索候補が表示されます。

- ③ 文字入力前に  をタップすると、音声で検索したい語句を入力できます（ウェブ検索のみ）。
文字入力後は  に変わります。タップすると、入力した文字をすべて消去できます。
- ④ タップすると、タップした検索候補が①に入力されます。
- ⑤ Google 検索のメニューが表示されます。

お知らせ

- を 1 秒以上押す → 「Google」を選択したり、ホーム画面で  → 「Google」をタップしても起動できます。

Google のメニュー

Google 画面で  をタップすると以下の項目が表示されます。

項目		説明	
設定	Google Now ^{*1}	→ P.140	
	端末内検索 ^{*3}	端末内で検索する情報の対象を選択します。	
	音声	言語	音声で入力する言語を選択します。
		音声出力	音声出力を常時利用するかを設定します。
	不適切な語句をブロック	音声入力で認識した不適切なテキストを表示しないようにするかを設定します。	

項目		説明	
設定	音声	オフラインの音声認識	オフライン時に音声入力を利用できるようにダウンロードします。
		Bluetoothヘッドセット	Bluetoothヘッドセットを利用して音声入力できるようにするかどうかを設定します。
	アカウントとプライバシー	Googleアカウント ^{*1}	Google検索などで使用するアカウントを設定します。
		通勤経路の共有	Google+で通勤経路を共有するかどうかを設定します。
		Googleの位置情報設定	位置情報へのアクセスを許可するかどうかを設定します。
		ウェブ履歴 ^{*1}	ウェブ検索履歴などを保存するかどうかを設定します。
		ウェブ履歴の管理 ^{*1}	ウェブ検索履歴などを管理します。
		google.comで検索	ローカルドメイン (www.google.co.jp) を使用して検索するかどうかを設定します。

項目		説明	
設定	アカウントとプライバシー	セーフサーチフィルタ	画像やテキストのアダルトフィルタを設定します。
		検索エンジンの容量 ^{※3}	検索エンジンのストレージ使用量を管理します。
		法的事項	利用規約、プライバシーポリシー、法的通知、オープンソースライセンスを表示します。
	通知 ^{※2}	Google Nowカードに新着情報がある場合に通知するかどうかを設定します。	
	ヘルプとフィードバック	Google検索の使い方に関する説明を表示したり、フィードバックを送信したりできます。	
フィードバックを送信		フィードバックを送信します。	
ヘルプ		ヘルプを表示します。	

- ※1 Googleアカウントを設定している場合に表示されます。
- ※2 Google Nowを設定している場合に表示されます。
- ※3 「Google Play開発者サービス」の更新後に表示されます。

Google Nowを設定する

Google Nowを利用するかどうかを設定します。選択したカードの情報をクイック検索画面に表示したり、通知を着信音やバイブレーションでお知らせすることもできます。

- Google Nowを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です (P.395)。

1 ホーム画面で、Google検索ウィジェットをタップ→「Google Nowを使ってみる」

- 「Google Nowを使ってみる」画面が表示されま
- す。
-  → 「設定」 → 「Google Now」の「OFF」をタップして「ON」にしても、「Google Nowを使ってみる」画面が表示されます。

2 「使ってみる」

- 各カードをタップすると詳細情報を確認できます。
- カードを左右にスワイプすると消去できます。

お知らせ

- Google Nowの詳細については、 → 「ヘルプ」または  → 「設定」 → 「ヘルプとフィードバック」をタップしてご覧ください。

S ファインダーで検索する

S ファインダーを利用して端末内検索／Web検索を行うことができます。

1 ステータスバーを下方方向にスクロール→「S ファインダー」

- S ファインダーが起動します。

2 検索したいキーワードを入力 →

- カテゴリ別に検索結果が表示されます。
- Web検索を行うには、「Web検索」カテゴリから使用する検索サービスのアイコンをタップします。
- S ファインダーの詳細については、S ファインダー画面で  → 「ヘルプ」をタップしてご覧ください。

最近使用したアプリの一覧

1 をタップ

- アプリのサムネイルをタップすると、アプリを起動できます。
-  をタップすると、タスクマネージャー (P.142) を起動できます。
-  をタップすると、一覧をすべて削除できます。
- サムネイルを左右（横表示の場合は上下）にスクロール／フリックすると、一覧から削除できます。

タスクマネージャー

起動中のアプリを確認／終了します。



タスクマネージャー画面

- ① **RAMステータス**
RAMの使用状況を確認します。
- ② **起動中のアプリの件数**
- ③ **起動中のアプリ一覧**
「終了」→「OK」をタップすると、アプリを終了します。
- ④ **全て終了**
起動中のアプリをすべて終了します。

お知らせ

- 複数のアプリが起動されていると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあります。このため使用しないアプリを終了することをおすすめします。

ホームアプリの切り替えかた

を押して表示されるホーム画面を変更します。

1 ホーム画面で → 「設定」

- 「TouchWiz標準ホーム」に設定している場合は、ホーム画面で「アプリ」→「設定」をタップします。
- 「TouchWizかんたんホーム」に設定している場合は、ホーム画面を左にスクロール／フリック → 「かんたん設定」をタップします。

2 「ホーム切替」

3 「docomo LIVE UX」 / 「TouchWiz標準ホーム」 / 「TouchWizかんたんホーム」

4 「OK」

緊急時長持ちモードを有効にする

緊急時長持ちモードを有効にすると、以下の設定を自動的に変更することで電池の消費を抑えることができます。

- 画面の色をグレースケール（白黒階調）に自動調整
- 使用可能なアプリの数を制限
- 画面OFF時にデータネットワークをOFF
- Wi-FiやBluetooth機能、NFC /おサイフケータイ、GPSなどの接続機能をOFF
- マナーモード（サイレント、バイブ）をOFF

1 〇を1秒以上押す

- 端末オプション画面が表示されます。

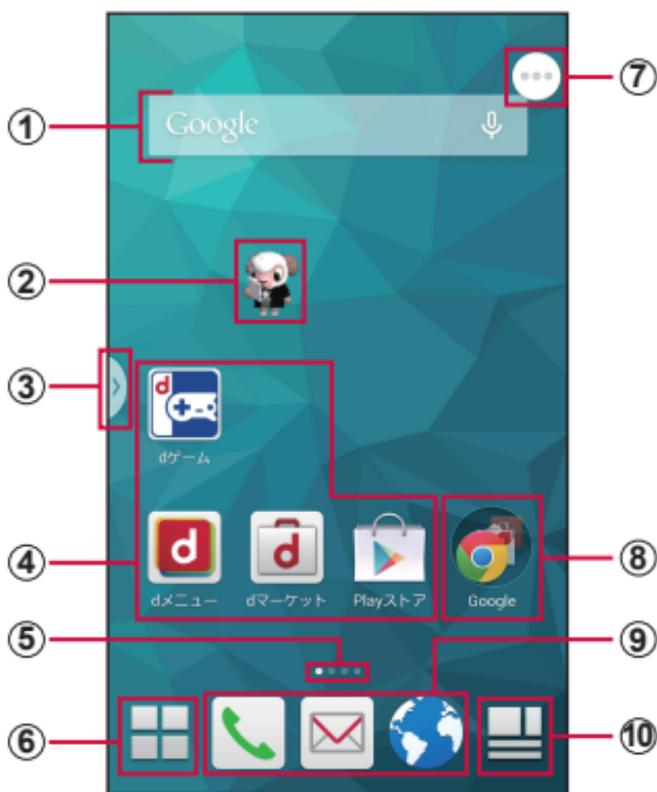
2 「緊急時長持ちモード」 → 注意事項を確認し、チェックを付ける → 「OK」 → 「OK」

- 画面の色が白黒階調に変更され、緊急時長持ちモードが有効になります。

お知らせ

- 緊急時長持ちモードを無効にするには、 → 「緊急時長持ちモードを無効にする」 → 「OK」をタップするか、または  を1秒以上押して「緊急時長持ちモード」 → 「OK」をタップします。
- 緊急時長持ちモードで、再びWi-Fi、Bluetooth機能をONにするには、 → 「設定」 → 「Wi-Fi」 / 「Bluetooth」 →  をタップして設定します。
- 緊急時長持ちモードで、マナーモード（サイレント、バイブ）をONにするには、 → 「設定」 → 「サウンド」 → 「音量」 / 「バイブの強度設定」をタップして設定します。
- 緊急時長持ちモードを有効にすると、一部の機能が制限されます。また、使用可能なアプリにおいて、使用できる機能が制限されます。
- 緊急時長持ちモードでも、ワンセグやブラウザは電池をより多く消費します。
- 緊急時長持ちモードを無効にすると、ホーム画面の一部のウィジェットが表示されなくなり、再配置が必要になることがあります。

ホーム画面の見かた



ホーム画面の表示内容（表示例）
「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

- ① **ウィジェット（例：Google検索）**
 - ・ ウィジェットの起動や操作を行います。
- ② **マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）**
 - ・ メール受信や着信などの情報をお知らせします。

- ③ **マルチウィンドウ (P.120) のハンドル**
- ・「マルチウィンドウ」(P.373) をONにすると表示されます。
 - ・マルチウィンドウトレイを、どの画面からでも呼び出すことができます。このハンドルをタップすると、マルチウィンドウトレイが表示されます。
 - ・ をロングタッチすると、マルチウィンドウのハンドルを非表示にすることができます。再度  をロングタッチすると、マルチウィンドウトレイが表示されます。
- ④ **アプリやウィジェット**
- ・アプリやウィジェットなどを起動できます。
- ⑤ **ホーム画面の現在の位置**
- ・ホーム画面を左右にスクロール/フリックして切り替えられます。
- ⑥ **アプリアイコン**
- ・ホーム画面を切り替えても常に表示されます。
- ⑦ **ツールボックス**
- ・ホーム画面や各アプリ画面など、異なる画面をまたがって常に一定の位置に表示されます。
 - ・タップすると、ツールボックスに登録されている各アプリのショートカットが表示されます。ロングタッチすると、ツールボックスの位置を移動できます。
 - ・ツールボックスを利用するには、あらかじめツールボックス (P.374) をONにする必要があります。
- ⑧ **フォルダ**
- ・複数のショートカットをフォルダにまとめることができます。
- ⑨ **アプリ**
- ・ホーム画面を切り替えても常に表示されます。
 - ・ショートカットやフォルダも配置できます。
- ⑩ **マイマガジン**
- ・マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。→ P.157

ホーム画面の管理

ホーム画面に追加できるもの

ホーム画面にアプリを移動したり、ウィジェットやフォルダなどのショートカットを追加したりできます。

アプリを移動する

- 1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ
- 2 「アプリを表示」 → 移動したいアプリをロングタッチ
- 3 画面下部のホーム画面までドラッグして移動したい位置で離す

ウィジェットを追加する

- 1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ
- 2 「ウィジェットを表示」 → 追加したいウィジェットをロングタッチ
- 3 画面下部のホーム画面までドラッグして追加したい位置で離す

お知らせ

- ホーム画面を「TouchWiz標準ホーム」に設定している場合は、利用できるウィジェットが異なります。また、ウィジェットのアイコンが異なる場合があります。
- ネットワークに接続するウィジェットの場合、パケット通信料が発生する場合があります。

フォルダを追加する

- 1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ → 「フォルダを作成」

お知らせ

- フォルダ名を変更するには、変更したいフォルダをタップ → フォルダ名をタップ → フォルダ名を入力 → 「完了」をタップします。

アプリなどの移動

- 1 ホーム画面で、移動したいアプリやウィジェットなどをロングタッチ
- 2 移動したい位置までドラッグして離す

アプリをホーム画面からアプリ画面に戻す

- 1 ホーム画面で、アプリ画面に戻したいアプリをロングタッチ
- 2 「アプリ一覧に戻す」までドラッグして離す

ウィジェットなどをホーム画面から削除

- 1 ホーム画面で、削除したいウィジェットやショートカットをロングタッチ
- 2 「ホーム画面から削除」までドラッグして離す

アプリやウィジェットのアンインストール

- 1 ホーム画面で、アンインストールしたいアプリやウィジェットをロングタッチ
- 2 「アンインストール」までドラッグして離す
→ 「OK」
 - ・ アンインストール完了のメッセージが表示されません。

お知らせ

- ・ アンインストールできない一部のアプリやウィジェットの場合は、手順2で「アプリ無効化」までドラッグして離す → 「無効」 → 「OK」をタップすると、無効化（P.420）することができます。

きせかえの変更

壁紙やアプリ一覧画面を一括設定できる機能です。

- 1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ → 「きせかえを変更」
 - ・ きせかえ設定画面が表示されます。
- 2 設定するテーマを選択 → 「設定」

壁紙の変更

ホーム画面の壁紙を自分好みに変更できます。

- 1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ → 「壁紙を変更」
- 2 壁紙を選択
 - ・ 「他の壁紙を見る」をタップすると、「ギャラリー」／「ライブ壁紙」／「写真」／「壁紙」から選択できます。
「ギャラリー」の場合、画像を選択して「完了」をタップします。サイズの変更が必要な場合は、青枠をドラッグしてサイズを変更し、「完了」をタップします。
「ライブ壁紙」「写真」「壁紙」の場合、壁紙を選択して「壁紙を設定」をタップします。
 - ・ どの画面に設定するかを選択するポップアップが表示された場合は、「すべての画面」／「この画面のみ」を選択 → 「OK」をタップします。選択した壁紙によっては、「位置調整」をタップするとサイズを調整できます。

ホーム画面の追加

- 1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ → 「ホーム画面一覧」
 - ・ ホーム画面で2本の指の間隔を狭めてもホーム画面一覧が表示されます。
- 2 「ホーム画面を追加する」
 - ・ 最大7枚までページを追加できます。

ホーム画面の並べ替え

- 1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ → 「ホーム画面一覧」
 - ・ ホーム画面で2本の指の間隔を狭めてもホーム画面一覧が表示されます。
- 2 ホーム画面のサムネイルをロングタッチ
- 3 移動したい位置までドラッグして離す

ホーム画面の削除

- 1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ → 「ホーム画面一覧」
 - ・ ホーム画面で2本の指の間隔を狭めてもホーム画面一覧が表示されます。
- 2 削除したいホーム画面のサムネイルの  をタップ

マチキャラを表示する

ホーム画面上を自由に動き回るキャラクターを設定し、「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示します。

- 1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ → 「マチキャラ表示設定」
- 2 「マチキャラ設定」タブ → 「キャラ表示」の「表示する」

お知らせ

- 表示されているキャラクターをロングタッチしても設定画面が表示されません。

アプリ画面の見かた

1 ホーム画面で

- アプリ画面が表示されます。
- ホーム画面を下にスクロール／フリックしても、アプリ画面を表示できます。



アプリ一覧画面の表示内容（表示例）

- ① 「アプリ」タブ／「ウィジェット」タブ／「壁紙」タブ／「おすすめボタン」
 - アプリ／ウィジェット／壁紙一覧画面を表示します。
 - 「おすすめボタン」では、ドコモのおすすめアプリが表示されます。
- ② アプリ
 - ホーム画面に貼り付けられていないアプリが表示されます。アイコンを選択して、アプリを起動することができます。

- ・ 左右にスクロール／フリックして切り替えられます。
- ③ **ホーム画面**
 - ・ 左右にスクロール／フリックして切り替えられます。
 - ・ 上にスクロール／フリックするとホーム画面を表示できます。
 - ④ **メニュー**
 - ・ 検索や各種設定、ヘルプなどのメニューを表示します。
 - ⑤ **一覧画面の現在の位置**

アプリの管理

アプリのホーム画面への移動

- 1 アプリ一覧画面で、ホーム画面に移動したいアプリをロングタッチ
- 2 画面下部のホーム画面までドラッグして移動したい位置で離す

アプリやウィジェットのアンインストール

- 1 アプリ／ウィジェット一覧画面で、アンインストールしたいアプリ／ウィジェットをロングタッチ
- 2 「アンインストール」までドラッグして離す
→ 「OK」

お知らせ

- アンインストールできない一部のアプリやウィジェットの場合は、手順2で「アプリ無効化」までドラッグして離す→「無効」→「OK」をタップすると、無効化 (P.420) することができます。

アプリの移動

- 1 アプリ一覧画面で、移動したいアプリをロングタッチ
- 2 移動したい位置までドラッグして離す

「おすすめ」アプリのインストール

「おすすめボタン」には、ドコモがおすすめするアプリが表示されます。アプリをダウンロードするには、画面の指示に従って操作します。

- 初回起動時には、説明のページが表示されます。「おすすめアプリを見る」をタップすると、アプリの一覧が表示されます。
- 「おすすめアプリをすべて見る」をタップすると、インターネットに接続し、すべてのおすすめアプリが一覧表示されます。

マイマガジンの利用

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって検索ワードの設定をお手伝いし、お客様の好みに近づいていきます。

1 ホーム画面で

- 初めて利用するときは、マイマガジンに表示するジャンルを選択して「OK」をタップします。
- 「Twitter連携」画面が表示された場合に「連携する」をタップすると、マイマガジンとTwitterを連携させることができます。
- ホーム画面で上にフリックしてもマイマガジンの記事一覧画面を表示できます。
- ジャンル別の記事一覧画面を左右にフリックしてジャンルを切り替えます。
- 「もっと見る」をタップして、表示されている記事以外の一覧を表示できます。

ジャンルを設定する

記事一覧画面に表示するジャンルの追加や削除、並べ替えができます。

- 1 ホーム画面で  →  → 「マイマガジン設定」
- 2 「表示ジャンル設定」 → ジャンルにチェックを付ける／チェックを外す
 - ・ チェックの付いたジャンルが表示されます。
 - ・ 「並べ替え」をタップして表示順を変更できます。
 を上下にドラッグして位置を変更して「OK」をタップします。
- 3 「OK」

マイマガジンの表示／非表示

- 1 ホーム画面で  →  → 「マイマガジン設定」 → 「マイマガジン表示設定」
- 2 「表示する」／「表示しない」 → 「OK」
 - ・ アプリ一覧画面で  → 「マイマガジン表示設定」をタップしても表示／非表示を設定できます。

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXについての詳細説明や操作方法などが確認できます。

- 1 アプリ一覧画面で  → 「ヘルプ」

バージョン情報

- 1 アプリ一覧画面で 
- 2 「アプリケーション情報」
 - docomo LIVE UXの提供者やバージョン情報などが確認できます。

電話

電話をかける

1 ホーム画面で ☎ → 「ダイヤル」

2 相手の電話番号を入力

- ・ 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。



ダイヤル画面

- ① 電話帳キー
電話帳を表示します。

- ② **ダイヤル**：ダイヤル画面が表示されます。
履歴：履歴画面が表示されます (P.173)。
お気に入り：お気に入りに追加した連絡先の一覧が表示されます (P.193)。
- ③ **電話番号入力欄**
入力した電話番号が表示されます。
- ④ **電話発信キー**
入力した電話番号に電話をかけます。
- ⑤ **メニュー**
メニューが表示されます (P.165)。
- ⑥ **削除キー**
一番右側の番号を削除します。ロングタッチすると、入力された番号をすべて削除できます。
- ⑦ **電話帳登録キー**
入力した電話番号を電話帳に登録します。

3  **をタップ**

4 **通話が終了したら「通話を終了」**

お知らせ

- 本端末では、テレビ電話は利用できません。
- 1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にするには、電話番号の前に「186」（通知）／「184」（非通知）を入力します。「発信者番号通知」（P.178）を利用して、あらかじめ通知／非通知を設定することもできます。
- 銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、あらかじめメインの電話番号と追加番号を一度に入力して発信するためには、「2秒間の停止を追加」または「待機を追加」を使用します。→P.165
- ホーム画面で  → 「ダイヤル」をタップして Samsung が提供する「ダイヤル」アプリを起動し、「キーパッド」をタップしても、電話をかけることができます。ただし、ドコモが提供する「電話」アプリとは、利用できる機能などが異なります。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、ホーム画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信できる状態にしておいてください。

- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内ではドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 着信拒否設定またはブロックモードをONにした状態で緊急通報110番、119番、118番に発信すると、着信拒否設定およびブロックモードはOFFになります。

ダイヤル画面のメニュー

ダイヤル画面で  をタップすると以下の項目が表示されます。

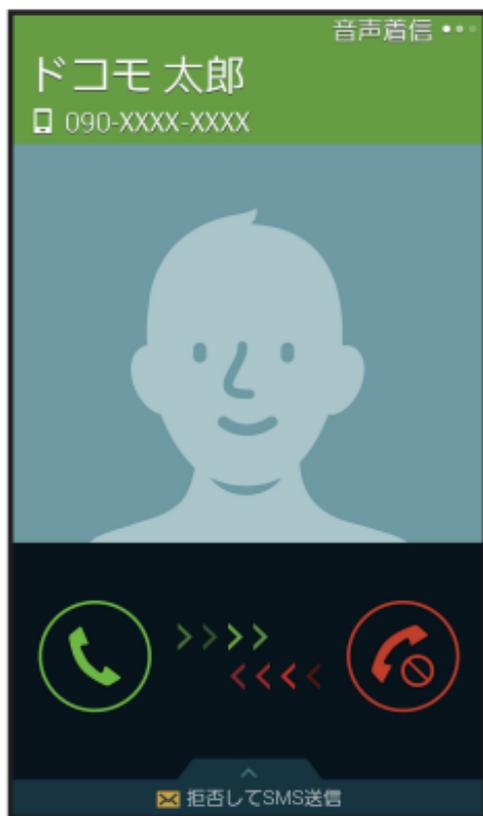
項目	説明
発信者番号通知 [*]	発信者番号を通知する／通知しないを設定します。
国際電話発信 [*]	国際電話を利用します (P.176)。
2秒間の停止を追加 [*]	ポーズ「,」を入力します。電話番号に続けて「,」と番号を入力して発信すると、電話がつながって約2秒後にプッシュ信号(番号)が自動的に送信されます。
待機を追加 [*]	タイマー「:」を入力します。電話番号に続けて「:」と番号を入力して発信すると、電話がつながって「はい」をタップしたときにプッシュ信号(番号)が送信されます。
SMSを送信	→ P.202
声の宅配便 [*]	声のメッセージを録音できます。
通話設定	→ P.178
アプリケーション情報	「電話」アプリの提供者やバージョン情報などが確認できます。

^{*} ダイヤル画面で、番号を入力すると表示されます。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

- ・ 着信中の画面が表示されます。



着信中の画面

2 を表示される円の外側までドラッグ

- ・ 通話が始まります。

着信拒否する場合

- ・  を表示される円の外側までドラッグします。

着信拒否して相手にSMSで拒否理由を伝える場合

画面下部の「拒否してSMS送信」を上方向にドラッグし、拒否理由をタップします。

- 拒否理由は変更できます (P.186)。

「伝言メモ」で応答する場合

画面下部の「拒否してSMS送信」を上方向にドラッグし、「伝言メモ」をタップします。

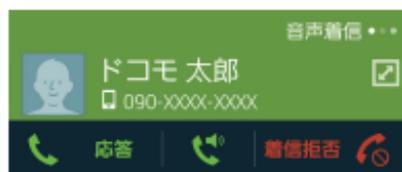
3 通話が終了したら「通話を終了」

お知らせ

- 着信中に音量キーを押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。

アプリ起動中に着信を受ける

「着信通知ポップアップ」(P.183) にチェックを付けている場合、アプリを起動中に着信があると、ポップアップ画面が表示されます。



着信中の画面

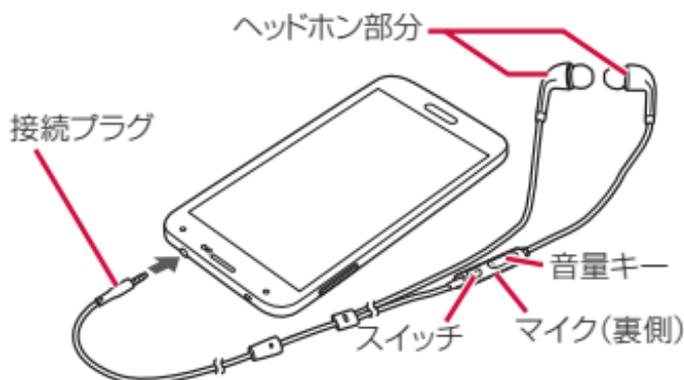
- 「応答」 / 「着信拒否」をタップすると通話を開始 / 拒否できます。
-  をタップすると、相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話できます。

マイク付ステレオヘッドセットの使いかた

マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続すると、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押してかかってきた電話を受けることができます。

マイク付ステレオヘッドセットの取り付けかた

- 1 マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込む



お知らせ

- 接続プラグを奥まで確実に差し込んでください。途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。

マイク付ステレオヘッドセットで電話を受ける

1 電話がかかってきたら、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押す

- 電話がつながると通話ができます。自分の音声は、マイク付ステレオヘッドセットのマイクから相手に送られます。

着信を拒否する場合

着信中にマイク付ステレオヘッドセットのスイッチを1秒以上押して離します。

2 通話が終了したら再度スイッチを押す

お知らせ

- 本端末にマイク付ステレオヘッドセットを接続している場合でも、着信音やアラームは本端末からも鳴ります。
- 着信中にマイク付ステレオヘッドセットの音量キーを押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。通話中に音量キーを押すと、通話相手の声の音量（通話音量）を調節できます。

通話中の操作

- 1 電話がかかってくる**
 - ・ 着信中の画面が表示されます。
- 2  を表示される円の外側までドラッグ**
 - ・ 通話中画面が表示され、通話が始まります。



通話中画面では次の操作ができます。

- ① 最後の通話／メッセージ情報^{*1}**

通話中の相手と最後に通話やメッセージの送受信を行った日時などの情報が表示されます。
- ② 通話を追加^{*2}**

別の相手に電話をかけます。
- ③ スピーカー**

相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。

- ④ **メニュー**
通話中画面のメニューを表示します (P.171)。
 - ⑤ **最大音量**
通話音量を最大にします。
 - ⑥ **キーパッド／非表示**
キーパッドの表示／非表示を切り替えます。キーパッドをタップしてプッシュ信号を送信します。
 - ⑦ **通話を終了**
通話を終了します。
 - ⑧ **Bluetooth**
Bluetoothデバイスと接続してハンズフリーで通話します。
 - ⑨ **消音**
自分の声を相手に聞こえないようにします。
- ※1 「発信者情報を表示」(P.183)をONに設定している場合のみ表示されます。
- ※2 「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。

通話中画面のメニュー

通話中画面で  をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
保留 [※] ／通話を再開 [※]	通話を保留／再開します。
連絡先	連絡先の登録情報の一覧を表示します。
メモ	メモを作成します。
メッセージ	SMSを送信します。

項目	説明
録音／録音を停止	通話中の音声を録音／録音を停止します。 <ul style="list-style-type: none"> 録音した音声データは、ボイスレコーダー (P.333) で再生できます。
通話音質を個別設定	通話音の音質を設定します。
設定	通話設定メニューを表示します (P.178)。

※「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。

お知らせ

- 通話相手の声の音量（通話音量）を調節するには、通話中に音量キーを押します。
- 通話中画面は、本端末を顔に近づけるなどして画面を覆ったとき（ヘッドセットなどを取り付けている場合を除く）や操作せずに約30秒経過すると、自動的に消えます。本端末を顔から遠ざけたり、 /  を押したりすると、通話中画面を表示できます。

履歴

履歴画面では、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を一覧で確認できます。

- ・ 最大500件まで表示できます。

1 ホーム画面で ☎ → 「履歴」

- ・ 履歴画面が表示されます。



履歴画面

- ① 電話帳：「ドコモ電話帳」アプリが起動します。
- ② **ダイヤル**：ダイヤル画面が表示されます (P.160)。
履歴：履歴画面が表示されます。
お気に入り：お気に入りに追加した連絡先の一覧が表示されます (P.193)。

- ③ **履歴切り替え**
着信履歴または発信履歴のみの表示に切り替えます。「すべて」をタップすると、すべての発着信履歴を表示します。
- ④ **名前、電話番号、発着信日時**
タップすると発信画面を表示します。
- 発信画面の項目をタップすると、電話発信、SMS送信、声の宅配便発信、電話帳登録、またはプロフィール画面の表示などを行います。
 - ロングタッチすると、「発信前に番号を編集」、「通話履歴から削除」、「居場所を確認」を行うことができます。
- ⑤ **メニュー**
メニューを表示します (P.175)。
- ⑥ **発信、着信、不在着信**
- ⑦ **声の宅配便**
- ⑧ **電話発信キー**：発着信履歴の電話番号に発信されません。

お知らせ

- 不在着信がある場合はステータスバーに  が表示されます。ステータスバーを下にスクロールし、「不在着信」の「発信」をタップすると、着信相手に電話をかけることができます。「SMS」をタップすると、着信相手宛SMSの作成画面が表示されます。
- ホーム画面で  → 「ダイヤル」をタップして Samsung が提供する「ダイヤル」アプリを起動し、「履歴」をタップしても、発着信履歴を確認することができます。ただし、ドコモが提供する「電話」アプリとは、利用できる機能などが異なります。

履歴画面のメニュー

履歴画面で  をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
履歴削除	履歴を削除します。
通話設定	→ P.178
アプリケーション情報	「電話」アプリの提供者やバージョン情報などが確認できます。

伝言メモ

電話に応答できないときに、応答メッセージを流して伝言を録音する伝言メモを設定できます。

- 1 ホーム画面で  →  → 「通話設定」
- 2 「伝言メモ設定」 → 「伝言メモ」 → 「ON」 / 「バイブ / サイレント設定中は有効」
 - ・ 「言語」 をタップすると応答メッセージの言語を設定できます。
 - ・ 「応答時間」 をタップすると応答時間を0～120秒まで設定できます。

お知らせ

- 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にスクロールし、「新しい録音メッセージ」をタップすると、伝言メモが確認できます。ホーム画面で →  → 「通話設定」 → 「伝言メモ設定」 → 「録音メッセージ」をタップすると、伝言メモの一覧が確認できます。
- 最大録音時間、最大保存件数はシステムメモリ（本体）の空き容量により異なります。

国際電話（WORLD CALL）を利用する

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用いただける国際電話サービスです。

海外での利用については、P.451をご覧ください。

- 通信事業者によっては、発信者番号が通知されない／正しく表示されないことがあります。この場合、履歴から電話をかけることはできません。

WORLD CALLについてのご不明な点は、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 ホーム画面で → 「ダイヤル」 → 「0」「1」「0」 → 国番号 → 地域番号（市外局番） → 相手の電話番号を入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

2  をタップ

3 通話が終了したら「通話を終了」

お知らせ

- 「国番号-地域番号（市外局番）-電話番号」の先頭に、「0」をロングタッチして「+」を入力すると、発信時に国際ダイヤルアシスト画面が表示されます。「WORLD CALLで発信」をタップすると「+」が国際アクセス番号の「009130010」に変換され、国際電話をかけることができます。

通話設定

ホーム画面で  →  → 「通話設定」をタップすると通話関連機能の設定ができます。

項目		説明
ネット ワーク サービス	声の宅配便	電話でメッセージを録音し、相手にお客様の声を届けるサービスです。
	留守番電話サービス	かかってきた電話に応答できなかったときに、相手のメッセージをお預かりするサービスです。
	転送でんわサービス	かかってきた電話に応答できなかったときに、電話を転送するサービスです。
	キャッチホン	通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出たり、別の相手に電話をかけることができるサービスです。
	発信者番号通知	電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号を通知します。

項目		説明
ネットワークサービス	迷惑電話ストップサービス	相手の番号を登録し、迷惑電話の着信拒否を設定します。
	番号通知お願いサービス	番号通知お願いサービスを開始／停止します。
	通話中着信設定	通話中着信設定を開始／停止します。
	着信通知	着信通知を開始／停止します。
	英語ガイダンス	英語ガイダンスを設定します。
	遠隔操作設定	遠隔操作を開始／停止します。
	公共モード（電源OFF）設定	電源を切っている場合や、機内モード設定中の場合の着信時に、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

項目		説明
海外 設定	ローミング時着信 規制	ローミング中の着信規制を 開始／停止します。
	ローミング着信通 知	ローミング中の着信通知を 開始／停止します。
	ローミングガイダ ンス	ローミングガイダンスを開 始／停止します。
国際ダ イヤル アシス ト	自動変換 機能	自動変換機能のON / OFFを設定します。 ・ ONにすると、電話番号 の先頭に「+」を入力し て発信したときに国際ダ イヤルアシスト画面が表 示されます。「WORLD CALLで発信」をタップ すると、「+」が「国際 プレフィックス」で登録 した国際アクセス番号に 変換されます。
	国番号	国際電話をかけるときの国 番号の追加などができま す。
	国際プレ フィック ス	国際電話をかけるときに電 話番号の先頭に付加する国 際アクセス番号の追加など ができます。

項目			説明
海外 設定	ネット ワーク サービ ス	遠隔操作 (有料)	海外から留守番電話サービ スなどのネットワークサー ビスを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • あらかじめ「遠隔操作設 定」(P.179)を開始 にする必要があります。 • 海外から操作した場合 は、利用した国の日本向 け通話料がかかります。 • 海外通信事業者によっ ては、設定できないこ とがあります。
		番号通知 お願い サービス (有料)	
		ローミン グ着信通 知(有料)	
		ローミン グガイダ ンス(有 料)	
		留守番電 話サービ ス(有料)	
		転送でん わサービ ス(有料)	
着信 拒否	自動着信拒否モード	自動着信拒否モードを設定 します。	
	自動着信拒否リスト	自動着信拒否モードを「自 動着信拒否番号」に設定し ている場合に拒否する番号 を設定します。 → P.187	
	応答拒否SMSの設定	→ P.186	

項目		説明
通話応答／ 終了	ホーム キーを押 す	○を押して着信に応答 するかどうかを設定しま す。
	音声コン トロール	音声で電話に応答するかど うかを設定します。
	端末の上 で手を振 る	着信中にジェスチャーセン サーの前で手を左右に振っ て応答するかどうかを設定 します。
	電源キー を押す	□を押して通話を終了する かどうかを設定します。 ・ チェックマークを付け た場合、通話中にバッ クライトが消灯し画面 がロックされたときは、 ○を押すと通話中画 面を表示できます。
伝言メモ設定	録音メッ セージ	→P.175
	伝言メモ	→P.175
	言語	→P.175
	応答時間	→P.175

項目		説明
着信通知ポップアップ		<p>アプリの起動中に音声通話の着信通知をポップアップするかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表示中の画面によってはポップアップ表示されない場合があります。
通話中状態ポップアップ		<p>アプリの起動中に通話中情報をポップアップ表示するかどうかを設定します。</p>
発信者情報を表示		<p>通話中の相手と最後に通話やメッセージの送受信を行った日時などの情報を表示します。</p>
通話通知		→ P.185
通話のアクセサリ設定	自動応答	<p>ヘッドセットなどに接続した状態で自動応答するかどうかを設定します。</p>
	自動応答時間	<p>「自動応答」にチェックを付けた場合に、自動応答するまでの時間を設定します。</p>
	発信通話状態	<p>画面ロック中でもBluetoothヘッドセットから電話の発信をできるようにするかどうかを設定します。</p>

項目		説明
追加設定	自動エリアコード	自動で局番(エリアコード)を追加するかどうかを設定します。
追加サービス	USSD登録	ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用できるようにします。
	応答メッセージ登録	追加したサービスを実行したとき、サービスセンターから返ってくるコード(USSD)に対応した応答メッセージを登録します。
着信音とキーパッド音	着信音	着信音を設定します。
	バイブ	バイブレーションを設定します。
	着信時にバイブ	着信したときに本端末を振動させるかどうかを設定します。
	ダイヤルキーパッド操作音	ダイヤル画面で数字キーをタップしたときの操作音のON / OFFを設定します。
通話音質を個別設定		通話音の音質を、ユーザーに適した音質にカスタマイズして設定します。

項目	説明
ノイズキャンセラー	通話中に周囲の雑音を抑えるように設定します。

電話／通話の状態を音で知らせる

1 ホーム画面で  →  → 「通話設定」 → 「通話通知」

2 設定したい項目をタップ

項目		説明
通話中のバイブ	応答時のバイブ	発信先の相手が通話に応答したときに本端末を振動させるかどうかを設定します。
	通話終了時バイブ	通話を終了したときに本端末を振動させるかどうかを設定します。
通話状況の通知音	呼び出し開始音	呼び出し開始音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話時間通知（毎分）	1分ごとに通話時間通知を行うかどうかを設定します。
	通話終了音	通話を終了したときに通話終了音を鳴らすかどうかを設定します。

項目		説明
通話中にイベント通知	通話中の通知	通話中にアラームやSMSの受信などが発生したときに通知音を鳴らすかどうかを設定します。

着信拒否時にSMSで送信する拒否理由を登録する

本端末では、電話の着信を拒否して相手にSMSで拒否理由を伝えることができます。拒否メッセージは、最大6件まで登録できます。

- お買い上げ時は5件の拒否メッセージが登録されています。

1 ホーム画面で  →  → 「通話設定」 → 「着信拒否」 → 「応答拒否SMSの設定」

2 「作成」 → 拒否メッセージを入力 → 「保存」

登録済みの拒否メッセージを編集する場合

編集したい拒否メッセージをタップ → 拒否メッセージを編集 → 「保存」をタップします。

拒否メッセージを削除する場合

 → 削除したい拒否メッセージまたは「全て選択」にチェックを付ける → 「完了」をタップします。

お知らせ

- 拒否メッセージは全角最大70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）まで入力できます。

指定した電話番号からの着信を拒否する

着信を拒否したい相手の電話番号を登録できます。電話番号は、最大100件まで登録できます。

- 1 ホーム画面で  →  → 「通話設定」 → 「着信拒否」 → 「自動着信拒否リスト」
- 2 「作成」
 - 通知不可能の電話を拒否する場合
「通知不可能」にチェックを付けます。
 - 登録した電話番号を編集する場合
編集したい電話番号をタップ → 電話番号を修正 → 「保存」をタップします。
 - 登録した電話番号を削除する場合
 → 削除したい電話番号または「全て選択」にチェックを付ける → 「完了」をタップします。
- 3 拒否したい電話番号を入力
 -  → 「履歴」 / 「連絡先」をタップすると、履歴や連絡先から電話番号を選択して入力できます。
- 4 「振り分けルール」 → 指定する振り分けルールをタップ
- 5 「保存」
 - 登録した電話番号のチェックを外すと、着信拒否を解除できます。

お知らせ

- 登録した電話番号を拒否するには「自動着信拒否モード」(P.181)で「自動着信拒否番号」を選択する必要があります。

電話帳

電話帳に登録する

ドコモが提供する「ドコモ電話帳」アプリを利用して、名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報の連絡先を管理できます。

- 電話帳でクラウドサービスをご利用になる際は、ドコモ電話帳アプリが必要です。
- ドコモの電話帳アプリを初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、「クラウドの利用について」という画面が表示され、クラウドの利用を設定できます。

1 ホーム画面で → 「ドコモ電話帳」

- お買い上げ時は、連絡先一覧画面が表示されます。

2 「登録」

docomo アカウントに保存する場合

プロフィール編集

① d docomo 設定

② 設定

姓 名

姓のふりがな 名のふりがな

電話

③ 携帯

メール

携帯

キャンセル 登録完了

連絡先編集画面

① アカウント

保存先のアカウントが表示されます。

- ・ 「設定」をタップするとアカウントを選択できます。

② 画像欄

「設定」をタップすると、画像を登録できます。写真を撮影する場合は「写真を撮影」、保存済みの画像を選択するには「画像を選ぶ」をタップします。

③ ラベルキー

入力内容のラベル（種類）を選択できます。

3 必要な項目を入力

- 連絡先のグループ (P.193) が登録されている場合は、「グループ」の「設定」をタップすると、連絡先をグループ分けできます。
- 「着信音」の「設定」をタップすると個別の着信音を設定できます。
- 「SNS・ブログ」の「設定」をタップするとSNSの情報を入力できます。
- 「その他項目を追加」をタップすると、住所やニックネーム、メモなどを入力できます。
- 設定できる項目は、連絡先の保存先や言語の設定 (P.400) によって異なります。

4 「登録完了」

- 連絡先が表示されない場合は連絡先一覧画面で  → 「設定」 → 「表示するアカウント」をタップして表示の設定を変更します。

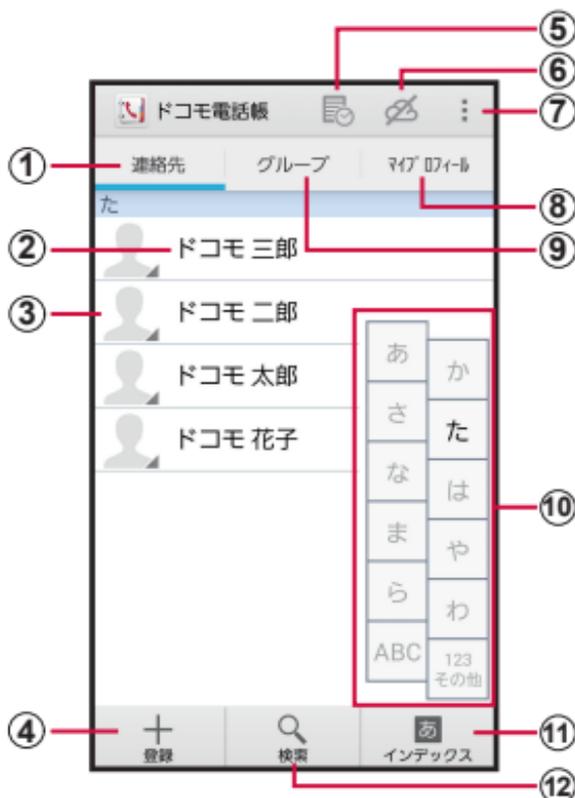
お知らせ

- ホーム画面で  → 「連絡先」 →  → 「本体」をタップすると、本端末に連絡先を保存できます。
- ホーム画面で  → 「連絡先」をタップして Samsung が提供する「連絡先」アプリを起動しても、連絡先の登録や管理などができます。ただし、ドコモが提供する「ドコモ電話帳」アプリとは、利用できる機能などが異なります。
- 「連絡先」アプリでは、連絡先一覧で  → 「スピードダイヤル」をタップして、スピードダイヤルに割り当てる番号を選択して、連絡先を登録できます。「スピードダイヤル」で登録した連絡先は、「ダイヤル」アプリのキーパッドの数字をタップすると表示され、スピーディーに発信することができます。

連絡先の内容を確認／編集する

1 ホーム画面で → 「ドコモ電話帳」 → 「連絡先」

- ・ 連絡先一覧画面が表示されます。



連絡先一覧画面

① 連絡先

- ・ 連絡先一覧画面を表示します。

② 電話帳に登録された名前

③ 電話帳に設定された写真

- ・ 電話帳に登録されている相手の画像をタップし、アイコンをタップすると、電話の発信／SMSやEメールの作成などができます。

④ 登録

- ・ 連絡先を登録します (P.188)。

⑤ タイムライン

- ・ SNS・ブログのつぶやきやメッセージなどが表示されます。
※ クラウドへのログインおよびマイ SNS 機能の設定が必要です。

⑥ クラウドのログイン/ログアウト

⑦ メニュー

- ・ メニューを表示します (P.197)。

⑧ マイプロフィール

- ・ マイプロフィール画面が表示され、ご利用の電話番号の確認や、お客様ご自身のプロフィール情報の編集・管理ができます (P.195)。

⑨ グループ

- ・ 表示するグループを選択します。

⑩ インデックス文字表示域

- ・ 「インデックス」をタップすると、名前を五十音順、アルファベット順などで検索できるインデックス文字が表示されます。

⑪ インデックス

- ・ インデックスを表示します。

⑫ 検索

- ・ 連絡先を検索します。

2 確認したい連絡先をタップ

- ・ プロフィール画面が表示されます。
- ・ 電話番号欄の  をタップして電話をかけることができます。
また、電話番号をタップするとSMSを作成したり、声の宅配便 (P.178) を利用したりすることができます。
- ・ メールアドレスをタップしてアプリを選択するとメールを作成できます。

連絡先を編集する場合

「編集」をタップします。

連絡先をお気に入りに追加する

連絡先を「お気に入り」グループに追加します。

- 1 連絡先一覧画面でお気に入りに追加したい連絡先をタップ → ☆（白色）をタップして、★（黄色）にする
 - ・ 追加した連絡先が「お気に入り」グループに表示されます。

グループを追加／編集する

- 1 連絡先一覧画面で「グループ」

- 2 「グループ追加」

登録済みのグループを編集する場合

編集したいグループをタップ → 「編集」 → 編集を行い「OK」をタップします。

グループを削除する場合

⋮ → 「グループ削除」 → 削除したいグループにチェックを付ける → 「決定」 → 「OK」をタップします。

グループの表示順を並べ替える場合

「並べ替え」 → グループをタップ → グループを表示したい位置にドラッグ → 「決定」をタップします。

- 3 アカウントを選択 → グループ名を入力 → アイコン、色を選択

- 4 「OK」

お知らせ

- グループ作成時に色やアイコンを設定したり、グループ一覧で並べ替えができるのは、保存先が docomo アカウントのグループのみです。

グループに連絡先を追加する

- 1 連絡先一覧画面で「グループ」
- 2 グループをタップ→「メンバー追加」→追加したい連絡先にチェックを付ける→「決定」→「OK」

グループから連絡先を削除する場合

削除したい連絡先を含むグループをタップ → 「メンバー削除」 → 削除したい連絡先にチェックを付ける → 「決定」 → 「OK」 をタップします。

お知らせ

- グループに追加できる連絡先は、保存先が docomo アカウントまたは Google アカウントの連絡先のみです。

電話帳から電話をかける

- 1 連絡先一覧画面で電話をかけたい相手をタップ
・ プロフィール画面が表示されます。
- 2  をタップ

マイプロフィールを登録する

- 1 連絡先一覧画面で「マイプロフィール」
・ プロフィール画面が表示されます。
- 2 「編集」
- 3 必要な項目を入力 → 「登録完了」

連絡先をインポート／エクスポートする

microSDカードやドコモminiUIMカードと本端末の間で連絡先をインポート／エクスポートできます。

1 連絡先一覧画面で  → 「インポート／エクスポート」

2 以下の操作を行う

連絡先をインポートする場合

「SIMカードからインポート」／「SDカードからインポート」→ 保存先を選択します。

- 「SDカードからインポート」を選択した場合は、microSDカードから連絡先をインポートします。
- Googleアカウントを設定していない場合は保存先の選択画面が表示されず、docomoアカウントが保存先になります。
- microSDカードに複数の連絡先データ（vCard）が保存されている場合は、電話帳の選択画面が表示されます。画面の指示に従ってインポート方法を選択してください。

連絡先をエクスポートする場合

「SDカードにエクスポート」→ エクスポートの方法を選択 → 「OK」→ 画面の指示に従って操作します。

連絡先データ（vCard）として送信する場合

「表示可能な電話帳を共有」→ 送信方法を選択します。

連絡先一覧画面／プロフィール画面のメニュー

連絡先一覧画面／プロフィール画面で  をタップすると以下の項目が表示されます。

□ 連絡先一覧画面

項目	説明
削除	連絡先を削除します。
クラウドにログイン	クラウドからログアウト中に表示され、クラウドにログインします。
クラウドからログアウト	クラウドにログイン中に表示され、クラウドからログアウトします。
クラウドメニュー	クラウドへログイン中に表示され、クラウドメニューを表示します。
インポート／ エクスポート	→ P.196

項目		説明
設定	ドコモ電話帳の海外利用設定	海外で利用するときの設定を行います。
	docomo ID 情報 / Wi-Fi 利用設定	docomo ID 情報の表示、Wi-Fi 利用時の設定を行います。
	連絡先の表示順	連絡先の表示順を変更します。
	表示するアカウント	タップしたアカウントに該当する連絡先のみが表示されます。
	アプリケーション情報	ドコモが提供する「ドコモ電話帳」アプリのバージョンなどが確認できます。
ヘルプ		ヘルプを表示します。

□ プロフィール画面

項目	説明
共有	連絡先をBluetooth機能やメールなどで送信します。
削除	連絡先を削除します。
着信音を設定	個別の着信音を設定します。
統合／分割	家族や会社などの関連する連絡先をリンクさせて、1つの連絡先にまとめたり、1つにまとめた連絡先を分離します。 <ul style="list-style-type: none">異なるアカウントの連絡先を統合した場合、プロフィール画面には複数のアカウントアイコンが表示されます。
SNS 電話帳連携設定	SNS 連携機能について設定します。 <ul style="list-style-type: none">docomoアカウントの連絡先の場合のみ表示されます。

お知らせ

- 「統合」でリンクさせた連絡先は、リンク操作を行った連絡先に結合され、連絡先一覧画面には表示されなくなります。

ドコモバックアップ

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳などのデータの移行やバックアップができるアプリです。

- 操作方法については、P.336をご覧ください。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。

絵文字、デコメール[®]の使用が可能で、自動受信にも対応しております。

また、送受信したメールがドコモメールサーバに保存されるため、端末紛失や機種変更時にも簡単にメールが移行できます。さらに docomo ID を利用すれば、パソコンやタブレットなど好きな環境でメールが利用できます。

ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で

- ・以降は画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- ・「ドコモバックアップ」(P.336) を利用すると、ドコモメールのデータをmicroSDカードにバックアップできます。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

※ 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス(SMS)」をご覧ください。

SMSを作成して送信する

1 ホーム画面で → 「SMS」

- スレッド (SMSを送受信した相手) 一覧画面が表示されます。

2 をタップ

- SMS作成画面が表示されます。

3 宛先に送信先の携帯電話番号を入力

- 複数の相手に送信する場合は、携帯電話番号に続けてカンマ (,) を入力するか、 をタップします。
-  → 「履歴」 / 「お気に入り」 / 「連絡先」 / 「グループ」をタップすると、電話帳の履歴、お気に入り、連絡先、グループから宛先を選択して入力できます。

4 「メッセージを入力」欄にメッセージを入力

顔文字を入力する場合

-  → 「顔文字を挿入」 → 入力したい顔文字をタップします。

登録済みの定型文を挿入する場合

-  → 「クイック返信」 → 挿入するメッセージをタップします。

5 をタップ

日時を指定してSMSを送信する場合

 → 「送信予約メッセージ」 → 送信したい日時を設定 → 「完了」 →  をタップします。

作成中のSMSを下書き保存する場合

宛先と本文が入力され、キーボードが表示された状態で  を2回タップします（予測変換候補表示時は  を3回タップします）。

お知らせ

- 標準メッセージアプリをハングアウトに切り替えることができます。
- 海外通信事業者をご利用のお客様の間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に“#”または“*”がある場合、SMSを送信できません。
- 送信予約したSMSの予約日時に本端末の電源が入っていない場合、SMSは送信されません。
- 送信予約したSMSは、本端末に設定した日付と時間で送信されます。ネットワーク状況や電波状態などによっては、設定した予約日時と送信日時が異なる場合があります。

受信したSMSを確認する

- 1 ホーム画面で  → 「SMS」
 - ・ スレッド（SMSを送受信した相手）一覧画面が表示されます。
- 2 読みたいスレッドをタップ
 - ・ SMS一覧画面が表示されます。
 - ・ 受信SMSは黄色、送信SMSは青色、送信予約SMSはグレーの吹き出しで表示されます。送受信したSMSの吹き出しの色や形は変更できます (P.205)。

お知らせ

- ・ 「通知」 (P.206) をONに設定している場合は、SMSを受信すると、ステータスバーに  が表示されます。

スレッド一覧画面のメニュー

スレッド一覧画面で  をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
選択	SMSを選択して迷惑メール設定や削除などの操作をします。
削除	スレッドを削除します。
下書きメッセージ	下書き保存したSMSを表示します。
保護メッセージ	保護したSMSを表示します。

項目		説明	
送信予約メッセージ		送信予約したSMSを表示します。	
迷惑メッセージ		迷惑SMSを表示します。	
文字サイズ		文字サイズを設定します。	
設定	標準メッセージアプリ	SMSを送受信するアプリを設定します。	
	画面	吹き出し	吹き出しのスタイルを設定します。
		背景スタイル	背景のスタイルを設定します。
		フォントサイズを変更	音量キーで文字サイズを変更するかどうかを設定します。
	クイック返信		定型文を追加・編集します。
	SMS	配信確認通知	送信ごとに送達通知を要求するかどうかを設定します。
SIMカード保存メッセージ管理		ドコモ miniUIM カードにコピーしたSMSを確認・削除・本端末にコピーします。	

項目		説明	
設定	SMS	メッセージセンター	SMSセンターを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 通常は設定を行う必要はありません。
		有効期限	送信するSMSの有効期限を設定します。
	自動削除	最大SMS件数	最大SMS件数を設定します。
	優先送信元		スレッド一覧画面に優先送信元を表示します。
	通知	通知音	SMSを受信したときに鳴らす通知音を設定します。
		バイブ	SMSを受信したときに、振動してお知らせするかどうかを設定します。
		メッセージ通知の繰り返し	SMS受信通知の繰り返し間隔を設定します。
		ポップアップを表示	SMSを受信したときに、ポップアップ画面でお知らせするかどうかを設定します。

項目			説明
設定	通知	ロック画面	SMSを受信したときに、ロック画面にプレビューを表示するかどうかを設定します。
		ステータスバー	SMSを受信したときに、ステータスバーにプレビューを表示するかどうかを設定します。
	署名	署名を編集	署名を編集します。
	迷惑メッセージフィルター	迷惑メッセージ番号に追加	受信拒否する携帯電話番号を登録します。
		迷惑メッセージフレーズに追加	受信拒否するフレーズを登録します。
		番号非通知をブロック	発信者番号非通知のSMSを受信拒否するかどうかを設定します。
	メッセージの送信待機	待機時間の設定	送信操作を行ってから送信が完了するまでの待機時間を設定します。
	セーフモード		メッセージ内のリンクへのアクセス制限やフィッシング防止を設定します。

項目	説明
ヘルプ	ヘルプを表示します。

SMS一覧画面のメニュー

SMS一覧画面で  をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
連絡先を表示／連絡先に追加	連絡先を表示／連絡先に追加します。
クイック返信	定型文を挿入します。
宛先を追加	他の宛先を入力してSMSを作成します。
顔文字を挿入	顔文字を入力します。
送信予約メッセージ	送信予約の日時を設定します。
優先送信元に追加／優先送信元から削除	連絡先をスレッド一覧画面の優先送信元表示に追加／削除します。
迷惑メッセージ番号に追加 ^{*1}	相手の携帯電話番号を迷惑SMSに登録します。
迷惑メッセージ解除(番号) ^{*2}	相手の携帯電話番号を迷惑SMSの登録から解除します。
破棄	作成中のSMSを破棄します。
文字サイズ	文字サイズを設定します。

※1 迷惑SMSに登録されていない相手とのSMS一覧画面で表示されます。

※2 迷惑SMSに登録されている相手とのSMS一覧画面で表示されます。

本文画面のメニュー

送受信や送信予約したSMSをロングタッチすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
再送信 ^{※1}	送信に失敗したSMSを再送信します。
削除 ^{※1※2}	SMSを削除します。
すぐに送信 ^{※3}	送信予約したSMSをすぐに送信します。
メッセージをキャンセル ^{※3}	送信予約したSMSを削除します。
テキストをコピー	SMSの本文をコピーします。
転送	SMSを転送します。
保護／保護解除	誤って削除しないようにSMSを保護／保護解除します。
メッセージを編集 ^{※1※3}	送信に失敗した／送信予約したSMSを編集します。
共有	連絡先をBluetooth機能やメールなどで送信します。
SIMにコピー ^{※2}	SMSをドコモminiUIMカードにコピーします。

項目	説明
メッセージの詳細を表示	タイプ、発信者／宛先、送受信日時、送信予約日時、送達通知（配信確認）、ステータスを表示します。

- ※ 1 送信に失敗したSMSで表示されます。
- ※ 2 送受信したSMSで表示されます。
- ※ 3 送信予約したSMSで表示されます。

お知らせ

- 送信予約したSMSをすぐに送信する場合は、送信予約したSMSの  → 「OK」をタップしても、すぐに送信することができます。
- SMSはドコモminiUIMカードに20件までコピーできます。

Eメール

一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPなどに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

Eメールアカウントを設定する

メールアドレスとパスワードを入力すると、Eメールアカウントの設定を自動的に取得して設定が行われます。

- 自動で設定できない場合や、手動で設定する場合は、受信設定や送信設定を入力する必要があります。あらかじめ必要なEメールアカウント設定の情報をご用意ください。

1 ホーム画面で → 「Eメール」

2件目以降のEメールアカウントを設定する場合

ホーム画面で  → 「Eメール」 →  → 「設定」 → 「アカウント管理」 →  をタップします。

2 メールアドレス、パスワードを入力 → 「次へ」

- Eメールアカウントの設定が自動的に取得されません。
- 自動的に設定を取得できず、アカウントタイプの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定を行ってください。

- 2件目のEメールアカウントの設定からは、「Eメール送信時の標準アカウントとして設定」のチェックボックスが表示されます。チェックを付けると、設定するアカウントをメインアカウントとして設定できます。
Eメール一覧画面で  → 「設定」 → 「アカウント管理」 → メインアカウントとして設定したいアカウントを選択 → 「メインアカウント」にチェックを付けるとメインアカウントを変更することができます。

手動で設定する場合

メールアドレス、パスワードを入力 → 「手動設定」
→ 画面の指示に従って設定します。

3 アカウントオプションを設定 → 「次へ」

4 アカウント名、ユーザー名を入力 → 「完了」

Eメールの設定を変更する

アカウント設定

- 1 ホーム画面で  → 「Eメール」
 - Eメール一覧画面が表示されます。
- 2  → 「設定」 → 「アカウント管理」 → 設定したいアカウントをタップ
- 3 設定したい項目をタップ

項目		説明
同期設定	Eメールを同期	Eメールのサーバーと同期を行うかどうかを設定します。
	同期スケジュール	Eメールを同期するタイミングを設定します。
	同期するEメールの期間*	Eメールを同期する期間を設定します。
	受信サイズの制限	受信するEメールのサイズを設定します。 <ul style="list-style-type: none">• 「制限なし」 / 「制限なし（添付ファイルを含む）」を選択しても、Eメールのサイズが大きすぎるとメール本文が一部省略されることがあります。
署名		Eメールの本文に署名を入れるかどうかを設定します。また署名を編集します。

項目		説明
メインアカウント		メインアカウントとして使用するかどうかを設定します。 チェックを付けると、アカウント管理画面の設定したアカウントに「(標準)」が表示されます。
パスワード		パスワードを設定します。
通知設定	Eメール通知	Eメールを受信したときに、通知音と通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。
	通知音	Eメールを受信したときに鳴らす通知音を設定します。
	バイブ	Eメールを受信したときに、振動してお知らせするかどうかを設定します。
その他の設定	アカウント名	アカウント名を変更します。
	ユーザー名	ユーザー名を変更します。
	必ず自分にCc/Bccを送信	自分のメールアドレスをCc/Bccに追加します。

項目		説明	
その 他の 設定	画像を表示	<p>画像を表示するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「受信サイズの制限」で設定したサイズを超えるEメールを受信した場合は、チェックを付けても画像が表示されないことがあります。その場合は、本文画面で「詳細を読み込む」または「画像を表示」をタップするか、「×アイテム」（×は添付ファイルの数）→「プレビュー」をタップすると画像を確認できます。 	
	セキュリティオプション	暗号化、署名などのセキュリティオプションを設定します。	
	データの 使用	読み込みEメール数	表示するEメールの数を設定します。
		添付ファイルを自動ダウンロード*	Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかどうかを設定します。

項目			説明
その他の設定	サーバー設定	受信設定	受信サーバーの設定を変更します。
		送信設定	送信サーバーの設定を変更します。

※ POP3アカウントの場合は表示されません。

お知らせ

- 複数のEメールアカウントを設定している場合は、Eメール一覧画面でアカウント名をタップ → 統合表示の「統合受信トレイ」をタップすると、登録したすべてのEメールアカウントの受信メールを一覧で確認できます。
- Eメールアカウントを削除する場合は、Eメール一覧画面で  → 「設定」 → 「アカウント管理」 →  (アカウントが複数の場合は  → 「アカウント削除」) → 削除したいEメールアカウントにチェックを付ける → 「完了」 → 「OK」をタップします。
- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントの場合は、設定項目が異なります。

基本設定

- 1 ホーム画面で  → 「Eメール」
- 2  → 「設定」
- 3 設定したい項目をタップ

項目		説明
アカウント管理		→P.213
表示	内容の自動サイズ調整	画面に合わせてEメールを縮小表示します。詳細で拡大することができます。
	本文のプレビュー行数	Eメールのプレビューの行数を設定します。
	リスト内のタイトル行	Eメールのタイトルを「件名」または「送信元」のどちらを表示するかを設定します。
	チェックボックスを非表示	Eメール一覧画面でチェックボックスを非表示にします。
標準画面		Eメールの移動や削除をしたあとに表示する画面を設定します。
優先送信元設定	標準フォルダとして設定	Eメールを開くときに優先送信元受信トレイを表示するように設定します。

項目		説明
優先送信元設定	Eメール通知	優先送信元からEメールを受信したときに、通知音と通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。
	通知音	優先送信元からEメールを受信したときに鳴らす通知音を設定します。
	バイブ	優先送信元からEメールを受信したときに、振動してお知らせするかどうかを設定します。
迷惑メールアドレス		迷惑メールとして登録した送信元アドレスとドメインのリストを編集します。
Eメールの送信待機		指定した待機時間後に送信するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 「Eメールの送信待機」にチェックを付けると、待機時間を設定できます。

お知らせ

- Microsoft Exchange ActiveSync アカウントを設定している場合は、設定項目が異なります。

Eメールを作成して送信する

- 1 ホーム画面で  → 「Eメール」
- 2  をタップ
 - Eメール作成画面が表示されます。
- 3 「宛先」欄に送信先のメールアドレスを入力
 - Cc/Bccを追加する場合は、 をタップしてCc欄またはBcc欄にアドレスを入力します。
 -  → 「お気に入り」／「連絡先」／「グループ」をタップすると、電話帳のお気に入り、連絡先、グループから宛先を選択して入力できます。
 - 複数のEメールアカウントを設定している場合は、 → 送信元表示をタップして、Eメールアカウントを切り替えられます。

4 「件名」欄に件名を入力

5 本文欄に本文を入力

ファイル／データを添付する場合

 → 添付したいファイル／データの種類をタップ
→ 画面に従って添付操作を行います。

ファイル／データを挿入する場合

 →  → 挿入したいファイル／データの種類をタップ
→ 画面に従って挿入操作を行います。

送信するEメールの優先度を設定する場合

 → 「優先度」 → 優先度を選択します。

送信するEメールの暗号化や署名を設定する場合

 → 「セキュリティオプション」 → 「暗号化」／「署名」にチェックを付ける → 「OK」をタップします。

6 をタップ

宛先に自分を追加する場合

 → 「宛先に自分を追加」

- 複数のEメールアカウントを設定している場合は、追加するアカウントをタップします。

日時を指定してEメールを送信する場合

 → 「送信予約Eメール」 → 「送信予約Eメール」にチェックを付ける → 送信したい日時を設定 → 「完了」 →  をタップします。

作成中のEメールを下書き保存する場合

 をタップするか、 /  → 「保存」をタップします。

作成中のEメールを削除する場合

 /  → 「破棄」をタップします。

お知らせ

- 送信予約したEメールの予約日時に本端末の電源が入っていない場合、Eメールは送信されません。
- 送信予約したEメールは、本端末に設定した日付と時間で送信されます。ネットワーク状況や電波状態などによっては、設定した予約日時と送信日時が異なる場合があります。
- パソコンや他の端末とEメールを送受信した場合、利用環境によっては絵文字やHTMLメールなどの内容が正しく表示されない場合があります。

受信したEメールを確認する

1 ホーム画面で → 「Eメール」

- Eメール一覧画面が表示されます。
- 複数のEメールアカウントが登録されている場合は、アカウント名をタップして表示したいアカウントのフォルダをタップし、Eメール一覧画面を表示します。

2 をタップ

3 確認したいEメールをタップ

- 本文画面が表示されます。

お知らせ

- 「Eメール通知」(P.214) にチェックを付けている場合は、Eメールを受信すると、ステータスバーに  などが表示されます。
- Eメール一覧画面で  をタップすると、Eメールを検索できます。
- Eメール一覧画面で  をタップすると、フォルダを切り替えられます。
- 本文画面で送信元の画像欄をタップすると、メールアドレスを電話帳に登録したりEメールを送信したりできます。メールアドレスを電話帳に登録している場合は、連絡先を表示したりEメールを送信したりできます。
- データが添付されている場合はEメール一覧画面に  が表示されます。本文画面で「×アイテム」(×は添付ファイルの数) をタップするとファイル名などが表示されます。
 - 「プレビュー」をタップすると、添付データを確認できます。
 - 「ダウンロード」をタップすると、添付データを本端末に保存できます。

Eメール一覧画面のメニュー

Eメール一覧画面で  をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
選択	Eメールを選択して、削除 (🗑️) や移動 (📁)、迷惑メール設定 (🛡️)*、お気に入りに追加/解除 (★/☆)、未読/既読の切り替え (📧/📧) の設定ができます。
フィルター	並び替えの条件を選択してEメールを並び替えます。
表示モード	Eメール一覧画面の表示方法を切り替えます。
文字サイズ	文字サイズを設定します。
削除	Eメールを削除します。
全て削除	すべてのEメールを削除します。
設定	Eメールアカウントの設定を変更します。 → P.213
ヘルプ	端末ヘルプを表示します。

※ POP3アカウントの場合は表示されません。

本文画面のメニュー

本文画面で  /  をタップすると以下の項目が表示されます。

	項目	説明
	文字サイズ	文字サイズを設定します。
	設定	Eメールの基本設定を変更します。→ P.217
	ヘルプ	端末ヘルプを表示します。
	未読にする	Eメールを既読から未読にします。
	移動	Eメールを他のフォルダに移動します。
	Eメールを保存	Eメールを本端末に保存します。
	迷惑メールアドレスとして登録*	送信元のメールアドレスやドメインを迷惑メールとして登録します。
	優先送信元に追加/優先送信元から削除	送信元のメールアドレスを優先送信元として設定/解除します。
	印刷	対応のプリンターを利用して、Eメールを印刷します。→ P.445

※ POP3 アカウントの場合は表示されません。

Gmail

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です (P.395)。Googleアカウントの設定画面が表示された場合、画面の指示に従って設定を行ってから操作してください。

Gmailを開く

- 1 ホーム画面で  → 「Gmail」
- 2 読みたいメールをタップ
 - 選択したメールの内容が表示されます。

Gmailを作成して送信する

- 1 ホーム画面で  → 「Gmail」
- 2  をタップ
 - メール作成画面が表示されます。
- 3 宛先に送信先のメールアドレスを入力
 - 複数の相手に送信する場合は、カンマ (,) で区切ります。
 - Cc/Bccを追加する場合は、 → 「Cc/Bccを追加」をタップします。
- 4 「件名」欄に件名を入力
- 5 「メールを作成します」欄に本文を入力

6 ▶ をタップ

作成中のメールを下書き保存する場合

☰ → 「下書きを保存」 をタップします。

下書き保存したメールを編集する場合

受信トレイ画面で ☰ → 「下書き」 → 編集する下書きをタップ → ✎ をタップします。

アカウントを切り替える

1 ホーム画面で 🏠 → 「Gmail」

2 ☰

3 切り替えるアカウントをタップ

- 選択したアカウントの受信トレイが表示されます。

お知らせ

- Gmailの詳細については、Gmailの画面で ☰ → 「ヘルプ」 をタップしてご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、受信画面が表示されます。

- ブザー音・着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード（サイレント、バイブ）設定中でもブザー音・着信音が鳴ります。鳴動しないように設定できます。→P.228

受信したエリアメールを表示する

1 ホーム画面で → 「災害用キット」

- 初めて起動したときは機能概要や注意事項、使用許諾規約などが表示されるので、内容をよく読み、「同意して利用する」をタップします。

2 「緊急速報「エリアメール」」→ 確認したい エリアメールをタップ

エリアメールを削除する場合

「緊急速報「エリアメール」」→ 削除したいエリアメールにチェックを付ける → 「削除」→ 「OK」をタップします。

- ・ 1つ以上のエリアメールにチェックを付けた後に「すべて選択」をタップすると、すべてのエリアメールにチェックが付きます。

緊急速報「エリアメール」を設定する

受信設定や着信音設定をします。また、受信時の動作確認もできます。

1 ホーム画面で  → 「災害用キット」

2 「緊急速報「エリアメール」」→  をロングタッチ → 「設定」

3 項目を設定

項目	説明
受信設定	エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音	ブザー音・着信音の鳴動時間、マナーモード（サイレント、パイプ）設定時もブザー音・着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信画面とブザー音・着信音を確認します。

項目		説明
その他の設定	受信登録	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外で利用するエリアメールの登録や削除を行います。

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを使用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。

本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

ウェブブラウザを起動する

1 ホーム画面で

- ウェブブラウザが起動し、ホームページに設定されているウェブページ（お買い上げ時はdメニュー（<http://smt.docomo.ne.jp/?home>）が表示されます。



① アドレスバー

ウェブページのURLや検索したいキーワードを入力します。

② 再読み込み

- ③ **ウィンドウ**
ウィンドウを切り替えたり、閉じたり、新しいウィンドウを開いたりします。
- ④ **メニュー**
メニューを表示します (P.235)。
- ⑤ **戻る／進む**
- ⑥ **ホームページに戻る**
ホームページに設定されているウェブページに戻ります。
- ⑦ **ブックマーク／履歴**
ブックマーク／履歴の一覧を表示します。
- ⑧ **保存したページ**
保存したページの一覧を表示します。

お知らせ

- アドレスバーやアイコンが表示されていない場合は、画面を下にフリック／スワイプすると表示されます。

ウェブブラウザを終了する

- 1  → ブラウザのサムネイルを左右（横表示の場合は上下）にスクロール／フリック
 - ブラウザ画面で  を押したり  をタップしてホーム画面に戻っても、ブラウザは終了しません。

お知らせ

- ブラウザ画面で次の操作ができます（表示中のウェブページにより操作できない場合があります）。
 - 拡大／縮小：拡大／縮小したい位置で2本の指の間隔を広げる／狭める
 - フレームで区切られた箇所を拡大／縮小：拡大／縮小したい位置でダブルタップ
 - スクロール：画面をスクロール／フリック
 - 前の画面に戻る： をタップ
 - 拡大鏡の使用：画面をロングタッチ
 - テキストのコピー：画面のリンクが貼られていないテキストをロングタッチ →  /  を上下左右にドラッグして、コピーしたいテキスト範囲を選択 → 「コピー」
 - テキストの検索：画面のリンクが貼られていないテキストをロングタッチ →  /  を上下左右にドラッグして、検索したいテキスト範囲を選択 → 「検索」 / 「Web 検索」
 - テキストの共有：画面のリンクが貼られていないテキストをロングタッチ →  /  を上下左右にドラッグして、共有したいテキスト範囲を選択 → 「共有」 → 共有する方法をタップ

新しいウィンドウを開く

- 1 ブラウザ画面で 
 - ・ ウィンドウマネージャーが表示されます。
- 2 
 - ・ クイックアクセス画面が表示されます。
- 3 画面上部の検索ボックスにURLまたは検索したいキーワードを入力する
 - ・ クイックアクセスリストからサムネイルをタップしても、新しいウィンドウが表示されます。

ウィンドウを閉じる場合

 → 閉じたいウィンドウの  をタップします。

お知らせ

- ・ ブラウザ画面で  → 「新規ウィンドウ」をタップしても、新規ウィンドウを表示できます。

シークレットモードでウィンドウを開く

ブラウザの履歴や検索履歴を残さずに、ブラウザの閲覧ができます。

- 1 ブラウザ画面で  → 「シークレットモード」 → 「OK」
 - ・ シークレットモードで閲覧中のウィンドウは、画面上部のアドレスバーの周囲が濃いグレーで表示されます。

シークレットモードのウィンドウを閉じる場合

 → タイトルに  が表示されているウィンドウの  をタップします。

お知らせ

- シークレットモードで閲覧したウェブページの履歴は残りません。シークレットモードで閲覧したウェブページを閉じると、Cookieなどの記録も消去されます。ただし、シークレットモードで閲覧中にダウンロードしたファイルや、ブックマークしたウェブページは保存されます。

ウェブページのリンクを操作する

- 1 ブラウザ画面でリンクをロングタッチ
- 2 利用したい項目をタップ

項目	説明
開く	ウェブページを開きます。
新規ウィンドウで開く	ウェブページを新しいウィンドウで開きます。
リンクを保存	ウェブページを本端末 / microSDカードに保存します。
リンクをコピー	URLをコピーします。
テキストを選択 ^{*1}	テキストを選択します。
画像を保存 ^{*2}	画像を本端末 / microSDカードに保存します。
画像をコピー ^{*2}	画像をクリップボードにコピーします。
画像を表示 ^{*2}	画像を表示します。

※1 リンクされているテキストでのみ表示されます。

※2 リンクされている画像でのみ表示されます。

お知らせ

- 表示中のウェブページにより、リンク操作のメニューが表示されない場合や、表示される項目が異なる場合があります。

ブラウザ画面のメニュー

ブラウザ画面で  をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
新規ウィンドウ	新しいウィンドウを開きます。
クイックアクセスに追加	クイックアクセスリストに追加します。
ショートカットをホーム画面に追加	ウェブページのショートカットをホーム画面に追加します。
ページを保存	ウェブページを保存します。
共有	ウェブページのURLをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
ページ内検索	ウェブページ内に表示されている内容を検索します。
シークレットモード	シークレットモードで履歴を残さずにウェブページを表示します。 → P.233

項目	説明
PC版を表示	PC版のウェブページを開くかどうかを設定します。
明るさ	画面の明るさを調整します。
印刷	対応のプリンターを利用して、ブラウザ画面を印刷します。→ P.445
設定	→ P.239
ヘルプ	ヘルプを表示します。

履歴やブックマークを管理する

履歴からウェブページを表示する

- 1 ホーム画面で 
- 2  → 「履歴」
 - 履歴の一覧が表示されます。
 - 閲覧日時の新しい順に履歴が表示されます。
 - ブックマークに追加済みの履歴には ★（橙色）が表示されます。
- 3 表示したいウェブページをタップ

お知らせ

- 履歴の一覧で  → 「履歴を消去」 → 「OK」をタップすると、履歴をすべて消去できます。

ウェブページをブックマークに追加する

- 1 ホーム画面で 
- 2 ブックマークに追加するウェブページを表示
→  → 
- 3 「マイデバイス」またはアカウント表示をタップ
→ 登録したいフォルダをタップ
- 4 ブックマークのタイトルを確認／変更 → 「保存」

ブックマークからウェブページを表示する

- 1 ホーム画面で 
- 2 
 - ・ ブックマークの一覧が表示されます。
- 3 表示したいウェブページをタップ

お知らせ

- ・ ブックマークの一覧で  をタップすると、次の項目が表示されます。
 - 「選択」：複数のブックマークを選択して、削除や共有などができます。
 - 「削除」：ブックマークを削除します。
 - 「リスト表示」 / 「サムネイル表示」：一覧の表示方法を変更します。
 - 「フォルダ作成」：フォルダを作成します。
 - 「並べ替え」：ブックマークの一覧の表示順を変更します。

ブックマーク／履歴のメニュー

ブックマーク／履歴をロングタッチすると選択画面が表示され、以下の操作ができます。

項目	説明	
	新しいウィンドウでウェブページを開きます。	
	履歴／ブックマークを削除します。	
	共有	ウェブページのURLをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
	編集 ^{*1}	ブックマークの名前／URLを編集したり、保存先フォルダを変更できます。
	フォルダに移動 ^{*1}	ブックマークの保存先フォルダを変更できます。
	コピー ^{*2}	ウェブページのURLをコピーします。
	クイックアクセスに追加	クイックアクセスリストに追加します。
	ショートカットをホーム画面に追加 ^{*1}	ブックマークのショートカットをホーム画面に追加します。
	ブックマークを追加 ^{*2}	ブックマークに追加します。

項目		説明
	ホームページに設定	ウェブページをホームページとして設定します。

※1 ブックマークの一覧で表示されます。

※2 履歴の一覧で表示されます。

ウェブブラウザを設定する

- 1 ホーム画面で 
- 2  → 「設定」
- 3 設定したい項目をタップ

項目		説明
アカウント		Samsung アカウントを設定します。
ホームページを設定		ホームページを設定します。
自動入力フォーム		ウェブフォームの入力欄に自動入力するテキストを設定します。
プライバシー	検索キーワードとURLの候補	アドレスバーに入力する際、関連のあるキーワードなどを表示するかどうかを設定します。
	使用可能なリンクをプリロード	ページの読み込み時にリンクのプリロードを実行するかどうかを設定します。

項目		説明
プライバシー	文字入力履歴を保存	ウェブページに入力した文字情報を保存するかどうかを設定します。
	パスワードを保存	ウェブページに入力したユーザー名・パスワードを保存するかどうかを設定します。
	個人データを削除	閲覧履歴やキャッシュ、Cookie、パスワード、位置情報などの個人データを削除します。
画面とテキスト	テキストの表示倍率	文字の表示倍率を設定します。
	拡大／縮小設定を制御	ウェブページの設定を無効にして、拡大／縮小できるようにするかどうかを設定します。
	文字コード	文字エンコードを設定します。
	全画面表示	ステータスバーの表示を消して、ウェブページを全画面表示するかどうかを設定します。
	テキスト拡大	PC版のウェブページを閲覧する際、テキストのサイズを拡大して表示するかどうかを設定します。

項目		説明
コンテンツ設定	Cookieを許可	Cookieの保存・読み取りを許可するかどうかを設定します。
	位置情報を有効にする	本端末の位置情報へのアクセスを許可するかどうかを設定します。
	JavaScriptを有効化	JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。
	ポップアップをブロック	ポップアップウィンドウをブロックするかどうかを設定します。
	保存先	ダウンロードしたデータの保存先を設定します。
	Webサイト設定	位置情報にアクセスしたウェブページなどの詳細情報を表示します。
	通知を有効にする	通知機能を有効にするかどうかを設定します。
	通知を消去	通知を消去します。
	設定をリセット	データ消去と設定リセットを行い、ブラウザの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

項目		説明
帯域幅の 管理	Web ページ のプリロード	ブラウザがページをバック グラウンドでプリロードで きるように設定します。
	画像の読み込 み	画像表示の有無を設定しま す。
	ページを全体 表示で開く	新しく開いたウェブページ を全体表示します。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で「dメニュー」

- ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE/3G/GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

dマーケットでは、自分に合った便利で楽しいコンテンツを手に入れることができます。

- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で「dマーケット」

Playストア

- Google Playのご利用には、Googleアカウントの設定が必要です (P.395)。

アプリをインストールする

1 ホーム画面で「Playストア」

2 ダウンロードしたいアプリを検索し、タップ → 詳細を確認

3 無料アプリの場合は「インストール」、有料 アプリの場合は金額欄をタップ → 画面の指 示に従って操作

- インストールが完了すると、ステータスバーに  が表示されます。
- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。ダウンロードの操作を行うと、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うこととなります。

お知らせ

- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。
- 購入したアプリに満足しない場合、規定の時間内であれば返金要求ができます。なお、返金要求は各アプリに対して最初の一度のみとなります。
- Google Playの詳細については、Google Playの画面で  → 「ヘルプ」 をタップしてご覧ください。
- アプリのアンインストールについては、「アプリやウィジェットのアンインストール」(P.155) をご参照ください。

Samsung Apps

Samsung Appsを利用して、Samsungのおすすめする豊富なアプリを簡単にダウンロードすることができます。

Samsung Appsに接続する

- 1 ホーム画面で  → 「Samsung Apps」
 - 免責条項が表示された場合は、内容をよく読み、「同意する」をタップします。
- 2 利用したいアプリを検索してダウンロード

お知らせ

- Samsung Appsは国や地域によってはご利用になれない場合があります。詳細については、パソコンからSamsung Appsサイト内のサポートページをご覧ください。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどをICカード内、またはドコモminiUIMカード内に保存することができます。

また、電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができますし、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時の対策になります。

おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- 本端末の故障により、ICカード内データ^{*1}およびドコモminiUIMカード内データ^{*2}が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データおよびドコモminiUIMカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。

- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。
 - おサイフケータイをご利用いただく場合は電池パックSC13を取り付けてください。電池パックSC13にはFeliCaアンテナが搭載されています。
- ※1 おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ
- ※2 ドコモminiUIMカードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」を利用する

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトよりおサイフケータイ対応アプリをダウンロード後、設定を行ってください。なお、サービスによりおサイフケータイ対応アプリのダウンロードが不要なものもあります。

1 ホーム画面で「おサイフケータイ」

- サービス情報を取得してサービス一覧を更新します。
- おサイフケータイの初期設定が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 利用したいサービスをタップ

3 サービスに関する設定を行う

4 マークを読み取り機にかざす

- 読み取り機と通信できます。

お知らせ

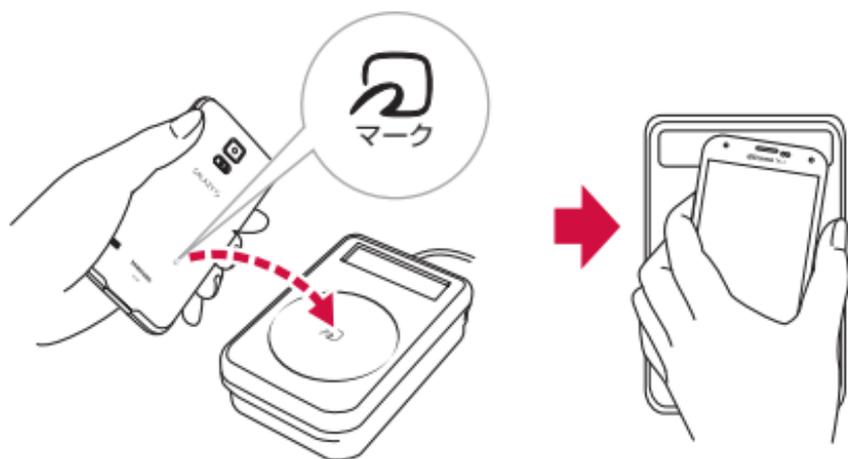
- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機とのデータの読み書きができます。
- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電池パックを取り付けていない場合は利用できません。電池パックを取り付けていても、本端末の電源を長時間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能がご利用できなくなることがございますので、あらかじめご了承ください。

「かざしてリンク対応サービス」を利用する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「その他ネットワーク」 → 「NFC / おサイフケータイ」
- 2 「Reader/Writer, P2P」の  をタップ
- 3 NFC モジュールが内蔵された機器、またはスマートポスターなどに  マークをかざす

対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、次のことにご注意ください。



- NFCマークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- NFCマークを対向機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
- NFCマークと対向機の間には金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

おサイフケータイの機能をロックする

「NFC / おサイフケータイ ロック設定」を利用すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。NFC / おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面で「おサイフケータイ」

2 「ロック設定」 → パスワードを入力 → 「OK」

- ・ 初回起動時はパスワードの設定が必要です。画面の指示に従って、パスワードを設定してください。

ロックを解除する場合

「ロック設定」 → パスワードを入力 → 「OK」をタップします。

パスワードを変更する場合

ロック解除中に「ロック設定」 → 「PW変更」 → パスワードを入力 → 「新しいパスワード」欄をタップ → 新しいパスワードを入力 → 「新しいパスワードの確認」欄をタップ → 再度新しいパスワードを入力 → 「OK」をタップします。

お知らせ

- 「NFC / おサイフケータイ ロック設定」をご利用になると、ステータスバーに  または  が表示されます。
- 「NFC / おサイフケータイ ロック設定」ご利用中に電池が切れると、「NFC / おサイフケータイ ロック設定」が解除できなくなりますので、電池残量にご注意ください。電源が切れた場合は、充電後に「NFC / おサイフケータイ ロック設定」を解除してください。
- 「NFC / おサイフケータイ ロック設定」ご利用中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、パスワードの入力が必要になります。
- NFC / おサイフケータイのパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。
- 「NFC / おサイフケータイ ロック」の解除は、「NFC / おサイフケータイ ロック」を設定した際に本端末に挿入していたドコモ miniUIM カードを取り付けた状態で行ってください。

iDアプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iDアプリで設定を行う必要があります。

- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイト（<http://id-credit.com/>）をご覧ください。

トルカ

トルカは、本端末に取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、サイトや読み取り機から取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリに保存され、「トルカ」アプリを利用して表示、検索、更新ができます。

- トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 初めてトルカを起動したときはソフトウェア使用許諾規約が表示されますので、内容をよく読み、「同意する」をタップします。

1 ホーム画面で → 「トルカ」

お知らせ

- トルカを取得、表示、更新するには、パケット通信料がかかる場合があります。
- コンテンツ提供者の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
更新、トルカの共有、地図表示^{*}、読み取り機からの取得
※ トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでも、トルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- NFC /おサイフケータイ ロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。
- 「重複チェック設定」にチェックを付けている場合、同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したいときは、チェックを外してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

モバキャス

モバキャスは、スマートフォン向けの放送サービスです。番組をリアルタイムに視聴できる「リアルタイム」(リアルタイム型放送)、映画やドラマだけでなく、マンガ・小説・音楽・ゲームなどをいつでもどこでも楽しむことができる「シフトタイム」(蓄積型放送)の2つの視聴スタイルが楽しめます。また、端末の通信機能を利用したソーシャルサービスとの連携など、今までにない放送サービスを楽しめます。

モバキャスの詳細については、モバキャス放送局(NOTTV)のホームページをご覧ください。

NOTTV : <http://www.nottv.jp/>

モバキャスのご利用にあたって

- モバキャスのご利用には別途モバキャス放送局(NOTTV)との有料放送受信契約が必要になります。
- 本端末にドコモminiUIMカードが入っていない場合は放送の受信・視聴ができません。
- モバキャスは日本国内で提供される放送サービスです。
- シフトタイムや録画のご利用にはmicroSDカードまたはシステムメモリ(本体)の容量が必要です。CLASS4以降のmicroSDカードのご利用をおすすめします(設定でストレージ選択が可能です)。

放送電波・受信エリアについて

モバキャスは、XiサービスおよびFOMAサービス、ワンセグとは異なる電波を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、モバキャスの放送電波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、モバキャス放送エリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- ・ 放送電波が送信される基地局から離れている場所
- ・ 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- ・ トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

ワンセグモバキャスアンテナケーブル SC01 について

- ・ モバキャスやテレビ（ワンセグ）を視聴するときは、付属のワンセグモバキャスアンテナケーブル SC01 を本端末に接続してください。→ P.266

受信状態をよくするには

- ・ ケーブルの向きを変えたり、人体から離したり、また場所を移動したりすることで受信状態が良くなる場合があります。

1 ホーム画面で「NOTTV」

- NOTTVのホーム画面が表示されます。
- 初めてアプリを起動したときは、初期設定が行われます。アプリ使用許諾契約書の内容を確認し、「スタート」をタップします。
- 初期設定は通信環境の良いところで実施してください。
- ドコモminiUIMカードの差し替えによる初期設定の確認画面が表示された場合は、「初期設定する」をタップし、初めて起動したときと同じ操作を行ってください。

2 番組／コンテンツのサムネイルをタップ

- リアルタイム視聴時は、画面を左右にフリックしてチャンネルを選局できます。
- 本端末を横にする、または  をタップすると表示が切り替わります。 は画面をタップしたときに表示されます（コンテンツの表示構成は番組／コンテンツにより異なります）。
- 「データ」をタップすると、データ放送が表示されます。
- 「ソーシャル」をタップすると、番組／コンテンツに関連したタイムラインが表示されます。
- 「インフォ」をタップすると、番組詳細が表示されます。
- 音量キーを押すと、音量を調節できます。
- 音声や字幕の設定は、 をロングタッチ → 「設定」 → 音声・字幕からできます。

番組／コンテンツを探す

番組／コンテンツをアプリ内でさまざまな方法で探すことができます。

番組表から検索（リアルタイム）

1 NOTTVのホーム画面で「番組表」

- リアルタイム番組表が表示されます。シフトタイムの番組表を見るには、「シフトタイム」をタップします。
- 現在放送中の番組をタップすると、チャンネルが切り替わります。
- 「全画面」をタップすると、番組表が全画面表示されます。「簡易画面」をタップすると、元の表示に戻ります。

条件を指定して検索

1 NOTTVのホーム画面で をロングタッチ → 「検索・ジャンル別」

2 キーワードを入力／ジャンル別で探したいものをタップ

番組／コンテンツの受信予約

シフトタイムの受信予約

- 1 NOTTVのホーム画面で「番組表」
- 2 「シフトタイム」
 - ・ 今後放送される番組／コンテンツの一覧が表示されます。
- 3 予約したい番組／コンテンツをタップ
 - ・ 番組／コンテンツの詳細画面が表示されます。
- 4 「予約する」→「1回のみ予約する」／「シリーズ予約する」

お知らせ

- 番組／コンテンツの放送時間に本端末の電源が入っていない、電池残量不足、モバキャスト放送エリア外など電波受信状況が良くない、microSDカード未挿入、microSDカード・システムメモリ（本体）の容量不足などの場合は、番組／コンテンツが受信できない場合があります。
- microSDカードまたはシステムメモリ（本体）に一時保存された番組／コンテンツはご利用中の端末でのみ視聴・利用できます。
- 利用期限を過ぎた番組／コンテンツは自動的にmicroSDカードまたはシステムメモリ（本体）から削除されます。なお、利用期限が過ぎる前の番組／コンテンツも手動で削除することができます。
- お客様が予約を行っていない場合も自動的に番組／コンテンツが予約される場合があります（自動予約）。
- 自動予約は設定で解除できます。
- 放送受信環境などの理由によりコンテンツが完全に受信できなかった際に、自動的にパケット通信にてデータを補完する場合があります（自動補完）。
- 自動補完は設定で解除できます。

リアルタイムの視聴・録画予約

- 1 NOTTVのホーム画面で「番組表」
- 2 予約したい番組をロングタッチ
- 3 「録画予約する」 / 「視聴予約する」 → 「1回のみ予約する」 / 「シリーズ予約する」
 - ・ 放送中の番組を手動で録画することも可能です。
 - ・ 「詳細を見る」をタップして番組の詳細画面を表示し、「視聴予約する」 / 「録画予約する」をタップしても操作できます。

お知らせ

- ・ 番組の放送時間に本端末の電源が入っていない、電池残量不足、モバキャスト放送エリア外など電波受信状況が良くない、microSDカード未挿入、microSDカード・システムメモリ（本体）の容量不足などの場合は、番組が視聴・録画できない場合があります。
- ・ microSDカードまたはシステムメモリ（本体）に録画された番組はご利用中の端末でのみ視聴できます。
- ・ 番組によっては録画ができない場合があります。

モバキャストの設定

1 ホーム画面で「NOTTV」→  をロングタッチ → 「設定」

2 設定したい項目をタップ

項目		説明
音声・字幕	音声切替	音声言語と主音声・副音声について設定します。
	字幕表示切替	字幕を表示するかどうかを設定します。
	バックグラウンド再生	アプリを閉じた後でも、バックグラウンドで再生を継続します。
シフトタイム	自動予約	おすすめのシフトタイムを自動で予約します。
	自動補完	放送で受信できなかったデータを通信で自動的に補完します。
番組表	番組表情報自動取得	番組表／コンテンツリストの情報を取得する時間帯を設定します。
ステータスバー	放送中番組の表示	放送中の番組情報をステータスバーに表示します。
	新着情報の通知	シフトタイム／録画の新着をステータスバーに表示します。
	お知らせ情報の通知	NOTTVからのお知らせをステータスバーに表示します。

項目		説明
ペアレンタルコントロール	視聴年齢制限	視聴年齢制限のある番組を視聴できないように設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 初めて起動したときは、パスワードの設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
	年齢設定	視聴制限の年齢を設定します。
	パスワード変更	視聴年齢制限のパスワードを変更します。
ソーシャル	Twitter連携解除	Twitterとの連携を解除するかどうかを設定します。
詳細設定		重複録画防止、Cookieやデータ放送表示などの設定を行います。 重複録画防止：シリーズ・キーワード予約を行う際に、同じ番組の録画を防止します。 ストレージ選択：シフトタイムや録画の保存場所を変更します。

テレビ（ワンセグ）

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

一般社団法人 デジタル放送推進協会：

<http://www.dpa.or.jp/>

ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。

データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。

「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。

「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。

サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要な場合があります。

放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、XiサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

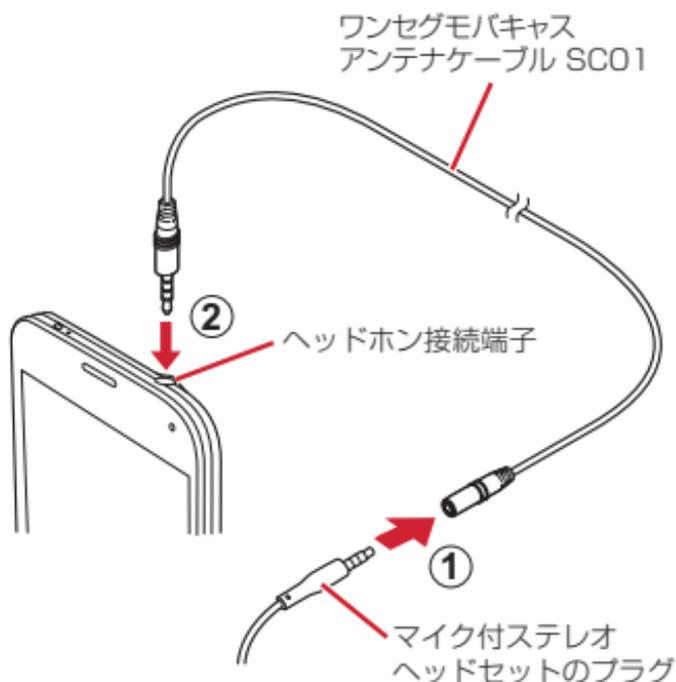
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所
- 付属のワンセグモバキャスアンテナケーブル SC01の向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなる場合があります。

ワンセグモバキャストアンテナケーブル SC01 について

テレビ（ワンセグ）やモバキャストを視聴するときは、付属のワンセグモバキャストアンテナケーブル SC01 を本端末に接続してください。

- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）をご利用になる場合は、必ずマイク付ステレオヘッドセットのプラグ（直径3.5mm）をワンセグモバキャストアンテナケーブル SC01 のヘッドホン接続端子に接続してから、ワンセグモバキャストアンテナケーブル SC01 を本端末に接続してください。



- 1 マイク付ステレオヘッドセットのプラグ（直径3.5mm）を、ワンセグモバキャストアンテナケーブル SC01 のヘッドホン接続端子に接続する（①）

2 ワンセグモバキャストアンテナケーブル SC01 を本端末に接続する (②)

お知らせ

- ワンセグモバキャストアンテナケーブル SC01にマイク付ステレオヘッドセットを接続しても音声の出力が切り替わらない場合は、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押してください。

ワンセグを視聴する

1 ホーム画面で「ワンセグ」

- 操作画面の「CH」タブ (P.271) が表示されます。
- 初めて起動したときやチャンネルエリアが登録されていない場合は、「OK」をタップし、チャンネルエリアの設定を行います (P.278)。

2 テレビ映像プレビューをタップする

- 視聴画面 (P.269) が表示されます。

お知らせ

- 電波状態によっては、映像や音声途切れたり、止まったりすることがあります。
- マナーモード (サイレント、バイブ) に設定していても、音量 (P.376) の設定によっては音声が再生されることがありますので、音量キーで音量を調節してください。

Bluetoothヘッドセットに転送する

- 1** 視聴画面で  → 「BTヘッドセットに転送」
 - Bluetooth機能がOFFの状態では、ONに設定するようメッセージが表示されます。「ON」をタップして、Bluetooth機能をONにします。
- 2** 接続するデバイスをタップ
 - デバイスが検出されない場合は「スキャン」→ 接続するデバイスをタップします。
- 3** 必要な場合は、ペアリングのためのパスコード（PIN）を入力 → 「OK」

お知らせ

- SCMS-T対応のBluetoothヘッドセットでのみ、動作します。

視聴画面について



視聴画面

- ① 電波状態／チャンネル／番組名
- ② テレビ映像
 - ・ 左右にフリックすると、チャンネルを切り替えます。
 - ・ タッチすると、メニューなどの表示／非表示を切り替えます。
 - ・ ロングタッチすると、番組の詳細情報を表示します。
- ③ 字幕
- ④ データ放送
- ⑤ テレビ操作パネル
 - ・ **</>** でチャンネルを切り替えます。
 - ・ チャンネルの数字をタップすると、操作画面の「CH」タブを表示します。
- ⑥ メニュー
- ⑦ 音量調節

⑧ データ放送操作パネル

- ・  /  で項目にカーソルを合わせ、「選択」をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
- ・ 「戻る」をタップすると、リンクの履歴を戻ります。

⑨ ポップアップTV画面

- ・ タップするとポップアップTV画面になります。他のアプリを操作しながらワンセグを視聴できます。

■ 視聴画面でのキー操作

- ・  で、画面をロック／解除します。画面ロック中は  が表示されます。
- ・ 音量キーで、音量を調節します。

■ ポップアップTV画面での操作

- ・ ポップアップTV画面をドラッグすると、お好みの場所に移動できます。
- ・ ポップアップTV画面上で2本の指の間隔を広げる／狭めると、画面サイズを変更できます。
- ・ ポップアップTV画面をダブルタップすると、視聴画面に戻ります。
- ・ ポップアップTV画面をタップ →  をタップすると、ワンセグを終了します。

操作画面について

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ

2 画面上部のタブをタップ

CHタブ



操作画面 (CHタブ)

- ① タブ**
 - ・ タップすると、各タブに切り替わります。
- ② テレビ映像プレビュー**
 - ・ タップすると、視聴画面を表示します。
- ③ チャンネル／番組名**
- ④ チャンネルリスト**
 - ・ チャンネルをタップすると、チャンネルを切り替えます。
 - ・ チャンネルをロングタッチ → 「削除」 → 「OK」 をタップすると、チャンネルリストから削除できます。
- ⑤ メニュー**
- ⑥ 番組表**
 - ・ タップすると、視聴中チャンネルの番組一覧を表示します。
- ⑦ 全画面表示**
 - ・ タップすると、視聴画面を表示します。

■ CHタブでのキー操作

- ・ 音量キーで、音量を調節します。

予約タブ



操作画面（予約タブ）

① タブ

- ・ タップすると、各タブに切り替わります。

② 予約一覧

 : 録画予約（成功した予約を含む）

 : 視聴予約（成功した予約を含む）

 : 失敗した録画予約

 : 失敗した視聴予約

- ・ 未実行の予約をタップすると、予約内容を変更できます。
- ・ 未実行の予約をロングタッチ → 「削除」 → 「OK」をタップすると、予約を削除できます。
- ・ 実行済みの予約をタップすると、結果の確認と一覧からの削除ができます。

③ メニュー

TVファイルタブ



操作画面 (TVファイルタブ)



TVファイル再生画面

- ① **タブ**
 - ・ タップすると、各タブに切り替わります。
- ② **TVファイルリスト**
 - ・ TVファイルをタップすると、再生します。
 - ・ キャプチャした画像をタップすると、画像を表示します。
 - ・ TVファイル／キャプチャした画像をロングタッチ → 「削除」 → 「OK」をタップすると、TVファイル／キャプチャした画像を削除できます。
- ③ **メニュー**
- ④ **チャンネル／番組名**
- ⑤ **映像**
 - ・ 左右にフリックすると、TVファイルを切り替えます。
- ⑥ **再生時間、スライダー**
 - ・ 映像画面をタップすると表示されます。
 - ・  をドラッグしてTVファイルの再生位置を任意の時間まで操作できます。
- ⑦ **字幕**
- ⑧ **データ放送**
- ⑨ **再生操作パネル**
 - ・  /  でTVファイルを切り替えます。
 - ・  /  でTVファイルの再生／一時停止を操作します。
 - ・  /  でキャプチャした画像を切り替えます。
- ⑩ **音量調節**
- ⑪ **データ放送操作パネル**
 - ・  /  で項目にカーソルを合わせ、「選択」をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
 - ・ 「戻る」をタップすると、リンクの履歴を戻ります。
- ⑫ **ポップアップTV 画面**
 - ・ タップするとポップアップTV画面になります。他のアプリを操作しながらワンセグを視聴できます。

■ TVファイル再生画面でのキー操作

- []で、画面をロック／解除します。画面ロック中は []が表示されます。
- 音量キーで、音量を調節します。

■ ポップアップTV画面での操作

ポップアップTV画面の操作については、P.270をご覧ください。

TVリンクタブ



操作画面(TVリンクタブ)

- ① タブ
 - タップすると、各タブに切り替わります。
- ② TVリンク
 - 登録したサイトに接続します (P.280)。
- ③ メニュー

ワンセグを録画する

1 視聴画面で → 「録画」

- 録画中はテレビ映像の左端に  **REC** が表示されます。
- 録画を停止するには、「停止」をタップします。

お知らせ

- 電波状態によっては、映像や音声途切れたり、止まったりすることがあります。
- 録画中はチャンネル切替はできません。
- 録画中に他のアプリを起動すると、正常に録画できない場合があります。

録画した番組を再生する

1 視聴画面で → 「TVファイル」

2 再生する番組をタップ

視聴中の画像をキャプチャする

1 視聴画面で → 「キャプチャ」

- キャプチャした画像は操作画面の「TVファイル」タブで確認することができます。

ワンセグの録画や視聴を予約する

番組表から予約する

- 1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
 - ・ 操作画面の「CH」タブが表示されます。
- 2 「番組表」→ 予約する番組をタップ
 - ・ 画面上部のチャンネル名をタップすると、チャンネルを変更できます。
 - ・ 番組をタップすると、番組の詳細情報を確認できます。
- 3 「予約」→ 「録画予約」 / 「視聴予約」

手動で予約する

- 1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
 - ・ 操作画面の「CH」タブが表示されます。
- 2 「予約」タブ
- 3  → 「マニュアル予約」
- 4 新規番組予約画面で各項目を入力
- 5  をタップ

予約を削除する

- 1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
 - ・ 操作画面の「CH」タブが表示されます。
- 2 「予約」タブ
- 3 削除する予約をロングタッチ
- 4 「削除」→「OK」

チャンネルを設定する

エリア情報を設定する

- 1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
 - ・ 操作画面の「CH」タブが表示されます。
- 2  → 「エリア情報設定」 → 登録する地域を選択
- 3 地域を選択 → 都道府県を選択 → ローカルエリアを選択
 - ・ チャンネルが検索され、選択した地域にチャンネルリストが登録されます。
- 4 「OK」

エリア情報を切り替える

- 1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
 - ・ 操作画面の「CH」タブが表示されます。
- 2  → 「エリア切替」 → 切り替える地域を選択
 - ・ 切替先の地域にチャンネルリストが登録されていない場合は、エリア情報の設定を行います (P.278)。

エリア情報を削除する

- 1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
 - ・ 操作画面の「CH」タブが表示されます。
- 2  → 「エリア情報設定」 → 削除する地域をロングタッチ
- 3 「設定リセット」

TVリンクを利用する

TVリンクを登録する

- 1 データ放送を操作して、TVリンク登録可能な項目を選択
 - TVリンクの登録方法は、番組によって異なります。

お知らせ

- リンク先によっては、TVリンクを登録できないことがあります。

TVリンクを表示する

- 1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
 - 操作画面の「CH」タブが表示されます。
- 2 「TVリンク」タブ
- 3 TVリンクを選択 → 「OK」
 - 登録したサイトに接続します。

TVリンクを削除する

- 1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
 - 操作画面の「CH」タブが表示されます。
- 2 「TVリンク」タブ
- 3 削除するTVリンクをロングタッチ
- 4 「削除」 → 「OK」

ワンセグを設定する

1 視聴画面で **■** → 「設定」

2 項目を設定

項目		説明
字幕		字幕を表示するかどうかを設定します。
フレーム補間		フレーム補間を行うかどうかを設定します。
SoundAlive		オーディオ効果を4種類から選択します。
音声言語		複数の音声を放送している番組で聞く音声を設定します。
保存先設定		録画やキャプチャしたデータの保存先を設定します。
TVオフタイマー		自動的にワンセグを終了するまでの時間を設定します。
データ放送	録画設定	映像とテキストの両方を録画するか、映像のみを録画するかを設定します。
	画像保存先設定	画像の保存先を設定します。

項目		説明
データ放送	通信接続確認	通信接続確認を行うかどうかを設定します。
	位置情報確認	位置情報確認を行うかどうかを設定します。
	製造番号通知	製造番号の通知を行うかどうかを設定します。
	放送局データ削除	放送局のデータを削除します。

カメラ

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音禁止されている場合がありますのでご注意ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

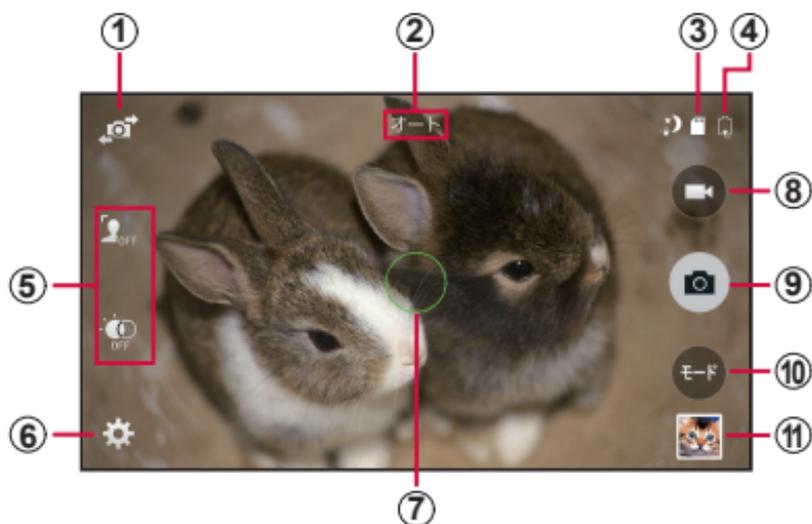
カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が出る場合がありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとする、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影するときは、本端末が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時に本端末が動くと、撮影画像がぶれる原因になります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 静止画の連続撮影や動画の長時間撮影など、カメラを長時間起動していると本端末が温かくなり、カメラが自動的に終了することがありますが、故障ではありません。しばらく時間をおいてからご使用ください。
- 撮影した直後などは、microSDカードや電池パックを強制的に取り外さないでください。正常に保存されなかったり、撮影したデータが破損する可能性があります。microSDカードを取り外す場合はあらかじめ「外部SDカードのマウント解除」(P.411)を行って、リアカバーを取り外してから行ってください。
- マナーモード（サイレント、バイブ）設定中でも静止画撮影のシャッター音やフォーカス音、動画撮影の開始音や終了音は鳴りますのでご注意ください。

1 ホーム画面で「カメラ」

- 初めて起動したときは、microSDカードが取り付けられていると保存場所の確認画面が表示されます。内容を確認し、「キャンセル」/「OK」をタップしてください。



静止画／動画撮影画面

- ① 外側カメラと内側カメラの切替
- ② 現在の撮影モード
 - 設定中のモードが表示されます。
- ③ 保存先（microSDカード）、撮影可能枚数
 - 保存先をmicroSDカードに設定しているときに表示されます。
 - 撮影可能枚数は、撮影可能枚数が300枚以下の場合に表示されます。
 - 撮影可能枚数は目安です。撮影をしても表示が変わらない場合があります。
 - 設定の状況によっては、保存先アイコンの左側に設定をお知らせする各種アイコンが表示されます。

- ④ **バッテリー残量**
 - ・ バッテリー残量が29%未満のときには  が、充電中のときには  が表示されます。
- ⑤ **設定項目のショートカットエリア**
- ⑥ **設定**
 - ・ タップすると、設定メニューが表示されます。
→ P.288
- ⑦ **フォーカス**
- ⑧ **シャッター（動画撮影）**
- ⑨ **シャッター（静止画撮影）**
- ⑩ **撮影モードメニュー → P.292**
- ⑪ **サムネイル**
 - ・ タップすると、ギャラリーが起動します。

お知らせ

- ・ カメラを起動した状態で約2分間何も操作をしないと、カメラは終了します。
- ・ 撮影モードメニューの「美肌モード」「ベストフォト」「ベストフェイス」は顔検出機能に対応しています。

静止画を撮影する

- 1** ホーム画面で「カメラ」
 - ・ 静止画／動画撮影画面が表示されます。
- 2** 被写体にカメラを向ける
 - ・ ディスプレイ上で2本の指の間隔を広げる／狭めるとズーム調節できます。
- 3**  をタップ
 - ・ シャッター音が鳴り、撮影されます。
 - ・ 撮影した静止画は自動的に保存されます。

- 撮影時に  をロングタッチすると、オートフォーカス枠にある被写体にピントが固定され、指を離すと撮影されます。ただし、「連写」(P.288)を「ON」に設定している場合、本機能は使用できません。

お知らせ

- 撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。
- 音量キーを押しても撮影できます。

動画を撮影する

1 ホーム画面で「カメラ」

- 静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 被写体にカメラを向ける →

- 開始音が鳴り、動画撮影が始まります。
- ディスプレイ上で2本の指の間隔を広げる／狭めるとズーム調節できます。
-  をタップするか、音量キーを押すと、動画撮影中に静止画も撮影できます。
- 撮影を一時停止するには  をタップします。一時停止中に  をタップすると、撮影を再開できます。

3 撮影を停止するときは、

- 終了音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

お知らせ

- 動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。

カメラの設定をする

1 ホーム画面で「カメラ」

2 撮影画面で → 必要な項目を設定

- 撮影モードにより設定できない項目があります。
- 撮影画面の設定項目のショートカットエリアにドラッグして、3つまでのショートカットを表示できます。
- 項目によっては同時に設定できない場合があります。

項目	説明
画像サイズ	静止画の撮影サイズを設定します。
連写	静止画を連続して撮影します。 <ul style="list-style-type: none">• 連写を「ON」にして設定してシャッターをロングタッチすると、最大で30枚の写真を撮影します。撮影した画像はすべて保存されます。
写真手振れ補正	暗い場所でもフラッシュを使用せずに、明るく鮮明な写真が撮影できるように自動的にカメラを調整します。

項目	説明
顔検出	<p>事前に「ギャラリー」アプリでタグ付けしておくこと、撮影した静止画を「ギャラリー」アプリで表示中に、検出された顔をタップして電話をかけたり、メッセージを作成・送信したりできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 被写体の顔の角度、大きさ、表情、光の当たりかた、アクセサリなどによっては、顔検出が正しく動作しない場合があります。
ISO	静止画撮影のISO感度を設定します。
測光モード	静止画撮影の測光方法を設定します。
タップして撮影	画面をタップすることで、静止画を撮影します。
選択フォーカス	人物などの被写体をタップすると、被写体の周囲(背景)をぼかしてくっきりと撮影できます。
動画のサイズ	動画の撮影サイズを設定します。
録画モード	→P.299
動画手振れ補正	動画撮影時の手振れ補正機能のON / OFFを設定します。
音声ズーム	動画撮影時に、ズームした箇所に合わせて音声を録音するかどうかを設定します。

項目	説明
エフェクト	撮影効果を設定します。 ・ 設定できる撮影効果項目は、ダウンロードして追加することもできます。
フラッシュ	フラッシュをOFF / ON / オートに切り替えます。
タイマー	セルフタイマーを設定します。
HDR (リッチトーン)	逆光などの場合にコントラストを調整して撮影します。
位置情報タグ	位置情報を付加するかどうかを設定します。 ・ GPSの電波を正しく受信するため、受信しにくい場所での使用は避けてください。 → P.324 ・ 撮影した静止画をインターネットにアップロードすると、意図しない第三者からも付加された位置情報を確認される場合があります。位置情報が漏れるのを防ぐには、「OFF」に設定してください。
保存先	撮影した静止画／動画の保存先を選択します。
写真／動画を確認	撮影後にプレビュー表示を行うかどうかを設定します。

項目	説明
リモートビューファインダー	<p>Wi-Fi Direct機能で接続した他のリモートビューファインダー対応機器で本端末の画面を共有し、他の機器の画面から  /  をタップすることで、本端末のシャッターを遠隔操作することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 接続した他の機器の画面から  /  をタップすると、静止画／動画の撮影が実行されます。 • 「NFCで簡単に接続」 / 「Wi-Fi Direct設定」をタップして共有相手を設定してください。
ホワイトバランス	撮影時の光の状況を選択して、画像の色合いを補正します。
露出値	露出補正を設定します。
ガイドライン	撮影位置を決めるためのグリッドを表示します。
音声コントロール	音声でシャッターを切れるようにするかどうかを設定します。
ヘルプ	ヘルプを表示します。
リセット	カメラの設定をリセットします。

3 設定が終了したら、ディスプレイの空き部分や をタップ

撮影モードを切り替える

1 ホーム画面で「カメラ」

2 撮影画面で → 撮影モードを選択

- ・「ショット&エフェクト」を選択して撮影した場合、利用できるエフェクトだけが自動的に選択可能になります。利用できるモードをタップして編集・保存します。

項目	説明
オート	色合いや明るさを最適化するように露光を自動調整します。
美肌モード	人物を撮影する場合、肌がより美しく見えるように補正します。

項目		説明
ショット&エフェクト	ベストフォト	<p>1回のシャッターで8枚の静止画を撮影します。撮影した静止画の中からもっとも鮮明な画像が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 画面を左右にフリックして保存したい画像を表示 →  →  をタップして設定した保存先に保存します。
	ベストフェイス	<p>1回のシャッターで5枚の静止画を撮影します。検出した被写体ごとにベストフェイスを選択し、合成した画像を保存できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 検出した被写体をタップ → サムネイルからベストフェイスの画像をタップして  を表示 → すべての被写体でこの操作を繰り返す →  をタップします。

項目		説明
ショット&エフェクト	ドラマショット	<p>動いている被写体を多重露出で撮影して、1枚の静止画に合成して保存できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •  をタップすると、静止画が保存されます。 • サムネイルでは、合成したい被写体をタップして選択できます。 • 編集画面で  をタップすると、被写体を編集できます。 • カメラを1箇所に固定し、一方方向に動いている1つの被写体を対象にして、背景が動いていない所で撮影してください。 • 背景の色彩と似ている被写体は、撮影しにくい場合があります。 • 小さい/大きい被写体、および長い被写体（バス、自動車など）は撮影しにくい場合があります。

項目		説明
ショット&エフェクト	消しゴム	<p>撮影した静止画の中から不要な被写体を削除し、ベストな静止画を保存できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •  をタップすると、静止画が保存されます。 • 編集画面で  をタップすると、移動した被写体が削除され、 をタップすると復元できます。 • 撮影時は本端末が動かないように固定して撮影してください。 • 背景の色彩と似ている被写体は、被写体の動きが一部分のみ検出されたり、被写体を削除するときにエラーが発生する場合があります。 • 被写体の動きが小さすぎる／大きすぎる場合は、正しく削除できない場合があります。 • 動いている被写体が多い場合は、一部の被写体だけ検出される場合があります。

項目		説明
ショット&エフェクト	パンニング撮影	<p>被写体がすばやく動いて見えるように、背景をぼかします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 📷 をタップすると、静止画が保存されます。 編集画面で「オブジェクト」をタップすると、被写体を編集できます。 編集画面で「モーションブラー」をタップすると、背景のぼかしを調整できます。ダイヤルをドラッグしてぼかしの角度を変え、画面を左右にスワイプしてぼかしのレベルを調整します。
パノラマ		<p>水平または垂直方向に本端末を動かしてパノラマ写真を撮影します。</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラを一方向にゆっくりと動かし、白枠のガイドから青枠がずれないように、本端末を一方向にゆっくりと動かしてください。 被写体の背景が無地の壁や虚空などの場合は、正しく撮影できないことがあります。

項目	説明
バーチャルツアー	<p>撮影空間を移動しながら異なる角度で撮影し、スライドショーであたかも3D空間を移動しているかのように表示できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 撮影画面の中心に表示される円の中心に ● が入るようにカメラの向きを調整すると、カメラはスペースを識別して撮影を開始します。ゆっくり前後に移動しながら、カメラを左右に向けて撮影画面の円の中心に ● を配置させることで続けて撮影します。 •  をタップするとプレビューを確認できます。各サムネイルには撮影した向きが表示されています。 • 最後に撮影した画像を削除したいときは「元に戻す」をタップしてください。 • 撮影したデータはスライドショーで再生されます。再生画面右上の小ウィンドウには、カメラの軌跡と向きが表示されます。

項目	説明
デュアルカメラ	<p>外側カメラと内側カメラを使って、例えば風景（静止画／動画）の中に自分の顔写真を貼り付けた撮影などができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「動画のサイズ」が「1920×1080（16：9）」の場合は最大5分、それ以外の場合は最大10分間の動画を撮影できます。
ダウンロード	<p>Samsung Appsから撮影モードをダウンロードして追加することができます。</p>

録画モードを切り替える

- 1 ホーム画面で「カメラ」
- 2 撮影画面で  → 「録画モード」
- 3 利用したい項目をタップ

項目	説明
標準	標準の撮影を行います。
スローモーション	スローモーション再生用として、120fpsで録画します。
ファストモーション	ファストモーション再生用として録画します。
スムーズモーション	より鮮明にスムーズに再生するために、60fpsで録画します。

ギャラリー

本端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。対応しているファイル形式は以下のとおりです。ただし、静止画や動画によっては以下のファイル形式であっても表示／再生できない場合があります。

種類	ファイル形式*
静止画	JPEG、PNG、GIF、BMP、WBMP、AGIF
動画	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、ISMV、WEBM、TS

※ DivXには対応していません。
DivX形式のファイルを再生するには、対応している他のアプリをインストールしてください。

1 ホーム画面で → 「ギャラリー」

- 撮影日別に並んだデータ一覧画面またはアルバム一覧画面が表示されます。アルバム一覧画面が表示された場合はアルバムをタップしてデータ一覧画面を表示します。
-  をタップするとカメラが起動します。

2 データをタップ

- アイコンが表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。表示されるアイコンは、表示中のデータによって異なります。

項目	説明
	メディアファイル共有機能対応機器と接続して静止画を表示します。→ P.446
	データをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリで使います。
	静止画データの編集（回転、トリミング、色、効果など）を行います。
	動画データの編集（トリミング）を行います。
	オンラインストレージのデータを本端末にダウンロードします。
	データを削除します。
	選択したデータ種別ごとの機能メニューを表示します。

※ オンラインストレージのデータを同期する設定が有効な場合のみ表示されます。

静止画を表示する

- 1 データの一覧画面で表示する静止画をタップ
 - ・ 静止画が表示されます。
 - ・ 静止画を切り替えるには画面を左右にスクロールします。

動画を再生する

- 1 データの一覧画面で再生する動画をタップ
- 2  → アプリを選択 → 「毎回」 / 「今回のみ」
 - ・ 再生が開始されます。
 - ・ 「メディアプレイヤー」を選択した場合、画面に表示されるアイコンや操作説明については、「メディアプレイヤーを利用する」(P.308)をご参照ください。
 - ・ 「動画」を選択した場合、画面に表示されるアイコンや操作説明については、「動画を再生する」(P.310)をご参照ください。

ギャラリーのメニュー

アルバムの一覧画面／データの一覧画面で  をタップすると以下の項目が表示されます。

□ アルバムの一覧画面

項目	説明
選択	アルバムをタップして複数選択し、まとめて操作します。 <ul style="list-style-type: none">• 「XX件選択」→「全て選択」をタップすると、すべてのアルバムを選択できます。•  をタップすると、アルバムをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリで使用します。•  をタップすると、アルバムを削除します。•  をタップすると、スライドショーの開始や設定ができます。
削除	選択したデータを削除します。
アルバムを作成	新規の名前を付けてアルバムを作成します。
表示するコンテンツ	ギャラリーに表示するコンテンツの保存先を選択します。
スライドショー	スライドショーを開始したり、スライドショーの設定を行います。
スタジオ	→P.307

項目		説明
設定	Wi-Fi接続時のみ同期	Wi-Fiネットワークの接続時のみコンテンツを同期させるようにするかどうかを設定します。
	フィルター	静止画・動画にカテゴリのタグ付けをします。
	タグバディ	場所、日付などタグ付けされた情報を画像に重ねて表示するかどうかを設定します。
	フェイスタグ	電話帳に登録した人物情報（フェイスタグ）を表示するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> フェイスタグは静止画のみに対応しています。
ヘルプ		ギャラリーのヘルプを表示します。

お知らせ

- 本端末にオンラインアカウントやクラウドのアカウントを設定している場合は、「設定」をタップするとアカウント名などが表示され、同期の設定などを行うことができます。

□ データの一覧画面

項目	説明
選択	<p>データをタップして複数選択し、まとめて操作します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 「XX件選択」→「全て選択」をタップすると、すべてのデータを選択できます。•  をタップすると、データをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリで使用します。•  をタップすると、データを削除します。• データを選択して  をタップすると、アルバムにコピー、イベントに追加、スタジオ、回転、スライドショー、印刷などの機能が利用できます。
削除	選択したデータを削除します。
古い順に並べ替え [*] ／新しい順に並べ替え [*]	一覧表示の順番を変更します。
表示するコンテンツ [*]	表示するコンテンツを選択します。
スライドショー	スライドショーを開始したり、スライドショーの設定を行います。
スタジオ	→ P.307
設定	→ P.304

項目	説明
ヘルプ*	ギャラリーのヘルプを表示します。

※ 撮影日別に並んだ一覧画面の場合のみ表示されます。

□ データの表示画面

項目	説明
その他の情報	データの詳細情報を表示します。
クリップボードにコピー*	静止画をクリップボードにコピーします。
左に回転*	静止画を反時計回りに90度回転します。
右に回転*	静止画を時計回りに90度回転します。
トリミング*	静止画のトリミングを行います。
名前を変更	ファイル名を変更できます。
スライドショー	スライドショーを開始したり、スライドショーの設定を行います。
登録*	静止画を電話帳や壁紙などに登録できます。
印刷*	対応のプリンターを利用して、静止画を印刷します。→P.445
設定	→ P.304

※ 静止画の表示時のみ表示されます。

□ スタジオ

項目	説明
フォトスタジオ	静止画データの編集（回転、トリミング、色、効果など）を行います。
コラージュスタジオ	静止画を選択してコラージュを作成します。
ショット&エフェクト	「ショット&エフェクト」モードで撮影した静止画を編集します。 →P.293
ビデオクリップスタジオ	静止画や動画を選択してビデオアルバムを作成します。
動画トリミング	動画データの編集（トリミング）を行います。

プレイヤー

メディアプレイヤーを利用する

本端末やmicroSDカードに保存してある音楽や動画を再生できます。

再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、音楽や動画によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

種類	ファイル形式*
音楽	MP3、M4A、3GA、AAC、OGG、OGA、WAV、WMA、AMR、AWB、FLAC、ISMA、MID、MIDI、XMF、MXMF、IMY、RTTTL、RTX、OTA
動画	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、ISMV、WEBM、TS

※ DivXとAC3には対応していません。

DivX形式とAC3形式のファイルを再生するには、対応している他のアプリをインストールしてください。

1 ホーム画面で → 「メディアプレイヤー」

- 初めて起動したときは使用許諾規約などが表示されるので内容をよく読み、チェックを付けて「利用開始」をタップします。続いて、メディアプレイヤーの紹介画面が表示されます。「使い方の説明を読む」をタップして、使いかたを確認してください。説明を確認しない場合は、「説明を読まず利用する」をタップします。

2 画面下部のカテゴリを選択

- タップしたカテゴリに応じた結果が表示されます。
- 「dマーケット」→「dミュージックで探す」／「dビデオで探す」／「dアニメストアで探す」をタップすると、音楽や動画などのコンテンツを購入することができます。

3 再生したい音楽または動画をタップ

- 音楽や動画の再生が開始されます。

項目	説明
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
 ※1 /  ※2	データの一覧画面を表示します。
 ※1 /  ※1	本端末の向きに合わせて縦横表示を自動的に切り替えるかどうかを設定します（自動的に切り替えない／自動的に切り替える）。
 / 	再生／一時停止します。
 / 	タップすると巻き戻し／早送りします。
 / 	タップするとデータの先頭または前のデータ／次のデータにスキップします。
 ※2 /  ※2 /  ※2	リピートモードを設定します（リピートなし／全曲リピート／1曲リピート）。

項目	説明
 ※2 /  ※2	シャッフル機能を設定します (シャッフルしない/シャッフルする)。
	音量の大きさを表示します。左右にドラッグすると音量を調節できます。

※1 動画再生画面でのみ表示されます。

※2 音楽再生画面でのみ表示されます。

お知らせ

- 本端末と外部機器をHDMI接続する場合は、メディアプレイヤーのオーディオエフェクト設定内容が適用されません。

動画を再生する

本端末や microSD カードに保存してある動画を再生できます。

再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、動画によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式*
MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、ISMV、WEBM、TS

※ DivX には対応していません。

DivX 形式のファイルを再生するには、対応している他のアプリをインストールしてください。

1 ホーム画面で → 「ビデオ」

- 「パーソナル」タブの動画一覧画面が表示されます。「パーソナル」タブには、本端末／microSDカードに保存されている動画が表示されます。
- 「デバイス」タブをタップすると、他のデバイスのコンテンツにアクセスできるようになります。
- Wi-Fiネットワークに接続中で、メディアファイル共有機能対応機器を検出した場合は、「近くのデバイス」欄に検出されたデバイス一覧画面が表示され、デバイスをタップすると動画一覧画面が表示されます。

2 動画をタップ

- 動画再生画面が表示され、再生が開始されます。
- 画面をタップするとアイコンが表示されます。

項目	説明
	メディアファイル共有機能対応機器と接続して動画を再生します。→ P.446
	前のフレーム／次のフレームに移動します。 <ul style="list-style-type: none">• 再生画面で  → 「設定」をタップし、「キャプチャ」にチェックを付けて、動画を一時停止した場合に表示されます。
	動画から静止画をキャプチャします。キャプチャした画像は、ホーム画面で  → 「ギャラリー」アプリで確認できます。 <ul style="list-style-type: none">• 再生画面で  → 「設定」をタップし、「キャプチャ」にチェックを付けた場合に表示されます。

項目	説明
	音量を調節します。
	縦横表示を切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> 「画面回転」(P.85) がOFFに設定されている場合に表示されます。
	動画の再生スピードを調節します。 <ul style="list-style-type: none"> 再生画面で  → 「設定」をタップし、「再生スピード」にチェックを付けた場合に表示されます。
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
	動画の表示サイズを切り替えます。
	再生画面を小さくします。他のアプリを操作しながら動画を再生できます。 <ul style="list-style-type: none"> 小さい再生画面をドラッグすると、お好みの場所に移動できます。 小さい再生画面上で2本の指の間隔を広げる／狭めると、画面サイズを変更できます。 小さい再生画面をタップすると、動画を再生／一時停止できます。 小さい再生画面をダブルタップすると、再生画面に戻ります。 小さい再生画面をタップ →  をタップすると、再生を終了します。
	再生／一時停止します。

項目	説明
	タップするとデータの先頭または前のデータ/次のデータにスキップします。ロングタッチすると巻き戻し/早送りします。
	画面をタップしても本端末が動作しないロック状態であることを示します。 <ul style="list-style-type: none"> 再生画面で  を押すとロック状態のON/OFFを切り替えることができます。

お知らせ

- 動画再生中は  をタップすると「前画面に戻るには、戻るキーをもう一度押してください。」と表示されます。メッセージが表示された状態で  をタップすると動画一覧画面に戻ります。

ビデオのメニュー

動画一覧画面／再生画面で **☰** をタップすると以下の項目が表示されます。

□ 動画一覧画面

項目	説明
選択	チェックを付けてデータを選択します。 ☰ をタップすると、「共有」／「編集」などができます。
削除	動画を削除します。
表示形式	一覧表示の表示方法を変更します。
並べ替え	一覧表示の順番を変更します。
次の動画を自動再生	すべての動画を自動的に再生するかどうかを設定します。

□ 再生画面

項目	説明
編集	動画トリミングまたはビデオエディターを利用して動画を編集します。 • ビデオエディターのダウンロード確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
共有	動画をオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
削除	再生中のデータを削除します。

項目	説明
チャプタープレビュー	チャプターをサムネイル表示します。
Bluetooth 経由で聴く	Bluetooth デバイスへ音声を出力します。
字幕 (CC)	字幕の選択や設定を行います。
設定	再生スピードや SoundAlive などの設定を行います。
詳細	データの詳細を表示します。

音楽を再生する

本端末やmicroSDカードに保存してある音楽を再生できます。

再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、楽曲によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式*

MP3、M4A、3GA、AAC、OGG、OGA、WAV、WMA、AMR、AWB、FLAC、ISMA、MID、MIDI、XMF、MXMF、IMY、RTTTL、RTX、OTA

※ AC3には対応していません。

AC3形式のファイルを再生するには、対応している他のアプリをインストールしてください。

1 ホーム画面で → 「ミュージック」

- 初めて起動したときは「プレイリスト」タブのデータ一覧画面が表示されます。

2 画面上部のタブをタップ → 再生したいデータをタップ

- 「曲」タブ以外の各タブでアルバムやアーティストなどを選択するとデータ一覧画面が表示され、データをタップすると再生が開始されます。
- Wi-Fiネットワークに接続中で、メディアファイル共有機能対応機器を検出した場合は、「デバイス」タブに検出されたデバイス一覧が表示され、デバイスをタップするとデータ一覧画面が表示されます。
- 音楽の再生中にデータ一覧画面の左下に表示されるジャケット写真をタップすると、再生画面が表示され、以下の操作ができます。

種類	説明
	メディアファイル共有機能対応機器と接続して音楽を再生します。 → P.446
	音量を調節します。 ・  をタップすると、SoundAliveを設定できます。
	シャッフル機能を設定します(シャッフルする/シャッフルしない)。
	プレイリストの「お気に入り」に追加します。
	リピートモードを設定します(全曲リピート/1曲リピート/リピートなし)。
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
	データ一覧を表示します。
	再生/一時停止します。
	タップするとデータの先頭または前のデータ/次のデータにスキップします。ロングタッチすると巻き戻し/早送りします。
	プレイリストに追加します。

お知らせ

- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続している場合（P.168）、スイッチを押すと「ミュージック」が起動して音楽が再生されます。「ミュージック」が起動しているときは、スイッチを押すたびに再生／一時停止の切り替えができます。また、音量キーで音量を調節できます。
- 音楽の再生中に画面ロックを設定しても再生は継続されます。操作する場合は、を押してロック画面を表示し、「ミュージック」ウィジェットを利用してください。バックグラウンドで音楽を再生している場合は、通知パネルを開くと、音楽の再生／一時停止／前後スキップを操作できます。

プレイリストを作成する

- 1 ホーム画面で  → 「ミュージック」 → 「プレイリスト」 タブ
- 2 「プレイリストを作成」
- 3 プレイリスト名を入力 → 「OK」
- 4 
 - 楽曲の一覧が表示されます。
- 5 追加したい楽曲にチェックを付ける → 「完了」
 - 作成したプレイリストに楽曲が追加されます。

プレイリストを編集する

- 1 ホーム画面で  → 「ミュージック」 → 「プレイリスト」 タブ
- 2 編集したいプレイリストをタップ
 - ・ プレイリストの内容が表示されます。
- 3 編集操作を行う
 - ・  をタップ → 追加したい曲をタップ → 「完了」をタップすると、プレイリストに楽曲を追加できます。
 - ・  → 「タイトルを編集」をタップすると、プレイリスト名を変更できます。
 - ・ 楽曲をロングタッチ →  をタップすると、プレイリストから楽曲を削除できます。

ミュージックのメニュー

データ一覧画面／再生画面で  をタップすると以下の項目が表示されます。

□ データ一覧画面

項目	説明
選択	複数のデータを選択して、プレイリストに追加したり削除したりできます。
プレイリストを作成	プレイリストを新規作成します。
Bluetooth 経由で聴く	Bluetooth デバイスと接続して再生します。
削除	楽曲を削除します。

項目	説明
グリッド表示／リスト表示	楽曲の表示形式を切り替えます。
設定	<p>SoundAlive や再生スピードなどの設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「スマートボリューム」をONにした場合、調節された音量より大きく聴こえる場合があります。難聴の原因となるため、大音量で長時間音楽を聴かないようにご注意ください。

※ 利用できる機能は、選択したタブの画面によって異なります。

□ 再生画面

項目	説明
Bluetooth 経由で聴く	Bluetooth デバイスと接続して再生します。
着信音に設定	楽曲を「着信音」「個別着信音」「アラーム音」に設定します。
設定	SoundAlive や再生スピードなどの設定を行います。 <ul style="list-style-type: none">• 「スマートボリューム」をONにした場合、調節された音量より大きく聴こえる場合があります。難聴の原因となるため、大音量で長時間音楽を聴かないようにご注意ください。
詳細	楽曲の詳細情報を表示します。

※ 表示される項目は、再生するファイル形式によって異なります。

位置情報を有効にする

位置情報を利用するアプリを使用するには、あらかじめGPS機能をONにしておく必要があります。また、Wi-Fi / モバイルネットワークやモーションセンサーを利用して、より正確に位置情報を検出できるように設定できます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「位置情報」
- 2  をタップ → 「同意する」 → 「同意する」
- 3 「モード」 → 検出する方法を選択

項目	説明
高精度	GPS、Wi-Fi、モバイルネットワークで現在地を特定します。より正確に現在地を検出できますが、本端末の電池消費量が大きくなります。
省電力	Wi-Fiとモバイルネットワークで現在地を特定します。
GPSのみ	GPSで現在地を特定します。

お知らせ

- 「位置情報履歴」の  をタップすると、検出した位置情報の履歴を保存できます。
- 「マイプレイス」をタップすると、位置情報が必要なサービスを利用するためにお気に入りの場所 (Home、Work、Car) を保存できます。

GPSのご利用にあたって

- システムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状態が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

Google マップを利用する

Google マップを利用して、現在地や別の場所を検索したり、目的地への道案内情報を取得したりできます。

- Google マップを利用するには、データ接続可能な状態（LTE / 3G / GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Google マップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

Google マップを開く

- 1 ホーム画面で「Google」→「マップ」
 - ・ 初めて起動したときは「Google マップへようこそ」画面が表示されるので、内容を確認し、「同意して続行」をタップします。
 - ・ 現在地の測位で「位置情報サービスが無効です」と表示された場合は、「設定」をタップして、位置情報サービスを設定してください。

2 検索ボックスに地名などを入力

Google マップで経路を検索する

車や電車、徒歩でのルート検索を行う場合は、Google マップの「経路」機能を利用します。

- 1 ホーム画面で「Google」→「マップ」
- 2 Y → 移動方法 ( /  / ) のアイコンをタップ
- 3 「目的地を入力…」欄に地名などを入力
 - ・ 出発地を変更する場合は、「現在地」欄をタップして地名などを入力します。
- 4 経路をタップ

周辺のスポットを検索する

Googleマップを利用して、現在地周辺のレストランや観光スポットなどを検索できます。

- 1 ホーム画面で「Google」→「マップ」
- 2 検索ボックスをタップ→「周辺のスポット」などの項目をタップ
- 3 検索結果から目的の情報をタップ
 - ・ 検索ボックスにカテゴリを入力しても、周辺のスポットを検索できます。

時計

アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。

- 1 ホーム画面で  → 「時計」
- 2 画面上部のタブをタップ
 - ・ 各機能の画面に切り替わります。

アラームを利用する

- 1 「アラーム」画面で 
- 2 時刻、繰り返し設定、アラームの種類、アラーム音、音量、スヌーズ、事前お知らせ、名前を設定 → 「保存」
- 3 アラームを止めるには、 を表示される円の外側までドラッグ
 - ・ スヌーズを設定した場合は、 を表示される円の外側までドラッグすると設定した時間の経過後に再度アラームが鳴動します。

お知らせ

- スヌーズとは、いったんアラームを止めてもしばらくするとアラームが鳴るようにする機能です。
- 登録したアラームを削除するには、「アラーム」画面で  → 「削除」 → 削除するアラームにチェックを付ける → 「完了」をタップします。アラームをロングタッチ →  をタップしても削除できます。
- 登録したアラームをOFFにするには、 (緑色) /  (黄色) をタップして  (灰色) にします。
- 本端末をマナーモード (サイレント、バイブ) に設定している場合のアラーム音やバイブレーションを設定するには、「アラーム」画面で  → 「設定」 → 項目を設定します。

世界時計を利用する

登録した都市／国の日付と時刻を一覧で確認できます。

1 「世界時計」画面で

2 登録する都市／国をタップ

都市名／国名で検索する場合

検索したい都市名または国名を検索ボックスに入力します。

都市／国を時差で並べ替えて検索する場合

 → 「タイムゾーン順」をタップします。都市名順に戻すには  → 「都市名順」をタップします。

現在地から都市／国を登録する場合

 → 都市／国をタップします。

お知らせ

- 登録した都市／国を削除するには、「世界時計」画面で  → 「削除」→ 削除する都市／国にチェックを付ける → 「完了」をタップします。都市／国をロングタッチ →  をタップしても削除できます。
- 登録した都市／国にサマータイム設定を変更するには、都市／国をロングタッチ →  → 項目を選択します。「自動」に設定した都市／国でサマータイムを実施している場合、または「有効」に設定した場合は、日付の後に  が表示されます（サマータイムを実施している都市／国でも  が表示されない場合があります）。

ストップウォッチを利用する

1 「ストップウォッチ」画面で「スタート」

- ・ 測定が開始されます。

ラップタイムを計測する場合

「ラップ」をタップします。

2 測定を止めるには「ストップ」

- ・ 測定を再開するには「リスタート」、測定をやり直すには「リセット」をタップします。

タイマーを利用する

1 「タイマー」画面で時間、分、秒を設定 → 「スタート」

- ・ タイマーが開始されます。
- ・ タイマーを一時停止するには「ストップ」、タイマーをリセットするには「リセット」をタップします。
- ・ 一時停止中に「リスタート」をタップすると、タイマーを再開できます。

2 タイムアップ通知音を止めるには、 を表示される円の外側までドラッグ

Sプランナー

カレンダーを表示してイベントやタスクを登録できます。また、Googleアカウントを登録すると、Googleカレンダーと同期することもできます。

1 ホーム画面で  → 「Sプランナー」

2  をタップ

- Googleカレンダーの同期に関する画面が表示された場合は、内容を確認し、「完了」をタップします。



イベント登録画面

3 「イベント登録」または「タスク登録」

4 項目を設定 → 「保存」

ボイスレコーダー

音声を録音する

- 1** ホーム画面で  → 「ボイスレコーダー」
 - ボイスレコーダー画面が表示されます。
 -  をタップして、録音モードを「標準」／「インタビュー」／「会話」／「音声メモ」に切り替えて録音します。
- 2**  をタップ
 - 録音が始まります。
 - 録音を一時停止するには 、続けて録音するには  をタップします。
 - 録音をキャンセルするには  → 「OK」をタップします。
 - 録音中に  をタップするとそれまでに録音した内容が保存されます。
- 3**  をタップ
 - 録音が終了し、録音した内容が保存されます。

音声を再生する

- 1 ホーム画面で  → 「ボイスレコーダー」
- 2  をタップ
 - 録音したデータの一覧画面が表示されます。
- 3 再生したいデータをタップ
 - 再生が開始されます。
 - 再生を一時停止するには 、続けて再生するには 、終了するには  をタップします。
 - 音声のトリミングを行う場合は、音声の再生中に  → 「OK」 → トリミングする位置まで  をドラッグ →  → 「新しいファイルとして保存」をタップします。
 - 「x0.5」 / 「x1.0」 / 「x1.5」 / 「x2.0」 をタップすると、再生速度を変更できます。
 - 音量を調節する場合は音量キーを押します。

ボイスレコーダーのメニュー

ボイスレコーダー画面 / 一覧画面 / 再生画面で  をタップすると以下の項目が表示されます。

- 表示される項目は、画面によって異なります。

項目	説明
選択	複数のデータを選択して、削除や共有などができます。
削除	データを削除します。
並べ替え	日付 / 名前 / カテゴリ / 保存先によりデータを並び替えます。

項目		説明
カテゴリフィルター		カテゴリとカテゴリごとのデータ数を表示します。
カテゴリを編集		カテゴリの名称などの編集、追加、削除を行います。
名前を変更		ファイル名を変更します。
着信音に設定		録音データを着信音に設定します。
ボイスラベルに書き込む		NFC通信を使って、録音データをボイスラベルに書き込みます。
詳細		データの詳細情報を表示します。
設定	保存先設定	保存先を選択します。
	録音品質	録音の品質を設定します。
	録音音量レベル	録音の音量を設定します。
	ファイル名の自動生成	ファイル名を自動生成するかどうかを設定します。
	標準ファイル名	標準ファイル名を設定します。
	ノイズキャンセラー	ノイズ除去を利用するかどうかを設定します。
	ロゴを表示	録音画面に画像やテキストを表示できます。

項目		説明
設定	位置情報 タグ	各音声ファイルに位置情報を付加します。
	言語	録音する音声の言語を設定します。
	スキップ の間隔	スキップキー (⏮ / ⏭) をタップしたときのスキップ間隔を設定します。

電卓

四則演算（＋、－、×、÷）やパーセント計算、関数計算などができます。

1 ホーム画面で → 「電卓」

- 本端末を横向きにすると、関数電卓に切り替わります。「画面回転」(P.85) がOFFに設定されている場合は、 → 「関数電卓」をタップすると、関数電卓に切り替えることができます。
-  をタップすると履歴が表示されます。「履歴を消去」をタップすると、履歴をすべて消去できます。

microSDカードへ保存・復元

microSDカードなどの外部記憶媒体を利用して、電話帳、ドコモメールなどのデータの移行やバックアップができます。

- バックアップまたは復元中に本端末の電池パック、microSDカードを取り外さないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- バックアップ対象の電話帳は、docomoアカウントの電話帳と本端末に登録されている電話帳です。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本端末のメモリ構成上、microSDカードを取り付けていない場合、静止画・動画などのデータは本端末に保存されます。本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップ

プされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

バックアップする

電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

- 1 ホーム画面で  → 「ドコモバックアップ」
→ 「microSDカードへ保存・復元」
 - ・ 初めて起動したときは使用許諾規約が表示されるので、内容を確認し、「同意する」をタップします。
 - ・ 続けて定期バックアップ通知設定画面が表示された場合は、「毎月通知する (ON)」 / 「通知しない (OFF)」を選択して設定できます。
- 2 「バックアップ」 → バックアップするデータにチェックを付ける → 「バックアップ開始」
→ 「開始する」
- 3 ドコモアプリパスワードを入力 → 「OK」
 - ・ 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。
- 4 「トップに戻る」

バックアップファイルを本端末に復元する

microSDカードにバックアップした電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

- 1 ホーム画面で  → 「ドコモバックアップ」
→ 「microSDカードへ保存・復元」
- 2 「復元」 → 復元するデータ種別の「選択」 → 復元するデータにチェックを付ける → 「選択」

- 3 復元方法を選択 → 「復元開始」 → 「開始する」
 - データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。
- 4 ドコモアプリパスワードを入力 → 「OK」
 - 選択したデータが本端末に復元されます。
- 5 「トップに戻る」

Googleアカウントや本端末に登録されている 電話帳を docomo アカウントにコピーする

Googleアカウントの電話帳や、Samsungが提供する「連絡先」アプリで本端末に登録した連絡先を docomo アカウントにコピーします。

- 1 ホーム画面で  → 「ドコモバックアップ」
→ 「microSDカードへ保存・復元」
- 2 「電話帳アカウントコピー」 → コピーする電話帳の「選択」 → 「上書き」 / 「追加」
 - コピーしたデータが docomo アカウントに保存されます。
- 3 「OK」

データ保管BOXへ保存・復元

通話履歴、音楽のデータをデータ保管BOXを利用してバックアップ・復元します。

バックアップ

- 1 ホーム画面で  → 「ドコモバックアップ」
→ 「データ保管BOXへ保存・復元」
- 2 「バックアップ」 → バックアップするデータにチェックを付ける → 「バックアップ開始」
→ 「開始する」
- 3 ドコモアプリパスワードを入力 → 「OK」
- 4 「メニュー画面に戻る」

お知らせ

-  → 「定期通知設定」 → 「ON」を選択して「OK」をタップすると、バックアップするタイミングを定期的にステータスバーに表示できます。

復元

- 1 ホーム画面で  → 「ドコモバックアップ」
→ 「データ保管BOXへ保存・復元」
- 2 「復元」 → 復元するデータ種別の「選択」 →
復元するデータにチェックを付ける →
「選択」
- 3 復元方法を選択 → 「復元開始」 →
「開始する」
- 4 ドコモアプリパスワードを入力 → 「OK」
- 5 「メニュー画面に戻る」

お知らせ

- データ保管BOXから復元する際、データはバックアップ時と同じ保存先に復元されます。機種変更の際など、バックアップ時と異なる保存先に復元される場合があります。

YouTube

YouTubeは無料のオンライン動画ストリーミングサービスです。動画を再生したり投稿したりすることができます。

動画を再生する

- 1 ホーム画面で「Google」→「YouTube」
- 2 再生したい動画をタップ
 - 動画が再生されます。

辞書

3か国語の辞書（日・英・韓）を利用して語句を検索することができます。

本端末は次の辞書データをダウンロードして利用できます。

- 旺文社英和辞典
- 旺文社和英辞典
- ニューエース韓日辞典
- ニューエース日韓辞典

1 ホーム画面で → 「辞書」

- 初めて起動したときは、辞書データのダウンロード／インストール画面が表示されますので、ダウンロードする辞書にチェックを付けてダウンロードしてください。

S Health

「歩数計」、「エクササイズ」、「心拍数」などのアプリを使って、消費カロリーや摂取カロリーの記録、運動の記録などを行い、健康管理をサポートします。

1 ホーム画面で → 「S Health」

- S Health画面が表示されます。
- 初めて起動したときは、「ようこそ」画面が表示され、「次へ」をタップすると利用規約が表示されます。内容を確認して「同意する」にチェックを付ける → 「次へ」 → 画面の指示に従って操作してください。
- Samsungアカウント画面が表示された場合、既存のSamsungアカウントがあるときは、サインインしてください。
- S Health画面で  をタップすると、メニューが表示されます。
メニューが表示されている場合は、画面を左にフリックするとS Health画面に戻ります。

2 項目をタップ

項目	説明
歩数計	歩数計アプリを起動します。歩数計画面では、歩数と歩いた距離、消費したカロリーが表示されます。
エクササイズ	エクササイズアプリを起動します。ランニング、ウォーキング、サイクリング、ハイキングの4種目から選択して、エクササイズを行います。
心拍数	本端末背面の心拍数センサーを使って、心拍数を計測・記録します。

項目	説明
その他のアプリ	その他のアプリを起動します。

お知らせ

- S Healthの詳細については、S Health画面で  → 「ヘルプ」 をタップしてください。
- 目標摂取カロリーは、お客様が入力したプロフィールを元に基礎代謝量（BMR）を計算して表示されます。個人の年齢、身体組成、必要栄養素によって目標摂取カロリーは異なりますので、数値は目安としてご利用ください。

Sボイス

電話の発信やSMSの送信、メモの作成など、音声入力で本端末の各種機能进行操作できます。

Sボイスをご利用になる前に

音声認識を高めるため、以下の点に気をつけてご利用ください。

- 本端末に向かってはっきりと話してください。
- 静かな場所をご利用ください。
- 俗語や方言などは避けてください。

Sボイスを利用する

1 ホーム画面で → 「Sボイス」

- Sボイス画面が表示されます。
-  を2回押しても、Sボイスを起動できます。
- 「ようこそ」画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作方法を確認してください。
- Samsung免責条項や利用規約が表示された場合は、内容を確認し、「同意します。」にチェックを付けて「次へ」をタップしてください。

お知らせ

- Sボイスの詳細については、Sボイス画面で  → 「ヘルプ」、Sボイスの音声入力の方法については、Sボイス画面で  → 「音声入力コマンドの例」 / 「チュートリアル」をタップしてご覧ください。

本体設定

設定メニュー

画面の明るさや表示方法、着信音、通信などさまざまな設定を行うことができます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」
- 2 メニュー項目を選択して設定を行う

お知らせ

-  をタップして検索したいキーワードを検索ボックスに入力すると、本体設定内を検索し、設定内容を確認できます。

クイック設定

Wi-Fi	→ P.349
ハイブリッドダウンロード	→ P.356
Bluetooth	→ P.433
データ使用量	→ P.361
サウンド	→ P.368
ディスプレイ	→ P.369
壁紙	→ P.371
ロック画面	→ P.372
通知パネル	→ P.374
指紋スキャナー	→ P.90
安全サポート	→ P.409
省電力	→ P.410

ネットワーク接続

ワイヤレスネットワーク接続の設定をします。

項目	説明	
Wi-Fi	→ P.349	
ハイブリッドダウンロード	→ P.356	
Bluetooth	→ P.433	
テザリング	→ P.356	
機内モード	→ P.360	
通信制限モード	→ P.360	
データ使用量	→ P.361	
位置情報	→ P.322	
その他ネットワーク	標準メッセージアプリ	通常使うメッセージアプリとして、「SMS」 / 「ハングアウト」から選択します。
	モバイルネットワーク	モバイルデータやデータローミング、アクセスポイント (APN)、ネットワークモード、ネットワークオペレーターを設定します。
	VPN	→ P.364
	NFC / おサイフケータイ	→ P.365

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続できます。また、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

本端末の無線LANとBluetooth機能は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、無線LANとBluetooth機能を近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. 無線LANとBluetoothデバイスは、約20m以上離してください。
2. 約20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスの電源を切ってください。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」 をタップし、「スマートネットワーク切り替え」のチェックを付けた状態でWi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE / 3G / GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- 「スマートネットワーク切り替え」にチェックを付けた状態で、無線LAN内蔵メモリカードなどのインターネットに接続しないアクセスポイントとのWi-Fi接続が切断される場合は、「スマートネットワーク切り替え」のチェックを外してください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合はdocomo IDの設定が必要です。ホーム画面で  → 「設定」 → 「ドコモのサービス／クラウド」 → 「docomo ID設定」 をタップして設定します。
- Wi-Fi機能をONにしなくても位置情報の検出を行うことができます。ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」 をタップし、 → 「詳細設定」 → 「スキャンを常に許可」のチェックを付けます。

■ Wi-Fiを有効にしてネットワークに接続する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」
- 2  をタップ
 - 利用可能なWi-Fiネットワークのスキャンが自動的に開始され、一覧表示されます。
- 3 接続したいWi-Fiネットワークをタップ → 「接続」

- セキュリティで保護されているWi-Fiネットワークに接続する場合は、パスワード（セキュリティキー）を入力し、「接続」をタップします。

WPSを利用して接続する場合

「WPS利用可能」と表示されているWi-Fiネットワークは、WPS（Wi-Fi Protected Setup）を利用して接続できます。Wi-Fiネットワークの一覧画面で  → 「WPS プッシュボタン」 / 「WPS PIN エントリ」 → アクセスポイント側で操作を行います。

お知らせ

- 一度接続したWi-Fiネットワークのパスワード（セキュリティキー）は自動的に保存され、次の接続時の入力不要になります。

■ Wi-Fi オープンネットワークを通知する

利用可能なオープンネットワークが近くに存在している場合に通知するかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」
- 2  → 「詳細設定」
- 3 「ネットワーク通知」にチェックを付ける

■ Wi-Fi ネットワークの接続を解除する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」
- 2 接続中のWi-Fiネットワークをタップ → 「切断および削除」

■ Wi-Fiアクセスポイントを設定する

- 接続に必要な情報は、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。
- 無線LANアクセスポイントが、MACアドレスを登録している機器のみと接続するように設定されているときは、本端末のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは、ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」 →  → 「詳細設定」をタップすると確認できます。また、現在接続している無線LANアクセスポイントのIPアドレスも確認できます。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」

2 「Wi-Fiネットワークを追加」

3 ネットワークSSIDを入力 → セキュリティ（認証方法）を設定

- 利用可能な認証方法は「WEP」「WPA/WPA2/FT PSK」「802.1x EAP」です。

4 パスワードを入力 → 「接続」

- セキュリティを「なし」に設定した場合は、パスワードの入力は不要です。

■ Passpoint対応のアクセスポイントに自動接続する

Wi-Fiアクセスポイントを設定することなく、Passpoint対応のWi-Fiアクセスポイントのエリアになったときに、Passpoint対応のWi-Fiアクセスポイントへ自動的に接続させるかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」
- 2  → 「詳細設定」
- 3 「Passpoint」 にチェックを付ける

■ Wi-Fiネットワークを並べ替える

本端末がスキャンしたWi-Fiネットワークの一覧を並べ替えます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」
- 2  → 「詳細設定」
- 3 「並べ替え」 → 「アルファベット順」 / 「電波強度」
 - Wi-Fiネットワークの一覧をアルファベットの昇順 / 受信信号強度 (RSSI) の降順で並べ替えます。

■ Wi-Fiのスリープ設定をする

本端末の画面の表示が消えたときにWi-Fiを無効にしたり、充電時には常に有効になるように設定したりできます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」
- 2  → 「詳細設定」
- 3 「スリープ中でもWi-Fi接続を維持」 → スリープ設定を選択

お知らせ

- スリープ設定を「電源接続時のみON」または「常にOFF（データ使用量が増加）」に設定した場合、本機能の設定によりWi-Fiが無効になると自動的にモバイルネットワークに切り替わるため、パケット通信料が高額になる場合があります。モバイルネットワークに切り替えない場合は、「常にON」に設定してください。

■ インターネットサービス確認を設定する

接続したWi-Fiネットワークがインターネット接続できるかを確認し、接続できない場合は自動的にモバイルネットワークに切り替えるかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」
- 2 「スマートネットワーク切り替え」にチェックを付ける → 「OK」

■ Wi-Fiタイマーを設定する

Wi-Fiネットワークへの自動接続／切断を設定します。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」
- 2  → 「詳細設定」
- 3 「Wi-Fiタイマー」
- 4 「開始時間を設定」 / 「終了時間を設定」にチェックを付ける
 - 自動接続を設定する場合は「開始時間を設定」に、自動切断を設定する場合は「終了時間を設定」にチェックを付けます。
- 5 開始時刻／終了時刻を設定 → 「完了」

■ 静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用してWi-Fiネットワークに接続するように本端末を設定できます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」
- 2 接続するWi-Fiネットワークをタップ → 「拡張オプションを表示」にチェックを付ける
- 3 「IP設定」欄をタップ → 「静的」
- 4 必要な項目を設定
 - ・ 静的IPアドレスを使用するには、以下の項目を入力する必要があります。
 - IPアドレス
 - ゲートウェイ
 - ネットワークプレフィックス長
 - DNS 1 / DNS 2

5 「接続」

■ Wi-Fi Directを利用する

Wi-Fi Direct対応デバイス同士を接続し、データのやりとりができます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」
- 2  → 「Wi-Fi Direct」
- 3 検索されたデバイス名をタップ
 - ・ 検索されたデバイス側で接続を承認すると、Wi-Fi Directで接続し、ステータスバーに  が表示されます。
 - ・ 「スキャン」をタップして、デバイスの検索結果を更新することができます。

複数のデバイスと接続する場合

☰ → 「複数接続」 → 接続するデバイスにチェックを付ける → 「完了」をタップします。

■ Wi-Fi Directの接続を解除する

- 1 ホーム画面で ☰ → 「設定」 → 「Wi-Fi」 → ☰ → 「Wi-Fi Direct」
- 2 「接続終了」 → 「OK」

ハイブリッドダウンロード

Wi-FiとLTEネットワークを同時に使用することで、容量が大きいファイル（30MB超）をより速くダウンロードできるように設定します。

- 1 ホーム画面で ☰ → 「設定」 → 「ハイブリッドダウンロード」
- 2 をタップ → 「OK」
 - ・ 「速度情報を非表示」にチェックを付けると、ハイブリッドダウンロードの速度情報ポップアップを表示しなくなります。

テザリングを利用する

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、無線LAN対応機器、USB対応機器をインターネットに接続させる機能です。

- ・ Wi-Fiテザリングをご利用の場合は最大10台、USBテザリングをご利用の場合は1台の機器を同時接続できます。また、Wi-FiテザリングとUSBテザリングを同時にご利用の場合は、合計11台を同時接続できます。

■ Wi-Fiテザリングを設定する

本端末をインターネットアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに10台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「テザリング」
→ 「Wi-Fiテザリング」

2  をタップ

3 注意事項の詳細を確認 → 「OK」 → 「OK」

■ Wi-Fiテザリングのアクセスポイントを設定する

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「テザリング」
→ 「Wi-Fiテザリング」

2  をタップ

3 注意事項の詳細を確認 → 「OK」 → 「OK」

4  → 「設定」

5 「ネットワークSSID」欄をタップ → ネットワークSSIDを入力

・ あらかじめ「AndroidAP」が設定されています。

6 「セキュリティ」

・ 「オープン」「WPA2 PSK」から適切なものを選択します。

7 「パスワード」欄をタップ → パスワードを入力

・ 「セキュリティ」を「オープン」に設定した場合は、パスワードの入力は不要です。

8 「保存」

お知らせ

- お買い上げの状態では、セキュリティは「WPA2 PSK」に設定されています。
- Wi-Fiテザリングが接続されている状態で、Wi-Fiテザリング画面で ⓘ → 「設定」 → 「マイデバイスを非表示」にチェックを付ける → 「保存」をタップすると、接続されている無線LAN対応機器の接続が一時解除されますが、自動で再接続されます。
- 「マイデバイスを非表示」にチェックを付けると、本端末はスキャンできなくなります。他の機器から接続する場合は、Wi-Fiテザリング画面の「他のデバイスからの接続方法」に表示される情報を確認して、手動でWi-Fiアクセスポイントの設定を行ってください。
- Wi-Fiテザリングで接続されている場合に、Wi-Fiテザリング画面で ⓘ → 「WPSプッシュボタン」をタップすると、接続している機種側でWPSボタンを押して接続できます。また、Wi-Fiテザリング画面で ⓘ → 「タイムアウト設定」をタップすると、接続しているデバイスがない場合に、時間を決めて自動的にWi-Fiテザリングを無効にできます。

■ USBテザリングを設定する

本端末とパソコンを付属のUSB接続ケーブル SC02で接続し、インターネットに接続することができます。

- USBテザリングを行うには、専用のドライバをパソコンにインストールする必要があります。専用のドライバのダウンロードやその他詳細については、以下のホームページをご覧ください。

<パソコンから>

<http://www.samsung.com/jp/support/usefulsoftware/KIES/JSP>

- 1** 本端末の外部接続端子に、USB 接続ケーブル SC02 の microUSB プラグを差し込む
 - 接続方法については、「USB 接続ケーブル SC02 で接続する」(P.441) をご参照ください。
- 2** パソコンの USB コネクタに、USB 接続ケーブル SC02 の USB プラグを差し込む
- 3** ホーム画面で  → 「設定」 → 「テザリング」
- 4** 「USB テザリング」 → 注意事項の詳細を確認 → 「OK」

お知らせ

- USB テザリング中は microSD カードをパソコンに接続できません。
- USB テザリングに必要なパソコンの動作環境 (OS) は以下のとおりです。なお、OS のアップグレードや追加/変更した環境での動作は保証いたしかねます。
 - Windows Vista
 - Windows 7
 - Windows 8

機内モード

すべてのワイヤレス接続を無効にします。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「機内モード」 →  をタップ

お知らせ

-  を 1 秒以上押して表示される端末オプション画面で「機内モード」 → 「OK」 をタップしても設定を切り替えることができます。
- 「機内モード」をONにするとWi-FiやBluetooth機能がOFFになりますが、機内モード中に再びONにすることができます。

通信制限モード

すべてのアプリでネットワーク接続を無効にします。電話とSMSの受信のみ可能になります。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「通信制限モード」 →  をタップ → 「OK」

お知らせ

- 通知パネルからも通信制限モードのON / OFFの設定ができます (P.115)。
- 「通信制限モード」をONにするとWi-Fi接続をすることができません。

データ使用量

モバイルデータ通信の有効／無効の設定や、データ使用量の上限を設定します。データ使用量を測定する期間の設定もできます。

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「データ使用量」

- データ使用量画面が表示され、期間ごとやアプリごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。
- 「モバイルデータ」にチェックを付けると、モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にできます。
- グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定ができます。使用量の制限は、「モバイルデータを制限」にチェックを付けているときのみ設定できます。

バックグラウンドデータを制限する場合

アプリが自動的に行うデータ通信を制限できます。データ使用量画面で  → 「バックグラウンド制限」にチェックを付ける → 「OK」をタップします。

データの自動同期をOFFにする場合

設定したアカウントが自動的に同期をしないように設定できます。データ使用量画面で  → 「データを自動同期」のチェックを外す → 「OK」をタップします。

Wi-Fiの使用状況を表示する

期間ごとやアプリごとのWi-Fi使用量（目安）が表示されます。データ使用量画面で  → 「Wi-Fi使用状況」にチェックを付ける → 「Wi-Fi」タブをタップします。

モバイルホットスポットの利用を制限する場合

バックグラウンドアプリが、特定のWi-Fiネットワークを利用できないように設定できます。

データ使用量画面で  → 「モバイルホットスポット」 → 利用を制限するWi-Fiネットワークにチェックを付けます。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用の際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。

mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

■ 利用中のアクセスポイントを確認する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「その他ネットワーク」 → 「モバイルネットワーク」 → 「APN」

■ アクセスポイントを追加で設定する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「その他ネットワーク」 → 「モバイルネットワーク」 → 「APN」 → 
- 2 「名前」 → 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 → 「OK」
- 3 「APN」 → アクセスポイント名を入力 → 「OK」

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力

- ・「携帯国番号」を440、「通信事業者コード」を10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

5 → 「保存」

お知らせ

- ・ 携帯国番号、通信事業者コードの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、アクセスポイントを初期化するか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

■ アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「その他ネットワーク」 → 「モバイルネットワーク」 → 「APN」

2  → 「初期値にリセット」

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス (@docomo.ne.jp) を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

VPN（Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

- 本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。
- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。

■ VPNを追加する

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「その他ネットワーク」 → 「VPN」

- 注意画面が表示された場合は、「OK」をタップし、画面の指示に従って画面ロック解除方法を設定します。

2 をタップ

VPNを編集する場合

編集するVPNをロングタッチ → 「ネットワークを編集」 → 各項目を編集 → 「保存」をタップします。

VPNを削除する場合

削除するVPNをロングタッチ → 「ネットワークを削除」をタップします。

3 ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定

4 「保存」

■ VPNに接続する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「その他ネットワーク」 → 「VPN」
- 2 接続したいVPNをタップ
- 3 必要な認証情報を入力 → 「接続」
 - ・ ステータスバーに  が表示されます。

■ VPNを切断する

- 1 通知パネルを開く → VPN接続中を示す通知をタップ
- 2 「切断」

NFC / おサイフケータイ 設定

おサイフケータイの機能をロックしたり、Reader / Writer, P2P機能を利用してコンテンツやファイルなどの送受信の許可 / 拒否を設定できます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「その他ネットワーク」 → 「NFC / おサイフケータイ」
- 2 項目を設定

項目	説明
NFC / おサイフケータイ ロック	NFC / おサイフケータイ機能をロックします。

項目	説明
Reader/Writer, P2P	本端末をNFCモジュールが内蔵された機器またはReader / Writer, P2P機能を搭載した端末に近づけたとき、データ交換を許可するかどうかを設定します。→ P.439
Android Beam	P2P機能を搭載した他の対応端末との間で、ウェブページや連絡先などのコンテンツの送受信を許可するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 「Reader/Writer, P2P」をONにすると設定できます。
S Beam	S Beam対応端末との間でP2P機能とWi-Fi Direct機能を利用して、静止画や動画、ドキュメントなどのファイルの送受信を許可するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 「Reader/Writer, P2P」をONにすると設定できます。
NFC Type設定	「FeliCa / TypeA / TypeB (標準)」 / 「FeliCa / TypeA」 / 「FeliCa / TypeB」から通信モードを設定します。

接続と共有

他の機器との接続／共有の設定をします。

項目	説明
近くのデバイス	→ P.447
印刷	→ P.445
Screen Mirroring	対応機器*と本端末の画面を共有します。 <ul style="list-style-type: none">• HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) 機能をサポートしない対応機器とは接続できない場合があります。• ネットワーク接続や相手機器の状態によっては、再生が中断される場合があります。• 特定の周波数帯の Wi-Fi ネットワークを使用する場合、対応機器を検索できない場合があります。

※ Miracast 認証を受けた機器の場合、Screen Mirroring 機能に対応します。

サウンドと画面表示

項目		説明
サウンド	サウンドモード	サウンド出力のON / OFF、バイブレーションモード、サイレントモードを設定します。
	音量	→ P.376
	バイブの強度設定	バイブレーションの強度を設定します。
	着信音	→ P.377
	バイブ	→ P.377
	通知音	→ P.377
	着信時にバイブ	着信中やSMSなどの通知時のバイブレーションのON / OFFを設定します。
	ダイヤルキーパッド操作音	ダイヤル画面で数字キーをタップしたときの操作音のON / OFFを設定します。
	タッチ操作音	 や  、メニュー項目をタップしたときの操作音のON / OFFを設定します。
	画面ロック音	画面ロック / ロック解除時の音のON / OFFを設定します。

項目		説明
サウンド	GPS通知	GPS起動時の音のON / OFFを設定します。
	タッチ操作バ イブ	☐ や ☐ などをつっぱしたときのバイブレーションのON / OFFを設定します。
	通話	各アプリのサウンド関連機能の設定をします。
	SMS	
	Eメール	
	Sプランナー	
音楽効果	「SoundAlive」 / 「MusicFX」から設定します。	
ディス プレイ	明るさ	→P.378
	フォント	アプリの画面に表示されるフォントや文字のサイズを設定します。
	画面回転	本端末の向きに合わせて縦横表示を自動的に切り替えます。
	スマートステ イ	画面を見ている間は表示が消えないように設定します。

項目		説明
ディスプレイ	画面のタイムアウト	画面の表示が消えるまでの時間を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定時間が近づくと画面が少し暗くなります。
	画面モード	画面のコントラストを設定します。
	画面トーンの自動調整	表示されている画像に応じて画面のトーンを調整し、電池の消費を抑えます。
	スクリーンセーバー	→ P.379
	LEDインジケータ	→ P.380
	タッチキーライト消灯時間	タッチキーライトの消灯時間を設定します。

項目		説明
ディスプレイ	高感度タッチ操作	<p>手袋をはめた状態でタッチ操作ができるようにタッチ操作感度を高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 革の手袋を利用すると、タッチ操作の認識率を高めることができます。他の素材の手袋を利用した場合は、一部の機能が円滑に動作しない場合があります。 本機能をONにして初めての操作を行う際は、最初のタッチ操作でディスプレイを長めにタップすると、以降の操作の認識率を高めることができます。 本機能をONにして、手袋をはめずにタッチ操作を行うと、意図しない操作が実行される場合があります。
壁紙	ホーム画面	ホーム画面の壁紙を「ギャラリー」／「ライブ壁紙」／「壁紙」から選択します。
	ロック画面	ロック画面の壁紙を「ギャラリー」／「壁紙」／「旅行の壁紙」から選択します。

項目		説明
壁紙	ホーム画面とロック画面	ホーム画面とロック画面の壁紙を「ギャラリー」／「ライブ壁紙」／「壁紙」から選択します。
ロック画面 [*]	画面ロック	→ P.381
	デュアル時計	ローミング時、ロック画面にデュアル時計を表示するかどうかを設定します。
	時計のサイズ	ロック画面に表示される時計の大きさを設定します。
	パターンの種類	ロック解除パターン入力時の点の表示方法を設定します。
	日付を表示	ロック画面に日付を表示します。
	カメラのショートカット	ロック画面にカメラアプリのショートカットを表示します。
	オーナー情報	ロック画面にオーナー情報を表示するかどうかを設定します。また、表示するオーナー情報を入力します。
	パターンを表示	画面ロック解除時にパターンの軌跡を表示するかどうかを設定します。

項目		説明
ロック画面*	バイブフィードバック	間違ったロック解除パターン入力時に本端末を振動させるかどうかを設定します。
	ロック解除エフェクト	ロック解除時のエフェクトを設定します。
	追加情報	ロック画面に天気情報や歩数を表示します。
	自動的にロック	画面の表示が消えてから画面ロックがかかるまでの時間を設定します。
	電源キーですぐロック	⏻を押すとすぐに画面ロックがかかるように設定します。
	ヘルプ	ロック画面にヘルプテキストを表示します。
マルチウィンドウ	マルチウィンドウ表示で開く	マイファイルやビデオからファイルを開くか、Eメールやメッセージの添付ファイルを開くと、自動的にマルチウィンドウでコンテンツを表示するように設定します。→ P.120

項目		説明
通知 パネル	明るさ調整	通知パネルで画面の明るさを調整できるように設定します。
	おすすめ アプリ	イヤホンを接続したときに、おすすめのアプリを通知パネルに表示するように設定します。
	クイック設定 ボタンを設定	通知パネルに表示されるクイック設定ボタンの選択や並び順を変更します。
ツールボックス		アプリのショートカットを通知パネルやホーム画面などで表示します。 → P.119、P.147
片手操作		画面の端をスワイプして片手操作画面にします。 <ul style="list-style-type: none"> ディスプレイが消灯した場合、5秒以上経過すると全画面表示に戻ります。

※ 表示される項目は、画面ロックの設定によって異なります。また、「ホーム切替」の設定によっては、設定を変更できない場合や、変更が反映されない場合があります。

本端末から鳴る音を消す

マナーモード（サイレント、バイブ）に設定すると、着信音や通知音などが鳴らなくなります。

1 を1秒以上押す

- 端末オプション画面が表示されます。

2 「サイレント」 / 「バイブ」

- 「サイレント」に設定すると、ステータスバーに  が表示されます。
- 「バイブ」に設定すると、ステータスバーに  が表示されます。

お知らせ

- マナーモード（サイレント、バイブ）設定中に「音量」の「着信音」（P.376）を変更すると、マナーモード（サイレント、バイブ）が解除されます。

各種音量を調節する

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「サウンド」 → 「音量」

- 音量バーが表示されます。

項目	説明
着信音	電話着信時の着信音量を調節します。
音楽、動画、ゲーム、およびその他のメディア	音楽などの再生音量を調節します。
通知	通知 (P.115) があつたときの通知音量を調節します。
システム	タッチ操作音や画面ロック／ロック解除時、GPS通知のON／OFF音の音量を調節します。

2 各音量の を左右にドラッグ → 「OK」

■ 音量キーで着信音量を調節する

1 音量キーを押す

着信／通知を音や振動で知らせる

電話着信時や通知時に鳴らす着信音／通知音のメロディなどを設定したり、本端末を振動させるかどうかを設定します。

■ 着信音／通知音を設定する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「サウンド」 → 「着信音」 / 「通知音」
- 2 設定したい電話着信音／通知音をタップ → 「OK」
 - ・ 「サイレント」を選択すると、電話着信音／通知音は鳴りません。
 - ・ 「着信音」を選択した場合、「追加」をタップすると、着信音を検索して追加できます。

■ バイブレーションを設定する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「サウンド」 → 「バイブ」 → 設定したいパターンを選択 → 「OK」
 - ・ 「バイブの強度設定」(P.368) でバイブレーションの強弱調節ができます。
 - ・ 「作成」をタップすると、自分でパターンを作成できます。

お知らせ

- ・ マナーモードが設定されていないときに「着信時にバイブ」にチェックを付けると、着信時やSMSなどの通知時に着信音／通知音とバイブレーションが鳴動します。「着信時にバイブ」のチェックを外すと、着信音／通知音のみ鳴ります。

ディスプレイの明るさを調整する

お買い上げ時、ディスプレイの明るさは周囲の明るさにあわせて自動的に調整されるように設定されています。手動で調整する場合は、以下の操作を行います。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ディスプレイ」 → 「明るさ」 → 「明るさの自動調整」のチェックを外す
- 2 「明るさレベル」の  を左右にドラッグ → 「OK」

お知らせ

- 本端末の温度が高い場合、過熱を防ぐために最大の明るさに設定することができません。

スクリーンセーバー

充電中に表示するスクリーンセーバーのON / OFF、種類を設定します。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ディスプレイ」 → 「スクリーンセーバー」
- 2  → 注意事項を確認 → 「OK」
- 3 「Flipboard」 / 「Google フォト」 / 「フォトテーブル」 / 「フォトフレーム」 / 「色」
 - 「Flipboard」を選択した場合は、 をタップし、新しいアイテムを自動でダウンロードするタイミングを設定してください。
 - 「Google フォト」 / 「フォトテーブル」 / 「フォトフレーム」を選択した場合は、 をタップし、表示する画像が保存されているフォルダにチェックを付ける →  をタップしてください。

LEDインジケーターを設定する

画面の表示が消えている状態の通知LEDに関する設定をします。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ディスプレイ」 → 「LEDインジケーター」

2 項目を設定

項目	説明
充電中	本端末を充電しているときに通知LEDを点灯させるかどうかを設定します。
バッテリー残量不足	電池残量が少なくなったときに通知LEDを点滅させるかどうかを設定します。
通知	不在着信、未確認のSMSやアプリイベントがあるときに通知LEDを点滅させるかどうかを設定します。
録音	ボイスレコーダーなどで録音している間、通知LEDを点滅させるかどうかを設定します。 ・「通知」にチェックを付けると設定できます。

画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックの解除時に、あらかじめ設定しておいたロック解除パターンやPIN、パスワードをタッチスクリーンで入力したり、指紋認証などをしなければならないように設定できます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ロック画面」
→ 「画面ロック」
- 2 画面ロックの解除方法を選択 → 画面の指示に従って入力
 - ・ 「PIN」は4～16桁の数字、「パスワード」はアルファベットを含む4～16桁の文字で設定してください。

お知らせ

- 画面ロックをOFFにするには、ホーム画面で  → 「設定」 → 「ロック画面」 → 「画面ロック」 → 設定した解除方法を入力 → 「なし」をタップします。
- 解除パターンやPIN、パスワードの入力に5回失敗すると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。

解除パターンを忘れた場合は、再入力の画面で「バックアップPIN」をタップしてパターン設定時に入力したバックアップPINを入力します。なお、Googleアカウントを設定していると「パターンを忘れた場合」が表示され、タップしてGoogleアカウントにサインインすると画面ロックを解除できます。PINやパスワード、バックアップPINを忘れた場合は、パソコンからFind My Mobile（端末リモート追跡）のホームページにアクセスし、「画面のロック解除」を実行すると画面ロックを解除できます。詳細については、Find My Mobile（端末リモート追跡）のホームページをご参照ください。→ P.397

個人設定

	項目	説明
ドコモのサービス／クラウド	docomo ID 設定	ドコモアプリで利用する docomo ID を設定します。
	ドコモクラウド	ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。
	アプリケーション管理	定期アップデート確認などを設定します。
	ドコモアプリパスワード	ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。 ・ お買い上げ時は「0000」に設定されています。
	オートGPS	オートGPSの設定や、測位した場所の履歴を表示します。
	ドコモ位置情報	イマドコサーチ／イマドコかんたんサーチ／ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能を設定します。
	遠隔初期化	遠隔操作による端末内データなどを初期化するサービスを利用するための設定を行います。

項目		説明
ドコモのサービス／クラウド	プロフィール設定	ドコモの各種サービスで利用するお客様のプロフィール情報を、確認・変更できます。
	オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。
ホーム切替	docomo LIVE UX	ホーム画面を docomo LIVE UX に設定します。
	TouchWiz 標準ホーム	ホーム画面を TouchWiz 標準ホームに設定します。
	TouchWiz かんたんホーム	ホーム画面を TouchWiz かんたんホームに設定します。
ユーザー補助		→ P.385
かんたんモードとアプリ		<p>シンプルなホーム画面レイアウトとアプリ操作で、簡単に使用できるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 簡単な操作に切り替えるアプリを選択することもできます。
ブロックモード		→ P.391
プライベートモード		<p>パーソナルコンテンツを非表示にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • このモードを使用するには、ロック解除方法を選択します。

項目	説明
指紋スキャナー	→ P.90

お知らせ

- ドコモサービスで表示されるアプリの中には無効化設定できるものがあり、無効化設定されたアプリは、ドコモサービスの一覧には表示されなくなる場合があります。
- 新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすることで、ドコモサービスの一覧に項目が追加表示される場合があります。

ユーザー補助

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ユーザー補助」

2 項目を設定

項目		説明
視覚	TalkBack	ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助サービスを有効にします。
	画面の情報を保護	プライバシー保護のため、画面を常にOFFの状態にします。 <ul style="list-style-type: none"> 「TalkBack」をONにすると設定できます。

項目		説明
視覚	高速キー入力	ダブルタップする代わりに指を離すと選択した文字を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 「TalkBack」をONにすると設定できます。
	パスワードの音声出力	TalkBack を利用して、入力したパスワードを音声で読み上げるかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 「TalkBack」をONにすると設定できます。
	文字サイズ	画面の文字サイズを設定します。
	拡大ジェスチャー	画面の拡大操作を設定します。
	通知リマインダー	SMSやEメールなどの未読通知があるときにビープ音を鳴らすかどうかとその通知間隔を設定します。
	ネガポジ反転	画面のカラーを反転します。
	色の調整	色覚テストを行い、ディスプレイ表示を最適な色に調整します。

項目		説明
視覚	ユーザー補助ショートカット	<p>簡単な操作でユーザー補助機能を利用できるようにするかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◻ を 1 秒以上押して端末オプション画面を表示し、2本の指で画面をロングタッチし続けるとユーザー補助機能を利用できるようになります。
	音声読み上げオプション	テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。
聴覚	フラッシュ通知	通知情報があるときにライトを点滅して知らせるかどうかを設定します。
	全ての音を OFF	受話音声を含む、すべての音を OFF に設定します。
	Samsung 字幕 (CC)	字幕の表示方法を設定・確認します。
	Google 字幕 (CC)	
	サウンドバランス	イヤホンを使用してメディアプレーヤーで音楽を聴くときのサウンドバランスを設定します。
	モノラル再生	片方のイヤホンだけで聴きやすくするために、オーディオをモノラルに変更します。

項目		説明
聴覚	赤ちゃんの泣き声検出	赤ちゃんの泣き声を検出すると、振動で通知するように設定します。
	自動反応バイブ	音楽やビデオなどの音に合わせて本端末が振動するように設定します。
操作と制御	アシスタントメニュー	アシスタントメニューを表示します。
	エアウェイクアップ	上向きに置いた本端末の上に手をかざすだけで画面をONにできるように設定します。
	スマートスクロール	画面を見ながら首や端末を前後に傾けることで、WebページやEメールメッセージをスクロールできるように設定します。
	長押しの調整	タッチパネルがロングタッチを感知する時間を設定します。

項目		説明
操作と制御	入力操作制御	<p>モーションや画面タイムアウトを有効／無効にしたり、タッチ操作ができる範囲を設定したりします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機能を有効にして動作を設定するには、音量キーの下側と  を同時に長押しし、画面の指示に従って操作してください。 「マルチウィンドウ」(P.373) がONの場合は、本機能を有効にできません。 本機能を有効にすると、「画面回転」(P.85) が自動的にOFFになります。
ダイレクトアクセス		<p> をすばやく3回押してユーザー補助機能を設定／解除できるようにします。</p>
通話応答／終了		<p>かかってきた電話に出る操作方法を追加したり、 を押して電話を切ることができるように設定したりすることができます。</p>
シングルタップモード		<p>着信に応答／拒否、アラームの停止／スヌーズなどの動作を、ドラッグの代わりにタップ操作で行うかどうかを設定します。</p>

項目	説明
ユーザー補助を管理	<p>インポート／エクスポート：ユーザー補助設定をファイルとして保存（エクスポート）したり、保存済みファイルをインポートしてユーザー補助設定を更新したりします。</p> <p>共有：ユーザー補助設定ファイルをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth 機能やメールなどで送信したりします。</p>

お知らせ

- Google Playから、ユーザー補助サービスに対応するアプリをダウンロードして設定することもできます。
- 「TalkBack」の使用を許可すると、クレジットカード番号などの個人情報、ユーザーインターフェイスでのやりとりなども記録されますので、ご注意ください。万が一、登録されたデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 「TalkBack」の使用を許可すると、タッチガイド機能もONになります。タッチガイドとは、指の位置にあるアイテムの説明を読み上げたり表示したりする機能です。タッチガイド機能をONにすると、項目の選択は一度タップして選択してからダブルタップ、スクロールは2本の指での操作になります。
- ホーム画面が docomo LIVE UX のときに、「TalkBack」が正常に動作しないことがあります。

ブロックモード

着信、通知、アラームとタイマーを無効に設定できます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ブロックモード」
- 2  をタップ
- 3 項目を設定

項目		説明
機能	着信をブロック	設定した時刻の間、着信を無効にします。 ・「着信許可連絡先」で設定した相手からは着信します。
	通知を無効化	設定した時刻の間、通知音やバイブレーションが鳴動しないようにします。
	アラームとタイマーを無効化	設定した時刻の間、アラーム音やバイブレーションは鳴動せず、アラームやタイマーの画面のみ表示されます。
時刻設定	常に ON	常にブロックモードを設定するかどうかを設定します。
	開始	ブロックモードを設定する開始時刻を設定します。
	終了	ブロックモードを設定する終了時刻を設定します。

項目		説明
着信許可連絡先	着信許可連絡先	着信・通知を許可する連絡先を選択します。「カスタム」を選択すると、「着信許可連絡先リスト」を設定できます。
	着信許可連絡先リスト	許可した連絡先を確認／削除したり、連絡先を追加できます。

モーション

項目	説明
モーションとジェスチャー	→ P.80
Sプレビュー	→ P.84

ユーザーとバックアップ

項目		説明
アカウント		→ P.395
Samsungクラウド		Samsungクラウドサービスのアカウント設定やメモリ使用状況の確認、同期設定などができます。
バックアップとリセット	データのバックアップ	Googleアプリの設定やデータなどをGoogleサーバーにバックアップします。
	バックアップアカウント	バックアップするアカウントを設定します。
	自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップした設定およびデータを復元します。

項目		説明
バックアップとリセット	工場出荷状態に初期化	<p>本端末をお買い上げ時の状態にリセットします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • microSDカードに保存されているデータは削除されません。削除する場合は、「外部SDカードを初期化」(P.426)を行います。 • microSDカードに保存されているデータを暗号化している場合は、暗号化を解除してから(P.404)、本端末の初期化を行ってください。暗号化したデータが使用できなくなります。

アカウント

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「アカウント」

項目	説明
docomo	あらかじめ docomo アカウントが登録されています。
アカウント追加	→ P.395

アカウントを設定する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「アカウント」 → 「アカウント追加」
- 2 追加したいアカウントの種類をタップ
- 3 画面の指示に従って設定
 - Facebook などログインが必要なオンラインサービスの場合は、メールアドレスやパスワードなどを入力して「ログイン」をタップします。

お知らせ

- 登録済みのアカウントを修正する場合は、アカウントを削除してから登録し直してください。
- 同期させる項目を変更するには、ホーム画面で  → 「設定」 → 「アカウント」 → アカウントの種類をタップ → 変更するアカウントをタップ → 同期させる項目のみチェックを付けます。
- 手動で同期させる場合は、ホーム画面で  → 「設定」 → 「アカウント」 → アカウントの種類をタップ → 同期するアカウントをタップ →  → 「すぐに同期」をタップします。

Samsung アカウントについて

Samsung アカウントを設定すると、SIM 変更アラートを設定できるようになります。また、Find My Mobile（端末リモート追跡）を利用して本端末をリモートコントロールしたり、本端末と Samsung アカウントとの間でデータを同期したりすることができます。

- Samsung アカウントは、ホーム画面で  → 「設定」 → 「アカウント」 → 「アカウント追加」 → 「Samsung account」をタップして、画面の指示に従って設定します。
- Find My Mobile（端末リモート追跡）の詳細については、以下のホームページをご覧ください。
<http://findmymobile.samsung.com/login.do>

お知らせ

- Samsung アカウントに設定したパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。また、パスワードを忘れた場合は、Find My Mobile（端末リモート追跡）で新しいパスワードを登録できます。
 - ① ホーム画面で  → 「設定」 → 「セキュリティ」 → 「Web サイトに移動」
 - ブラウザで Find My Mobile（端末リモート追跡）のホームページにアクセスしても設定することができます。
 - ② 「ログイン」 → 「ID またはパスワードを検索」
 - ③ 画面の指示に従ってパスワードを変更

Facebook などのアカウントについて

Facebook、Google などオンラインサービスのアカウントを設定し、本端末と各種サービスのサーバーとの間でデータの同期や送受信ができます。

- Microsoft Exchange ActiveSync アカウントを設定し、Microsoft Exchange Server 2007（および以前のバージョン）と同期させることもできます。

お知らせ

- 各アカウントの設定は、インターネットに接続できる環境で行ってください。
- 本端末をご利用になる国・地域によっては、自動同期などの機能が利用できない場合があります。
- Facebook アカウントの取得方法については、以下のホームページをご覧ください。
<http://www.facebook.com/>
- Microsoft Exchange ActiveSync アカウントを設定する場合は、設定情報などについてネットワーク管理者にお問い合わせください。

アカウントを削除する

登録したアカウントを削除すると、本端末に保存されたアカウントのデータ（メッセージや連絡先、設定など）も削除されます。

- サーバーに保存されたデータは削除されません。

- 1** ホーム画面で  → 「設定」 → 「アカウント」
→ アカウントの種類をタップ
- 2** 削除したいアカウントをタップ →  → 「アカウントを削除」 → 「アカウントを削除」

お知らせ

- 登録されているアカウントによっては、削除できない場合があります。削除するには、「工場出荷状態に初期化」(P.394) を実行してください。

システム

	項目	説明
言語と文字入力	言語	使用する言語を設定します。
	標準	入力方法を設定します。
	Samsung日本語キーパッド	→ P.99
	ドコモ文字編集	→ P.105
	Google 音声入力	→ P.105
	音声検索	音声検索時に使用する言語などを設定します。
	音声読み上げオプション	テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。
	通知の読み上げ	着信、メッセージ、Eメールの発信者または送信者の情報や、アラーム情報などを読み上げます。
	ポインター速度	マウス/トラックパッド使用時のポインターの速度を設定します。

項目		説明
日付と時刻	自動日時設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を基にして、自動的に補正します。お買い上げ時は自動的に補正されるように設定されています。
	日付設定 ^{*1}	日付を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 日付を手動で設定するには、「自動日時設定」のチェックを外してから設定を行います。
	時刻設定 ^{*1}	時刻を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 時刻を手動で設定するには、「自動日時設定」のチェックを外してから設定を行います。
	自動タイムゾーン	自動でタイムゾーンを設定します。
	タイムゾーンを選択	タイムゾーンを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> タイムゾーンを手動で設定するには、「自動タイムゾーン」のチェックを外してから設定を行います。
	24時間形式を使用	時刻を24時間表記に切り替えます。
	日付の表示形式を選択	年月日の表記方法を切り替えます。
安全サポート		→ P.409

項目		説明
アクセサリ	デスクホーム画面	本端末を付属の卓上ホルダに接続したときに、デスクホーム画面を表示するかどうかを設定します。
	オーディオ出力	HDMI接続をしたときのオーディオ出力を設定します。
バッテリー		電池使用量データや電池残量などを表示します。
省電力		→ P.410
ストレージ		→ P.411

項目		説明
セキュリティ	端末を暗号化 ^{*2}	<p>本端末内のデータ（アプリ、ファイルなど）を暗号化します。暗号化を行うと、本端末の電源を入れるたびにパスワードの入力が必要になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 端末の暗号化には時間がかかります。十分に充電された状態で充電しながら開始し、暗号化が完了するまで本端末の充電を継続してください。 • 暗号化を解除する場合は、ホーム画面で  → 「設定」 → 「セキュリティ」 → 「端末を復号」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

項目		説明
セキュリティ	外部SDカードを暗号化 ^{*2}	<p>microSDカードに保存されているデータを暗号化し、他の端末やパソコンで使用できないようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 暗号化を解除する場合は、ホーム画面で  → 「設定」 → 「セキュリティ」 → 「外部SDカードを暗号化」 → 「無効」をタップし、画面の指示に従って操作してください。
	リモートコントロール	データの削除や端末の追跡ができます。詳細については、Find My Mobile（端末リモート追跡）のホームページをご参照ください。 → P.397
	SIM変更アラート	ドコモminiUIMカードが差し替えられたときに他の携帯電話にSMSを送信します。 → P.418
	Webサイトに移動	Find My Mobile（端末リモート追跡）のホームページを表示します。

項目		説明
セキュリティ	再有効化ロック	本端末をリセットした後に他のSamsungアカウントで登録できないようにするかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • Samsungアカウントの登録が必要です。 • 本機能を有効にすると、工場出荷状態に初期化を行う前にSamsungアカウントの入力が必要です。
	SIMカードロックを設定	→ P.416
	パスワードを表示	パスワードの入力画面で、入力した文字を表示するかどうかを設定します。
	デバイス管理機能	デバイス管理者を有効にするかどうかを設定します。
	提供元不明のアプリ	Google Playで提供されるアプリ以外のアプリのインストールを許可するかどうかを設定します。
	アプリを確認	有害と思われるアプリをインストールする前に、インストールを許可しない、または警告を表示するようにするかどうかを設定します。

項目		説明
セキュリティ	セキュリティポリシー更新	更新して本端末のセキュリティを向上させます。
	セキュリティレポートを送信	セキュリティ脅威を分析するため、Wi-Fi経由でセキュリティレポートを送信します。
	ストレージの種類	認証情報ストレージのバックアップ先を表示します。
	信頼できる認証情報	信頼された証明書を表示します。
	ストレージからインストール ^{*3}	システムメモリ（本体）またはmicroSDカードから証明書のインストールを行います。
	証明書を消去	VPNの設定情報など、すべての証明書データとパスワードを削除します。
ヘルプ		ヘルプを表示します。
端末情報	ソフトウェア更新	→ P.488
	ステータス	電池残量や電話番号などを表示します。

項目		説明
端末 情報	法定情報	オープンソースライセンス:オープンソースの使用許諾条件を確認します。 Google利用規約:Googleの利用規約を確認します。 Samsung規約:エンドユーザーライセンス契約を確認します。
	診断情報を報告	本端末の診断および使用状況データの送信について、同意・許可の確認を行います。
	デバイス名称	本端末の名称を確認/変更します。
	認証情報	本端末の技術基準適合証明に関する情報やWi-Fiの認証情報を表示します。
	モデル番号	型番を確認します。
	Androidバージョン	ソフトウェアのバージョンを確認します。
	ベースバンドバージョン	
	カーネルバージョン	
	ビルド番号	
SE Androidのステータス		

項目		説明
端末 情報	セキュリティ ソフトウェア バージョン	ソフトウェアのバージョン を確認します。

- ※1 Googleアカウントを設定していると、日付・時刻情報が自動的に補正されることがあります。
- ※2 画面ロック (P.381) を「パスワード」に設定すると、本機能を利用できません。「パスワード」は英数字を含む6～16桁の文字で設定してください。
- ※3 インストールした証明書を削除する場合は、「証明書を消去」をタップし、認証情報ストレージから削除する必要があります。「証明書を消去」では認証情報ストレージ内のすべての証明書が削除されます。

安全サポート

お客様の身の安全をサポートする各種設定を行います。

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「安全サポート」

- 確認画面が表示された場合は、「OK」をタップし、画面の指示に従って主要連絡先を登録してください。

2 項目を設定

項目	説明
緊急時長持ちモード	→ P.144
防災生活インフォ	異常気象などの通知を受信します。
緊急メッセージを送信	緊急メッセージを送信できるようにするかどうかを設定します。
緊急ブザー	緊急ブザーを鳴らすかどうかを設定します。また、緊急ブザーの音を設定します。
主要連絡先を管理	緊急メッセージを送信する相手を設定します。 <ul style="list-style-type: none">最大で4件の主要連絡先を登録できます。

お知らせ

- 緊急メッセージを送信すると、ステータスバーに  が表示されます。緊急事態を解除するには、通知パネルで「緊急事態を通知」→「閉じる」をタップします。

省電力モード

省電力モードに関する設定をします。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「省電力」

2 項目を設定

項目		説明
省電力モード	バックグラウンドデータをブロック	操作中の機能以外によるバックグラウンドのデータ通信を停止して、電池の消費を抑えます。
	パフォーマンスの制限	電池の消費を抑えるために、タッチ操作バンプをOFFにしたり、受信通知の画面点灯時間を短くしたりするほか、CPUや機能の動作などを設定できます。
	グレースケールモード	画面表示を白黒階調に変更して、電池の消費を抑えます。
ウルトラ省電力モード		画面表示を白黒階調に変更し、使用可能なアプリの数の制限やWi-Fi、Bluetoothなどの接続の停止により電池の消費を抑えます。

ストレージ

microSDカードや本端末のメモリ容量の確認や、microSDカードの初期化をします。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ストレージ」

2 項目を確認／設定

項目		説明
システムメモリ (本体)	合計容量	本端末の合計データ容量を表示します。 合計容量の下に、アプリや画像など保存されているデータの容量がカテゴリごとに表示されます。項目をタップすると、データを確認できます。
外部SDカード	合計容量 [※]	microSDカードの合計データ容量を表示します。
	空き容量 [※]	microSDカードのメモリの空き容量を表示します。
	外部SDカードのマウント解除 [※] ／外部SDカードのマウント	microSDカードのマウントを解除／microSDカードを認識させます。
	外部SDカードを初期化 [※]	→ P.426

※ microSD カードを取り付けている場合のみ表示されます。

お知らせ

- 本端末にUSBストレージを取り付けると、対応する項目が表示されます。

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使って、本端末を活用してください。

- 入力した画面ロック用PIN / パスワード、ネットワーク暗証番号、PINコード、PINロック解除コード(PUK) は、「●」で表示されます。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ 画面ロック用PIN / パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者によるドコモminiUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となるように設定できます。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使用できなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」(PUK)を入力してロックを解除してから、PINコードの再設定を行ってください。
PINロック解除コード(8桁)を入力 → 「OK」 → 新しいPINコードを入力 → 「OK」 → 再度新しいPINコードを入力 → 「OK」をタップします。
- 機内モード設定中はPINコード入力画面が表示されず、機内モードをOFFにしたときにPINコード入力画面が表示されます。機内モード設定中はドコモminiUIMカードを本端末に取り付ける、または本端末の電源を入れるときにPINコード入力画面は表示されません。

■ PINロック解除コード (PUK)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。ロックされた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

PINコードを設定する

本端末の電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定できます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「セキュリティ」 → 「SIMカードロックを設定」 → 「SIMカードをロック」 → PINコードを入力 → 「OK」
 - ・ 「SIMカードをロック」 にチェックが付きます。

PINコードを変更する

「SIMカードをロック」(P.416) を設定している場合に、PINコードを変更できます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「セキュリティ」 → 「SIMカードロックを設定」
- 2 「SIM PINを変更」 → 画面の指示に従って現在のPINコードと新しいPINコードを入力

リモート機能を有効にする

遠隔で本端末のロック、位置確認とデータの削除ができる機能です。

- 1 Google アカウントの設定を行う
 - 2 Samsung アカウントの設定を行う
 - 画面の指示に従って設定します。
 - 既存の Samsung アカウントがある場合は、サインインしてください。
 - 3 ホーム画面で  → 「設定」 → 「セキュリティ」 → 「リモートコントロール」※
 - Samsung アカウントのパスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力 → 「確認」をタップします。
 - 説明画面が表示された場合は、「OK」をタップします。
 - 4 パソコンで Find My Mobile（端末リモート追跡）のホームページを開く
 - Find My Mobile（端末リモート追跡）のホームページについては、「Samsung アカウントについて」をご参照ください。→ P.397
 - 5 Samsung アカウントでログイン後、画面に従って設定を行う
- ※ Google アカウント、Samsung アカウントが登録されると、「リモートコントロール」は自動で ON になるため、本端末での操作は不要となります。パソコンで手順 4 から実施してください。

SIM変更アラートを有効にする

ドコモ miniUIMカードが差し替えられたときに、本端末固有の情報が指定した電話番号にSMSで自動的に送信されるように設定できます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「セキュリティ」 → 「SIM変更アラート」
- 2 Samsung アカウントを設定
 - 画面の指示に従って設定します。
 - 既存の Samsung アカウントがある場合は、サインインしてください。
 - Samsung アカウントを設定済みで、Samsung アカウントのパスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力 → 「確認」をタップします。
- 3  をタップ
- 4 「アラートメッセージ」 → SMS に表示されるメッセージを入力 → 「OK」
- 5 「作成」 → SMS の送信先電話番号を入力 → 「OK」
 - 先頭に「+」、続いて送信先の国番号を入力後、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。
 - 日本の国番号は「81」です。
 - 「連絡先」をタップすると、登録済みの連絡先から送信先を選択できます。
- 6 「保存」

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「端末情報」 → 「ステータス」

- ・ 「電話番号」 に自分の電話番号が表示されます。

アプリケーション

項目	説明
アプリケーション管理	本端末のアプリを管理します。画面上部のタブをタップすると、「ダウンロード」 / 「外部SD カード」 / 「実行中」 / 「全て」 / 「無効」（無効にしたアプリがある場合に表示）を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none">・ 「全て」タブでは、インストールされているアプリを管理できます。また、アプリを無効化して、アプリ画面に表示させないようにできます。 → P.420
標準アプリケーション	通常使うメッセージアプリを設定したり、ブラウザやホームアプリなど通常使うアプリを設定したりした場合に初期設定に戻すことができます。
通話	→P.178
連絡先	Samsungが提供する「連絡先」アプリの設定などを行います。
Eメール	→P.217

項目	説明
ギャラリー	→ P.304
ブラウザ	→ P.239
メッセージ	→ P.205
Sプランナー	→ P.331
Sボイス	→ P.345

アプリを無効化する

アプリの無効化を設定したアプリは、動作が停止し、アプリ画面に表示されなくなります。

- アンインストールとは異なります。
- アンインストールできない一部のアプリやサービスについて使用可能です。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「アプリケーション管理」 → 「全て」 タブ

2 無効化するアプリをタップ → 「無効」 → 「OK」

お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連動している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効にすることで正しく動作します。再度有効にするには、ホーム画面で  → 「設定」 → 「アプリケーション管理」 → 「無効」 タブ → 有効化するアプリをタップ → 「有効」をタップします。

ファイル管理

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）

本端末のお買い上げ時に、本体（内部ストレージ）に作成される主なフォルダは以下のとおりです。

- 本端末の操作状況によっては、表示されるフォルダが異なる場合があります。

項目	説明
Alarms	アラーム音として設定したい音楽データなどを保存します。
Android	システムや各種アプリの設定データや一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画のデータが保存されます（保存先を本端末に設定している場合）。
Documents	ドキュメントファイルが保存されます。
Download	ブラウザでダウンロードしたデータが保存されます。
Movies	動画データが保存されます。
Music	音楽データが保存されます。

項目	説明
Notifications	Google+で使われるお知らせ用ファイルが保存されます。また、通知音として設定したい音楽データなどを保存します。
Pictures	表示中の画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）した画像データが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストデータが保存されます。
Ringtones	着信音やアラーム音として設定したい音楽データなどを保存します。
Samsung	Samsung 関連サイトから取得したデータが保存されます。

お知らせ

- 「Alarms」 / 「Notifications」 / 「Ringtones」フォルダに保存したデータを削除したとき、アラーム音や通知音、着信音に設定している場合は、お買い上げ時の設定に戻ります。

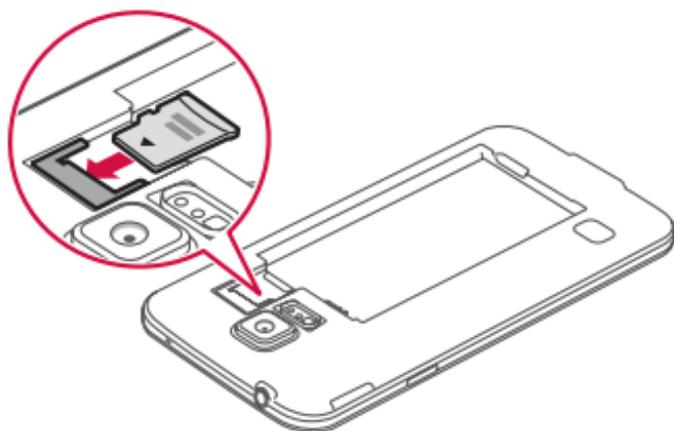
microSDカード（外部ストレージ）

本端末は、microSDカード（microSDHCカード、microSDXCカードを含む）を取り付けて使用することができます。

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードおよび128GBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2014年4月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- 本端末に対応しているmicroSDカードのスピードクラスは、最大CLASS 10です。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります（データはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。

microSDカードの取り付け

- 1 リアカバーを取り外す (P.65)
- 2 microSDカードの金属端子面を下にして、矢印の向きにmicroSDカードスロットへmicroSDカードが固定されるまで奥に差し込む

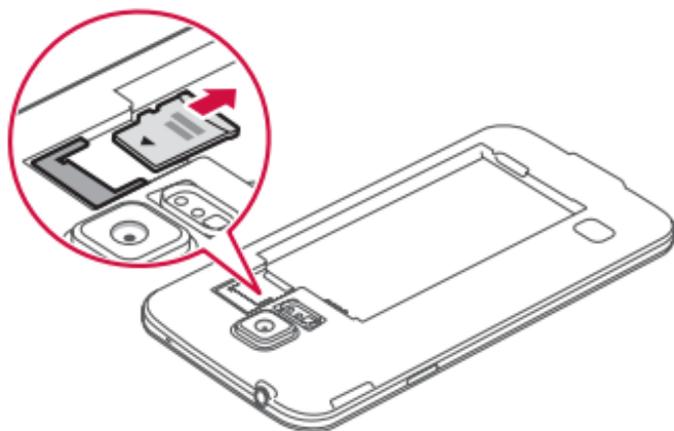


- 3 リアカバーを取り付ける (P.66)

microSDカードの取り外し

microSDカードを取り外すときは、あらかじめ「外部SDカードのマウント解除」(P.411)を行ってください。

- 1 リアカバーを取り外す (P.65)
- 2 microSDカードを矢印の向きにまっすぐ引き出す



- 3 リアカバーを取り付ける (P.66)

microSD カードを初期化する

microSD カードを初期化すると、microSD カードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ストレージ」
- 2 「外部SDカードを初期化」 → 「外部SDカードを初期化」 → 「全て削除」
 - 画面ロックの解除画面が表示された場合は、設定した解除方法を実行し、「全て削除」をタップします。

ファイル操作

ファイルやフォルダの操作

「マイファイル」を利用して、本端末やmicroSDカードやDropbox上に保存されている静止画や動画、音楽や文書などさまざまなデータの表示や管理を行います。

1 ホーム画面で → 「マイファイル」

- 各フォルダのショートカット一覧画面が表示されます。お買い上げ時は、クイック検索フォルダとして「最近使用したファイル」「画像」「動画」「オーディオ」「ドキュメント」「ダウンロード済みアプリ」のショートカットが登録されています。ショートカットは追加できます (P.428)。

2 利用したいフォルダのショートカットをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ

- フォルダ／ファイル一覧画面が表示されます。
- 利用したいショートカットがない場合やmicroSDカードに保存されているファイルを利用する場合は、「システムメモリ (本体)」(本端末) / 「SD card」(microSDカード) → 利用したいフォルダをタップします。
- フォルダ／ファイルをロングタッチするとチェックが付き、以下の項目が表示されます。

項目	説明
	ファイルをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリで使用します。

項目	説明
	フォルダ／ファイルを削除します。

- 3** 利用したいファイルをタップ
 ・ ファイルが表示／再生されます。

ショートカットを作成する

- 1 ホーム画面で  → 「マイファイル」
- 2  → 「ショートカットを追加」 → 「システムメモリ (本体)」 / 「SD card」
- 3 登録したいフォルダを選択 → 「完了」

ショートカットの名前を変更する

- 1 ホーム画面で  → 「マイファイル」
- 2 名前を変更したい  をロングタッチ →  → 名前を入力 → 「OK」

ショートカットを削除する

- 1 ホーム画面で  → 「マイファイル」
- 2 削除したい  をロングタッチ →  → 「OK」

フォルダを作成する

- 1 ホーム画面で  → 「マイファイル」
- 2 フォルダのショートカットをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
- 3  → 「フォルダ作成」 → フォルダ名を入力 → 「OK」

お知らせ

- フォルダの作成は、ローカルストレージやクラウドストレージ内および登録したショートカットのリンク先で可能です。

ファイルやフォルダの名前を変更する

- 1 ホーム画面で  → 「マイファイル」
- 2 フォルダのショートカットをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
- 3 フォルダ／ファイルをロングタッチ →  → 「名前を変更」 → 名前を入力 → 「OK」

お知らせ

- フォルダの名前の変更は、ローカルストレージやクラウドストレージ内および登録したショートカットのリンク先にあるフォルダで可能です。

ファイルやフォルダを削除する

- 1 ホーム画面で  → 「マイファイル」
- 2 フォルダのショートカットをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
- 3 フォルダ／ファイルをロングタッチ →  → 「OK」

お知らせ

- ・ フォルダの削除は、ローカルストレージやクラウドストレージ内および登録したショートカットのリンク先にあるフォルダで可能です。

ファイルやフォルダを移動／コピーする

- 1 ホーム画面で  → 「マイファイル」
- 2 フォルダのショートカットをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
- 3 フォルダ／ファイルをロングタッチ →  → 「移動」／「コピー」
- 4 移動先のフォルダを表示 → 「ここに移動」／「ここに貼付」

マイファイルのメニュー

ショートカット一覧画面、フォルダ／ファイル一覧画面で  をタップすると以下の項目が表示されます。

□ ショートカット一覧画面

項目		説明
選択 [※]		フォルダのショートカット選択画面を表示します。
削除 [※]		ショートカットを削除します。
ショートカットを追加		→ P.428
FTPサーバーを追加		FTPの設定を行います。
近くのデバイスをスキャン		メディアファイル共有機能対応機器をスキャンします。→ P.446
設定	隠しファイルを表示	隠しファイルを表示するかどうかを設定します。
	ファイル拡張子を表示	ファイル拡張子を表示するかどうかを設定します。

※ 追加したショートカットがある場合のみ表示されません。

□ フォルダ／ファイル一覧画面

項目	説明
選択 ^{※1}	表示されているフォルダ／ファイルを選択します。

項目	説明
削除 ^{※1}	フォルダ／ファイルの選択画面から削除します。
フォルダ作成 ^{※2}	フォルダを新規に作成します。
表示モード	一覧の表示方法を設定します。
並べ替え ^{※3}	一覧の表示順を変更します。
ショートカットを追加 ^{※2}	ショートカットを追加します。
設定	→ P.431

- ※1 フォルダ／ファイルがないフォルダ／ファイル一覧画面では表示されません。
- ※2 お買い上げ時に登録されているショートカット内のフォルダ／ファイル一覧画面では表示されません。
- ※3 「最近使用したファイル」のフォルダ／ファイル一覧画面では表示されません。

データ検索

- 1 ショートカット一覧画面、フォルダ／ファイル一覧画面で 
- 2 ファイル名や拡張子などを入力 → 
 - 検索されたファイルが一覧表示されます。
 -  をタップすると、詳細な検索条件を指定できます。

データ通信

Bluetooth通信

本端末とBluetoothデバイス間で、無線でデータのやりとりができます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては、「主な仕様」(P.491)をご参照ください。
- 設定や操作方法については、接続するBluetoothデバイスの取扱説明書もご覧ください。
- 本端末とすべてのBluetoothデバイスとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

Bluetooth機能使用時のご注意

1. 本端末と他のBluetoothデバイスとは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が短くなります。
2. 他の機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から約2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず約3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。
3. 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
4. Bluetoothデバイスが発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引

火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetoothデバイスの電源を切ってください。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. Bluetoothデバイスと無線LAN対応機器は、約20m以上離してください。
2. 約20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスまたは無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■ Bluetooth機能のパスコードについて

Bluetooth機能のパスコードは、接続するBluetoothデバイス同士が初めて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスコード（最大16文字の半角英数字）を入力する必要があります。

- 本端末ではパスコードを「PIN」「パスキー」と表示している場合があります。

Bluetooth機能を有効にして本端末を検出可能にする

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Bluetooth」
- 2  をタップ
- 3  をタップ
- 4 「端末の公開時間」 → 項目を選択
 - ・ 設定した公開時間内で、本端末が別のBluetoothデバイスから検出可能になります。
 - ・ 「タイムアウトなし」を選択した場合、本端末は常に別のBluetoothデバイスから検出可能な状態になります。

お知らせ

- ・ Bluetooth機能を使用しないときは、電池の消耗を防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- ・ Bluetooth機能のON / OFF設定は、電源を切っても変更されません。
- ・ 「(本端末のデバイス名称)」にチェックを付けると、他のBluetoothデバイスに本端末が表示されるようになります。
- ・ 「スキャン」をタップすると他のBluetoothデバイスを再検索します。
- ・  → 「受信済みファイル」をタップすると受信したファイルを表示します。
- ・  → 「デバイス名称を変更」をタップすると本端末のデバイス名称を変更できます。
- ・  → 「ヘルプ」をタップするとBluetooth機能のヘルプを表示します。

他のBluetoothデバイスとペアリング／ 接続する

本端末と他のBluetoothデバイスをBluetooth機能で接続し、データのやりとりを行うには、あらかじめ他のデバイスとペアリング（接続設定）を行い、本端末に登録後、接続を行います。

- Bluetoothデバイスによって、ペアリングのみ行うデバイスと接続までを続けて行うデバイスがあります。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Bluetooth」

2  をタップ

- 検出されたBluetoothデバイスが一覧表示されます。
- Bluetoothデバイスが表示されない場合は、「スキャン」をタップして再度検索します。

3 接続したいデバイスをタップ

4 パスコードを確認またはパスコード（PIN）を入力 → 「OK」

- ペアリング時にパスコードが必要なデバイスの場合も一度ペアリングを行うと、次回の接続時にはパスコードの入力は不要になります。

他のデバイスからペアリング要求を受けた場合

Bluetooth通信のペアリングを要求する画面が表示された場合は、必要に応じて「OK」またはパスコード（PIN）を入力 → 「OK」をタップします。

接続を解除する場合

Bluetoothデバイスの一覧表示で、接続中のデバイスをタップ → 「OK」をタップします。

ペアリングを解除する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Bluetooth」
- 2  をタップ
- 3 ペアリングを解除したいデバイスの  → 「ペアリングを解除」

Bluetooth機能でデータを送受信する

- あらかじめ本端末のBluetooth機能をONにし、検出可能にしてください。

Bluetooth機能でデータを送信する

連絡先（vcf形式の連絡先データ）、静止画、動画などのファイルを、他のBluetoothデバイス（パソコンなど）に送信できます。

- 送信は各アプリの「共有」「送信」などのメニューから行ってください。

Bluetooth機能でデータを受信する

1 「ファイル転送」画面が表示されたら、「承認」

- ステータスバーに  が表示され、データの受信が開始されます。
- 通知パネルで受信状態を確認できます。
- 受信が完了したら通知パネルを開き、「Bluetooth共有：受信」をタップすると、受信したデータの一覧が表示されます。表示／再生したいデータをタップすると、受信したデータを確認することができます。

NFC通信

NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。本端末のリーダー／ライター機能(R/W)や機器間通信機能（P2P）を利用して、本端末をNFCタグに近づけてデータを受信したり、NFCモジュールを搭載した他の機器とデータの送受信をしたりすることができます。

- ・ 対向機にかざす際の注意事項については、P.250をご覧ください。

NFCのReader / Writer, P2PをONにする

NFCを搭載した携帯電話などの機器との間でデータを送受信するには、Reader / Writer, P2P機能をONにする必要があります。

- ・ 「Android Beam」をONにすると、P2P機能を搭載した他の対応端末との間で、ウェブページや連絡先などのコンテンツを送受信できます。
- ・ 「S Beam」をONにすると、S Beam対応端末との間でP2P機能とWi-Fi Direct機能を利用して、静止画や動画、ドキュメントなどのファイルを送受信できるようになります。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「その他ネットワーク」 → 「NFC / おサイフケータイ」

2 「Reader/Writer, P2P」の をタップ

- Android Beamを利用する場合は、「Android Beam」の  をタップします。
- S Beamを利用する場合は、「S Beam」の  をタップします。

データを送受信する

1 本端末／相手機器で送信するコンテンツを表示

2 本端末と相手機器の マークを近づける

- ソフトウェア利用許諾契約書が表示された場合は、画面の指示に従ってICタグ・バーコードリーダーの利用開始操作を行ってください。

3 本端末の画面をタップ／相手機器からコンテンツの送信操作を行う

- コンテンツが送信／受信されます。
- アプリの選択画面が表示された場合は、利用するアプリを選択してください。

お知らせ

- 本端末と相手機器から同時にコンテンツの送信操作を行うと、送信が正しく動作しない場合があります。
- 画面ロックの設定中は、NFCタグ情報の送受信はできません。
- NFC /おサイフケータイ ロックを設定している場合は、Android Beamを利用できません。
- アプリによってはAndroid Beamをご利用になれません。
- すべてのReader / Writer, P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

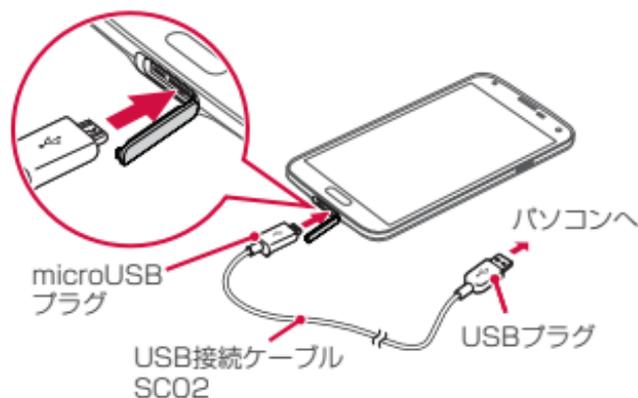
外部機器接続

パソコンとの接続

USB接続ケーブル SC02で接続する

本端末とパソコンを付属のUSB接続ケーブル SC02で接続すると、パソコンの「Samsung Kies」(P.442)とデータを同期したり、本端末をメディアデバイスとして認識(P.443)させたりできます。

- 1 本端末の外部接続端子キャップを開く
(P.52)
- 2 本端末の外部接続端子の右側に、USB接続ケーブル SC02のmicroUSBプラグを差し込み、本端末をパソコンに接続
 - ・ microUSBプラグは、の印刷面を上にして水平に差し込みます。



お知らせ

- USB 接続ケーブル SC02のUSB プラグはパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USB HUBやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- データ転送中にUSB 接続ケーブル SC02 を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- 接続可能なOSは、Windows Vista、Windows 7、Windows 8です。

Samsung Kies を利用する

Samsung Kiesを利用して、音楽や動画などのメディアファイルや個人情報を管理したり、本端末のソフトウェアを更新したりできます。

- Samsung KiesはSamsungのホームページからダウンロードして、パソコンにインストールします。詳細については、Samsungのホームページをご覧ください。

<http://www.samsung.com/jp/support/usefulsoftware/KIES/JSP>

1 本端末とパソコンをUSB 接続ケーブル SC02で接続

- 接続方法については、「USB 接続ケーブル SC02で接続する」(P.441) をご参照ください。

2 パソコンで「Samsung Kies」を起動

- Samsung Kiesの使いかたについては、ヘルプメニューの「Kiesチュートリアル」をご覧ください。

メディアデバイスとして使用する

本端末とパソコンを付属のUSB接続ケーブル SC02で接続すると、本端末がメディアデバイス (MTP) として認識され、音楽や動画などのメディアファイルを転送できます。

1 本端末とパソコンをUSB接続ケーブル SC02で接続

- 接続方法については、「USB接続ケーブル SC02で接続する」(P.441) をご参照ください。

2 通知パネルを開く → 「メディアデバイスとして接続」と表示されていることを確認

- 「カメラとして接続」と表示されている場合は、「カメラとして接続」→「メディアデバイス (MTP)」にチェックを付けます。

3 パソコンを操作して本端末とパソコン間でデータを転送

カメラデバイスとして使用する

本端末とパソコンを付属のUSB接続ケーブル SC02で接続してカメラ（PTP）モードにすると、本端末で撮影した静止画や動画をパソコンに転送できます。

- カメラ（PTP）モードは、MTP非対応のパソコンなどにデータを転送する場合に使用します。

1 本端末とパソコンをUSB接続ケーブル SC02で接続

- 接続方法については、「USB接続ケーブル SC02で接続する」（P.441）をご参照ください。

2 通知パネルを開く → 「メディアデバイスとして接続」 → 「カメラ（PTP）」にチェックを付ける

3 パソコンを操作して本端末とパソコン間でデータを転送

プリンターとの接続

Wi-Fi機能やUSB接続を利用して本端末に対応しているプリンターで印刷できます。

- Wi-Fi機能を使用する場合は、あらかじめ無線LAN (Wi-Fi) およびプリンター側の設定を行ってください。
- Wi-Fi機能を使用する場合は、本端末とプリンターは、同一のWi-Fiネットワークに接続されているか、Wi-Fi Directで接続している必要があります。
- USB接続を使用する場合は、対応している接続ケーブルにつきましては、プリンターの取扱説明書をご確認ください。

プリンターで印刷する

- 1** 印刷可能なアプリの画面で  → 「印刷」
 - 確認画面が表示された場合は、「OK」をタップします。
 - プリンターの選択画面が表示されます。
- 2** 使用するプリンターをタップ
 - プリンターの設定画面が表示されます。
- 3** 各項目を設定 → 「Start Print」

お知らせ

- プリンターの種類によって、設定画面に表示される項目は異なります。

メディアファイル共有機能対応機器との接続

同じWi-Fiネットワークに接続している他のメディアファイル共有機能対応機器と、メディアファイルを共有することができます。

- 本機能を利用する場合は、あらかじめ本端末とメディアファイル共有機能対応機器を、同じWi-Fiネットワークに接続してください。
- 本機能は、すべてのメディアファイル共有機能対応機器との接続を保証するものではありません。
- 本端末はDTCP-IPに対応しています。ただし、すべてのDTCP-IP対応機器との接続を保証するものではありません。
- 本機能は、メディアファイル共有機能対応機器に保存されたすべてのメディアファイルの再生を保証するものではありません。

近くのデバイスを設定する

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「近くのデバイス」

2 項目を設定

項目		説明
デバイス名称		本端末のデバイス名称が表示されます。
詳細設定	共有コンテンツ	共有するコンテンツを選択します。
	許可デバイス	本端末にアクセス可能な機器リストを表示します。
	拒否デバイス	本端末にアクセス不可の機器リストを表示します。
	ダウンロード先	他の機器から本端末にアップロードしたメディアファイルの保存先を設定します。
	他の端末からダウンロード	メディアファイルをアップロードしたときの本端末の動作を設定します。

お知らせ

- 許可デバイス／拒否デバイスに追加されているデバイスを削除するには、「許可デバイス」／「拒否デバイス」→ 削除するデバイスにチェックを付ける → 「削除」をタップします。

本端末にアクセスする他の機器を登録する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「近くのデバイス」
- 2  をタップ
 - 他の機器からのアクセスを許可するかどうかの確認画面が表示された場合は、手順4へ進んでください。
 - ステータスバーに  が表示されます。
- 3 アクセスする機器から本端末への接続操作を行う
 - アクセスを許可するかどうかの確認画面が表示されます。
- 4 「OK」
 - アクセスした機器と接続され、許可デバイス (P.447) に機器が追加されます。
 - 「キャンセル」をタップするとアクセスを拒否します。拒否デバイス (P.447) に機器が追加されます。
- 5 アクセスした機器から再生の操作を行う

MHL 接続でテレビに表示

本端末とHDMI端子付きテレビを接続して、テレビに動画、画像などを表示します。

- 本端末とHDMI端子付きテレビを接続するにはHDMI端子（TypeA）に対応したHDMIケーブル（市販品）とHDMI変換ケーブル SC03（別売）が必要です。また、MHLに対応したテレビとはMHLケーブル（市販品）を使用することで接続できます。
- すべてのHDMI対応機器との動作を保証するものではありません。

1 HDMIケーブルとHDMI変換ケーブルを接続

- HDMI変換ケーブルの接続方法についてはHDMI変換ケーブルの取扱説明書をご覧ください。

2 テレビのHDMI端子にHDMIケーブルを接続

- HDMI端子への接続方法や入力の切り替え、音量の調整などについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。

3 本端末の外部接続端子にHDMI変換ケーブルを接続

- テレビ表示中にHDMI変換ケーブルが抜けた場合、一定時間接続待機状態になります。

お知らせ

- HDCP非対応テレビと接続した場合、映像・音声は正しく出力されません。また、コンテンツによってはコンテンツプロバイダから外部出力を禁止されていたり、性能上の問題から、外部出力が抑止されていたりする場合があります。
- MHL出力開始時、接続するテレビによっては入力が切り替わらず映像が表示されない場合があります。その場合、テレビの表示設定を変更してください。
- HDMIケーブルを接続中に、HDMIケーブルを持って本端末を持ち上げないでください。
- テレビに表示しないときは、HDMIケーブルを取り外してください。
- MHL接続利用時には、お客様の利用環境によって電波状況に影響が出る場合があります。

海外利用

国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

■ 対応ネットワークについて

本端末は、クラス5になります。LTEネットワークおよび3Gネットワーク、GSM / GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz / GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

■ 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください

- 『ご利用ガイドブック (国際サービス編)』
- ドコモの「国際サービスホームページ」

お知らせ

- ・ 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック (国際サービス編)』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

(○：利用可能)

主な通信サービス	3G	3G850	GSM (GPRS)	LTE
電話	○	○	○	× ^{※2}
SMS	○	○	○	○
メール ^{※1}	○	○	○	○
ブラウザ ^{※1}	○	○	○	○

- ※1 ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングの設定をONにしてください (P.455)。
※2 電話は3Gでのご利用となります。

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でご利用いただく際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

- 海外旅行で充電する際のACアダプタは、別売の「ACアダプタ 03」または「ACアダプタ 04」をご利用ください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

■ ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作（有料）」の設定を行うこともできます。日本国内から（P.179）、海外から（P.181）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

「ネットワークオペレーター」の設定で「利用可能なネットワーク」を「自動選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

■ データローミングの設定

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「その他ネットワーク」 → 「モバイルネットワーク」
- 2 「データローミング」 → 注意画面の内容を確認して「OK」

■ 通信事業者の設定

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「その他ネットワーク」 → 「モバイルネットワーク」 → 「ネットワークオペレーター」
 - ・ 利用可能なネットワークを検索して表示します。
 - ・ ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、「モバイルデータ」のチェックを外して再度実行してください。(P.348)
- 2 通信事業者のネットワークを選択

■ ネットワークモードの設定

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「その他ネットワーク」 → 「モバイルネットワーク」 → 「ネットワークモード」
- 2 「LTE／3G／GSM(自動)」／「LTE／3G」／「3G／GSM」／「3Gのみ」／「GSMのみ」

■ ディスプレイの表示について

- ・ ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。

アイコン	ネットワークの種類
 / 	国際ローミング中（電波状態弱／強）
 / 	GPRS 使用可能／通信中
 / 	3G（パケット）使用可能／通信中
 / 	HSDPA 使用可能／通信中
 / 	LTE 使用可能／通信中

- ・ 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

■ 日付と時刻について

「日付と時刻」の「自動日時設定」「自動タイムゾーン」にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われなかった場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは、海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」(P.401)

■ お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」を「LTE / 3G / GSM (自動)」に設定してください (P.456)。
- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定してください (P.455)。

試供品

- ・ 試供品は無料修理保証の対象外です。
- ・ 試供品の仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

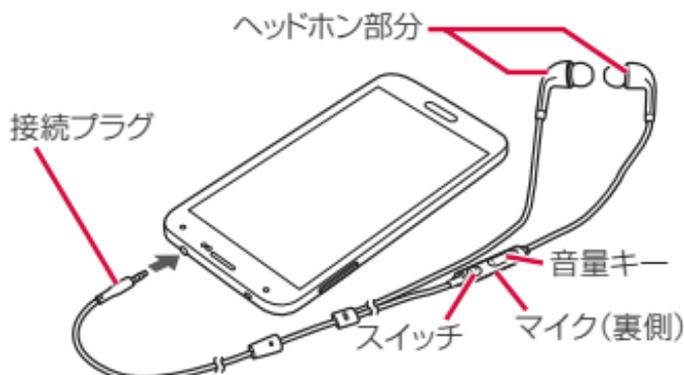
マイク付ステレオヘッドセット

- ・ 本端末には、マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を使用してください。他のイヤホンマイクなどを使用した場合、音楽の再生音などが聞こえにくくなる場合があります。

ご使用方法

- 1** **マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込む**
 - ・ ホーム画面などを表示中にスイッチを押すと、以下の操作ができます。
 - 音楽の再生／一時停止
 - 電話を受ける／終了する
 - ・ ホーム画面などを表示中にスイッチを1秒以上押すと、Sボイスを起動して操作することができます。
 - ・ 音量キーを押すと、音量を調節できます。
 - ・ 接続プラグを奥まで確実に差し込んでください。途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。
 - ・ マイク付ステレオヘッドセットのコードが本人や

周囲の人、物にからまないよう注意してご使用ください。



- 使い終わったら、接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子から水平に引き抜きます。

■ イヤピースのサイズが合わないときは

マイク付ステレオヘッドセットには、あらかじめ取り付けられているイヤピース以外に、サイズの異なる2種類のイヤピースが付属しています。サイズが合わないと感じたときは、交換してください。

主な仕様

コネクタ形状	3.5mmステレオミニプラグ
インピーダンス	32Ω
最大入力	40mW (1.13V)
最大出力	94+/- 3dB
サイズ	長さ 約1260mm
質量	約12.7g

トラブルシューティング (FAQ)

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください (P.488)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

□ 電源

症状	チェック項目
本端末の電源が入らない (本端末が使えない)	<ul style="list-style-type: none">• 電池パックが正しく取り付けられていますか。 → P.65• 電池切れになっていませんか。 → P.72
画面が動かない、電源が切れない	<ul style="list-style-type: none">• 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に \square と音量キーの下側を8~10秒間押すと、強制的に再起動することができます。 ※ 強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

□ 充電

症状	チェック項目
充電ができない（通知LEDが点灯しない、または点滅する）	<ul style="list-style-type: none">• 電池パックが正しく取り付けられていますか。 → P.65• アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。• アダプタ、付属のUSB接続ケーブル SC02と本端末が正しくセットされていますか。• 付属のUSB接続ケーブル SC02をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。• 卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。• 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して通知LEDが点滅する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

□ 端末操作

症状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	<ul style="list-style-type: none">• 操作中や充電中、また、充電しながらアプリやワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなる場合がありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	<ul style="list-style-type: none">• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。• 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。• 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。
電源断・再起動が起きる	<ul style="list-style-type: none">• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

症状	チェック項目
タッチスクリーンをタップしても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 画面ロックが設定されていませんか。 [] / [] を押して画面ロックを解除してください。 → P.75、P.381
タッチスクリーンをタップしたときの画面の反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末と microSD カードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。 保護シートが貼られていませんか。保護シートによって動作が認識されにくくなる場合があります。
ドコモ miniUIM カードが認識されない	<ul style="list-style-type: none"> ドコモ miniUIM カードを正しい向きで挿入していますか。 → P.62
時計がずれる	<ul style="list-style-type: none"> 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「自動日時設定」が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。 → P.401

症状	チェック項目
<p>端末動作が不安定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモード（お買い上げ時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> - セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から ⏻ を2秒以上押し、docomoのロゴが消えたあと、音量キーの下側を押し続けてください。 ※ セーフモードが起動すると画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。 - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 - お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 - セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常はセーフモードを終了してご利用ください。

症状	チェック項目
<p>本端末の動作が遅くなった／プログラムの動作が不安定になった／一部のプログラムを起動できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本端末の端末内部メモリの使用状況を確認し、実行中のプログラムを終了するなどして、メモリの空き容量を確保してください。 → P.142
<p>データが正常に表示されない／タッチスクリーンを正しく操作できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直してください。電源を入れ直しても問題が解決しないときは、「工場出荷状態に初期化」(P.394)を実行すると問題が改善される場合があります。ただし、本端末に保存されたすべてのデータが削除されるため、必要なデータを事前にバックアップした上で実行してください。
<p>アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。→ P.420

□ 通話

症状	チェック項目
電話発信キーをタップしても発信できない	<ul style="list-style-type: none">ドコモminiUIMカードが正しく本端末に取り付けられていますか。→ P.62機内モードを設定していませんか。→ P.360
着信音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none">マナーモード（サイレント、バイブ）に設定していませんか。→ P.375「着信音」を「サイレント」にしていませんか。→ P.377「音量」の「着信音」の音量を0にしていませんか。→ P.376「自動着信拒否モード」を「全ての着信」または「自動着信拒否番号」に設定していませんか。→ P.181機内モードに設定していませんか。→ P.360留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。→ P.178伝言メモの応答時間を「0秒」にしていませんか。→ P.175

症状	チェック項目
<p>通話ができな い（場所を移動 しても「圏外」 の表示が消え ない、電波の状 態は悪くない のに発信また は着信ができ ない）</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 電源を入れ直すか、電池パックま たはドコモminiUIMカードを取り 付け直してください。 → P.62、P.65、P.74 • 電波の性質により、圏外ではない、 電波が強クアンテナマークが4本 表示されている状態（)でも、 発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直して ください。 • 「自動着信拒否モード」を設定し ていませんか。→ P.181 • 電波の混み具合により、多くの人 が集まる場所では電話やメールが 混み合い、つながりにくい場合が あります。その場合は「しばらく お待ちください（音声サービス） ／しばらくお待ちください（デー タサービス）」と表示され、話中 音が流れます。場所を移動するか、 時間をずらしてかけ直してくださ い。
<p>ネットワーク に接続できな い</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 電波の弱い場所で使用していませ んか。 • 本端末の電源を入れ直すことで回 復することがあります。 → P.74

□ 画面

症状	チェック項目
ディスプレイが暗い	<ul style="list-style-type: none">・ 「画面のタイムアウト」で設定した時間を経過していませんか。 → P.370・ ディスプレイの明るさを調整していませんか。 → P.378・ 省電力モードを設定していませんか。 → P.410・ 「画面トーンの自動調整」にチェックが付いていませんか。チェックが付いている場合は表示されている画像によって画面のトーンが調整されます。 → P.370・ 電池残量が少なくなっていないか。 → P.402

□ 音声

症状	チェック項目
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	<ul style="list-style-type: none">・ 通話音量を変更していませんか。 → P.169、P.172

□ メール

症状	チェック項目
メールを自動で受信しない	<ul style="list-style-type: none">• 「Eメールを同期」のチェックを外していませんか。チェックを付けてください。→ P.213• 「同期スケジュール」を「手動」に設定していませんか。同期スケジュールを設定してください。→ P.213
添付ファイルが削除されて画像を見ることができない	<ul style="list-style-type: none">• 「受信サイズの制限」を確認してください。→ P.213

□ カメラ

症状	チェック項目
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	<ul style="list-style-type: none">カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。人物を撮影するときは、顔検出機能を設定してください。→ P.289写真手振れ補正、動画手振れ補正をONにして撮影してください。→ P.288、P.289
カメラを起動しようとするときエラーメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none">電池残量を確認してください。→ P.402メモリの空き容量を確認してください。→ P.411⏻を1秒以上押して端末オプション画面を表示し、「再起動」をタップして本端末を再起動してください。

□ ワンセグ

症状	チェック項目
ワンセグの視聴ができない	<ul style="list-style-type: none">地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。エリア情報設定をしていますか。→ P.278

□ おサイフケータイ

症状	チェック項目
おサイフケータイが使えない	<ul style="list-style-type: none">• 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、NFC / おサイフケータイ ロックの設定にかかわらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。• NFC / おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→ P.251• 本端末の  マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→ P.250

□ 海外利用

症状	チェック項目
海外で本端末が使えない	<ul style="list-style-type: none">■ アンテナマークが表示されている場合<ul style="list-style-type: none">• WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。■ 圏外が表示されている場合<ul style="list-style-type: none">• 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。• ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 「ネットワークモード」を「LTE / 3G / GSM（自動）」に設定してください。→ P.456 「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定してください。→ P.455• 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→ P.74

症状	チェック項目
海外でデータ通信ができない	<ul style="list-style-type: none"> データローミング設定をONにしてください。→ P.455
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	<ul style="list-style-type: none"> 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
海外で電話がかかってこない	<ul style="list-style-type: none"> 「ローミング時着信規制」を「規制開始」に設定していませんか。→ P.180
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

□ データ管理

症状	チェック項目
データ転送が行われない	<ul style="list-style-type: none">• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	<ul style="list-style-type: none">• microSDカードを取り付け直してください。 → P.424
画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">• 未対応の画像データの場合は「マイファイル」に□が表示されます。
端末をパソコンに接続しても動作しない	<ul style="list-style-type: none">• Samsung KiesまたはWindows Media Player 10以上をパソコンにインストールしてください。

Bluetooth機能

症状	チェック項目
Bluetoothデバイスと接続ができない／サーチしても見つからない	<ul style="list-style-type: none">Bluetoothデバイス（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みのデバイスを削除後、再度登録する場合は、デバイスと本端末の双方で登録されているデバイスを削除してから登録してください。
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	<ul style="list-style-type: none">相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

□ 地図・GPS機能

症状	チェック項目
オートGPSサービス情報が設定できない	<ul style="list-style-type: none">• 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。「低電力時動作設定」により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、「オートGPS」の「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります。→ P.67、P.383• 「オートGPS」の「オートGPS動作設定」がOFFになっていませんか。→ P.383

エラーメッセージ

エラー メッセージ	説明／対処方法	参照先
XXXX (XXXX) が 予期せず中 止しました。 ／XXXX (XXXX) は停 止しました。*	本端末や機能にエラーが発生したときに表示されます。「強制終了」／「OK」をタップしてから再度操作してください。	—
機内モードが ONです。通 話するために、 機内モードを OFFにします か？	機内モードを設定した状態で電話をかけようとしたときに表示されます。機内モードをOFFにしてから再度操作してください。	P.360
モバイルネッ トワークは利 用できません。	ドコモminiUIMカードが正しく取り付けられていません。ドコモminiUIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください。	P.62
しばらくお待 ちください(音 声サービス) ／しばらくお 待ちください (データサービ ス)	通話・通信回線においてアクセスが集中しているため、通信規制がかかっているときに表示されます。規制が解除されてから再度操作してください。	—

エラー メッセージ	説明／対処方法	参照先
<p>空き容量低下 端末の空き容 量が低下して います。この ままご使用に なられると一 部機能やアプ リケーション が動作しない 場合があります。 不要なデー タやアプリを 削除してくだ さい。</p>	<p>システムメモリ（本体）の 空き容量が低下したときに 表示されます。このままご 使用になられると一部機能 やアプリが動作しない場合 があります。アプリやメディ アコンテンツなどのデータ を削除して、空き容量を確 保してください。</p>	<p>P.155 P.430</p>
<p>ソフトウェア を更新でき ません。ネッ トワークまた はサーバーエ ラーが発生し ました。後程 お試しいた だくか、PC のSamsung Kiesを使用し て端末を更新 してください。</p>	<p>サーバーとの通信に失敗し ました。しばらく時間をお いてから操作をやり直す か、「Samsung Kies」を 使ってお試しください。</p>	<p>P.488</p>

エラー メッセージ	説明／対処方法	参照先
カメラを起動 できませんで した。	カメラの起動に失敗したと きに表示されます。しばらく 時間をおいてから操作を やり直すか、本端末の電源 を入れ直してください。	P.74 P.285
ビルトインア プリを無効 にすると、他 のアプリでエ ラーが発生す る原因になり ます。	アプリを無効化すると、無 効化されたアプリと連動し ている他のアプリが正しく 動作しない場合があります。 「OK」をタップして 無効化し、他のアプリが正 しく動作しなくなった場合 は、アプリを有効化してく ださい。	P.420
ユーザーメモ リ（本体）が 破損しました。 再初期化が必 要です。	システムメモリ（本体）が 損傷した可能性があるとき に表示されます。「工場出 荷状態に初期化」を実行す ると問題が改善する場合が あります。ただし、本端末 に保存されたすべてのデー タが削除されるため、必要 なデータを事前にバック アップした上で実行してく ださい。	P.394

エラー メッセージ	説明／対処方法	参照先
ブラウザは停止しました。	ブラウザにエラーが発生したときに表示されます。「OK」をタップし、しばらく時間をおいてから操作をやり直してください。	P.230
証明書が見つかりません	SSLを利用したウェブページから要求される証明書が、本端末にない場合に表示されます。対応する証明書を本端末にインストールしてください。	—
証明書ベースの認証に失敗しました	SSLを利用したウェブページから証明書を要求されていますが、本端末に保存されている証明書では承認されない場合などに表示されます。対応する証明書を本端末にインストールしてください。	—

※ XXXXには、エラーが発生したアプリや機能の名称などが表示されます。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 スマートフォン遠隔サポートセンター

 0120-783-360

受付時間 午前9:00～午後8:00(年中無休)

へ電話

- 本端末からスマートフォン遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で  → 「遠隔サポート」 → 「このスマートフォンから発信する」 → 「ダイヤル」 / 「電話」 → 「毎回」 / 「今回のみ」をタップして発信操作を行います。

2 ホーム画面で → 「遠隔サポート」

- 初めてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 「遠隔サポートの接続画面に進む」 → 「同意する」

4 ドコモからご案内する接続番号を入力

5 接続後、遠隔サポートを開始

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※ 本端末はケータイデータお預かりサービスをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ヘッドホン接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後4年間を基本としております。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、裏表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ディ스플레이部やキー部にシールなどを貼る
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
 - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。

- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。
キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使いなくなることがありますので、ご注意ください。
使用箇所：スピーカー、受話口、外側カメラ、バイブレータ部分（ドコモminiUIMカードスロット上部付近）
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

インターネット上のダウンロードサイトから本端末の更新ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。ソフトウェア更新には、本端末で直接ネットワークに接続して行う方法と、パソコンにインストールした「Samsung Kies」(P.442) を使って行う方法の2種類があります。

ソフトウェア更新についての注意事項

ソフトウェア更新は本端末に保存されているデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。万が一のトラブルに備え、本端末内のお客様情報やデータは、バックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし一部バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

- ソフトウェア更新の前に以下の準備を行ってください。
 - 本端末で実行中のすべてのプログラムを終了する (P.142)
 - 本端末を充電 (P.72) し、電池残量を十分な状態にする
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗し、操作できなくなることがあります。

- 本端末で直接ネットワークに接続してソフトウェア更新を行う場合は、電波状態の良い所で、移動せずに行うことをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、更新ファイルのインストール）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新ファイルのインストール中は、電話の発着信を含めすべての機能を利用できません。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

本端末だけで更新する

本端末でネットワークに接続して本端末のソフトウェアを更新できます。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「端末情報」 → 「ソフトウェア更新」

2 「今すぐ更新」

- Wi-Fi接続時のみファイルのダウンロードを許可する場合は、「Wi-Fiのみ」にチェックを付けます。

3 画面の指示に従って操作

- アップデートするファイルが正常にダウンロードされた後、アップデートするように操作を行うと、端末が再起動され、アップデートが開始されます。アップデート中には電話などの機能を使用できません。

お知らせ

- ソフトウェアをダウンロードしたあと、インストール続行の確認画面で以下の操作を行うと、インストールの実行を延期できます。
 - 「ソフトウェア更新予約」にチェックを付ける
→ 「インストール」 → インストール時刻を設定
→ 「OK」をタップする
 -  をタップする、または  を押してホーム画面に戻る

延期した場合でも、以下の操作でインストールをすぐに開始できます。

- ホーム画面で  → 「設定」 → 「端末情報」 → 「ソフトウェア更新」 → 「今すぐ更新」
 - 通知パネルを開く → 「ソフトウェア更新」 → 「インストール」
- アップデートの内容によっては、利用できるネットワークが制限される場合があります。

主な仕様

□ 本体

品名	SC-04F	
サイズ	高さ：約142mm、 幅：約73mm、 厚さ：約8.3mm (最厚部：約9.6mm)	
質量	約147g (電池パック装着時)	
メモリ	ROM 32GB ^{※1} RAM 2GB	
連続待受時間	FOMA / 3G	静止時 (自動)：約500時間
	LTE	静止時 (自動)：約440時間
	GSM	静止時 (自動)：約440時間
連続通話時間	FOMA / 3G	約1020分
	GSM	約700分
充電時間	ACアダプタ 04 (別売)	約125分 (卓上ホルダ SC07使用時：約125分)
	ACアダプタ 03 (別売)	約190分 (卓上ホルダ SC07使用時：約190分)
	DCアダプタ 04 (別売)	約120分
	DCアダプタ 03 (別売)	約220分

画面部分	種類	有機EL (Full HD Super AMOLED)
	サイズ	約5.1 inch
	発色数	16,777,216色
	解像度 (ピクセル数)	横1080ピクセル× 縦1920ピクセル Full HD
撮像素子	種類	外側：高解像度裏面照射型 CMOS 内側：裏面照射型CMOS
	サイズ	外側：1/2.6 inch 内側：1/8.0 inch
カメラ有効画素数		外側：約1600万画素 内側：約210万画素
記録画素数（最大時）		外側：約1590万画素 内側：約210万画素
デジタルズーム		最大約4.0倍（30段階）
音楽再生	Windows Media Audio (WMA) ファイル	連続再生時間約3150分 (バックグラウンド再生対応)
	MP3 ファイル	連続再生時間約4086分 (バックグラウンド再生対応)
ワンセグ連続視聴時間		約600分

ワンセグ録画時間	SC-04F (本体) : 最長約 153 時間 (1 件あたり 約 12 時間) microSD カード (1GB) : 約 6 時間	
モバキャスト連続視聴時間	約 410 分	
表示言語	日本語 / 英語 / 韓国語	
入力言語 (文字入力・ 音声入力)	文字入力 : 日本語 / 英語 / 韓 国語 音声入力 : Google 音声入力 による	
ヘッドホン接続端子	3.5 φイヤホンジャック	
	極数	4 極
無線 LAN	IEEE802.11a/b/g/n ^{*2} /ac ^{*2} 準拠 (IEEE802.11n 周波数 帯 : 2.4GHz / 5GHz)	
Bluetooth 機能	対応バー ジョン ^{*3}	Bluetooth 標準規格 Ver. 4.0
	出力	Bluetooth 標準規格 Power Class 1
	見通し通 信距離 ^{*4}	約 10m 以内

Bluetooth 機能	対応プロ ファイル ^{※5}	Object Push Profile (OPP) Headset Profile (HSP) Hands-Free Profile (HFP) Advanced Audio Distribution Profile (A2DP) Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP) Serial Port Profile (SPP) Phone Book Access Profile (PBAP) Human Interface Device Profile (HID) Personal Area Networking Porfile (PAN) ^{※6} SIM Access Profile (SAP) Message Access Profile (MAP)
-----------------	----------------------------	---

- ※1 Android OSやお買い上げ時に搭載されているアプリの保存にも使用されているため、実際に使用できる容量とは異なります。
- ※2 MIMOに対応しています。
- ※3 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、BluetoothSIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※4 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
- ※5 Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
- ※6 PAN User (PANU) 機能のみをサポートします。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。
 なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくても電子メールを作成したり、アプリを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、本端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

□ 電池パック

品名	電池パック SC13
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.85V
公称容量	2800mAh

□ 卓上ホルダ

品名	卓上ホルダ SC07
入力	5.0V 1.8A
出力	5.0V 1.8A

ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	MP4	mp4

本端末でOffice文書などを閲覧できます。
対応している種類とバージョンは以下のとおりです。

種類	バージョン／拡張子
Microsoft Word	MS Word 97-2013 (.doc、.docx、.dot、.dotx、.rtf)
Microsoft Excel	MS Excel 97-2013 (.xls、.xlsx、.xlt、.xltx、.csv)
Microsoft Power Point	MS PowerPoint 97-2013 (.ppt、.pptx、.pps、.ppsx、.pot、.potx)
Adobe PDF	V1.2-V1.7 (.pdf)
Hansoft Hangul	HWP 97-3.0、2002-2010 (.hwp)
Text	(.txt、.asc)

静止画の撮影枚数（目安）

撮影サイズ	SC-04F （本体）※	microSDカード （1GB）
8M（3264 × 2448）	最大約 10,000枚	最大約400枚

ファイルサイズが2.5MBの場合の撮影枚数です。

※ お買い上げ時の保存可能枚数です。

動画の撮影時間（目安）

撮影サイズ	SC-04F （本体）※	microSDカード （1GB）
640 × 480	最大約900分 （1件あたり最大 約60分）	最大約35分 （1件あたり最大約 35分）

※ お買い上げ時の録画可能時間です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）など について

携帯電話の比吸収率（SAR）

この機種 [SC-04F] の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するように設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.185W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.234W/kg（※2）です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。

このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認してい

ます。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

SAMSUNGのホームページ

<http://www.samsung.com/sar/sarMain.do>

→ Location欄で「Japan」→ Language欄で「Japanese」→ Phone Model欄で「SC-04F」→ 「Go」→ search resultsの欄のリンクをクリック

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 Xi/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みません。

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 1.15 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.84 W/kg.

Body-worn operation

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of

<http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after searching on FCC ID A3LSWDSC04F.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at <http://www.ctia.org/>.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.539 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide. In this case, the highest tested SAR value is 0.319 W/kg.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

Declaration of Conformity

Product details

For the following

Product : GSM WCDMA LTE BT/WiFi
Mobile Phone
Model(s) : SC-04F



Declaration & Applicable standards

We hereby declare, that the product above is in compliance with the essential requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC) by application of:

SAFETY EN 60950-1:2006 + A11:2009 + A1:2010 + A12:2011

SAR	EN 50360 : 2001 / A1:2012	EN 50566 : 2013
	EN 62209-1 : 2006	EN 62209-2 : 2010
	EN 62479 : 2010	

EMC	EN 301 489-1 V1.9.2 (09-2011)	EN 301 489-17 V2.2.1 (09-2012)
	EN 301 489-24 V1.5.1 (10-2010)	EN 301 489-3 V1.6.1 (08-2013)
	EN 301 489-7 V1.3.1 (11-2005)	

RADIO	EN 300 328 V1.8.1 (06-2012)	EN 300 440-1 V1.6.1 (08-2010)
	EN 300 440-2 V1.4.1 (08-2010)	EN 301 511 V9.0.2 (03-2003)
	EN 301 893 V1.7.1 (06-2012)	EN 301 908-1 V5.2.1 (05-2011)
	EN 301 908-1 V6.2.1 (04-2013)	EN 301 908-13 V5.2.1 (05-2011)
	EN 301 908-2 V5.4.1 (12-2012)	EN 301 908-2 V6.2.1 (10-2013)
	EN 302 291-1 V1.1.1 (07-2005)	EN 302 291-2 V1.1.1 (07-2005)

and the Directive (2011/65/EU) on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment by application of EN 50581:2012.

The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex[IV] of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

TÜV SÜD BABT, Octagon House, Concorde Way,
Fareham, Hampshire, PO15 5RL, UK ※
Identification mark: 0168

Representative in the EU

Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park
Saxony Way, Yateley, Hampshire
GU46 6GG, UK



2014.03.07

(Place and date of issue)

Stephen Colclough / EU Representative

(Name and signature of authorized person)

- ※ This is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問合せください。

知的財産権

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なお使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なお使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

- 「Xi」「Xi / クロッシィ」「FOMA」「iモード」「iアプリ」「デコメール[®]」「iコンシェル」「マチキャラ」「声の宅配便」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「おまかせロック」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「mopera U」「ビジネスmopera」「エリアメール」「spモード」「eトリセツ」「おサイフケータイ」「トルカ」「dマーケット」「dメニュー」「かざしてリンク」「フォトコレクション」「しゃべってコンシェル」「スマートフォンあんしん遠隔サポート」「あんしんスキャン」および「iコンシェル」ロゴ、「おサイフケータイ」ロゴ、「トルカ」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「eトリセツ」ロゴ、「しゃべってコンシェル」ロゴ、「スマートフォンあんしん遠隔サポート」ロゴ、「ICタグ・バーコードリーダー」ロゴ、「メディアプレイヤー」ロゴ、「ドコモバックアップ」ロゴ、「電話帳」ロゴ、「dマーケット」ロゴ、「dメニュー」ロゴ、「iD」ロゴ、「Xi」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
Copyright © [2014] ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
本製品の一部にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

ACCESS™ NetFront®

- Bluetooth® smart readyとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。



- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。



- 「モバキャス」は、株式会社ジャパン・モバイルキャスティングの商標です。
- 「NOTTV」は、株式会社mmbiの商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- iWnn® OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2014 All Rights Reserved.
- Microsoft®, Windows Media®, ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他

の国における商標または登録商標です。

- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

- ♪ はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。



- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- HP は、Hewlett-Packard Development Company L.P.の登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
 - Windows 8は、Microsoft® Windows® 8 (Windows 8、Pro、Enterprise) の略です。
 - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
 - Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate) の略です。
 - 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
 - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
 - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

あ

アカウント	395
削除	399
設定	395
明るさ	378
アクセスポイント	362
初期化	363
設定	362
アプリ画面	125, 154
アプリケーション管理	383
暗証番号	413
PINコード	414
PINロック解除コード (PUK)	415
ネットワーク暗証番号	414
安全サポート	409
位置情報サービス	322
印刷	445
ウェブブラウザ	230
おサイフケータイ	247
音量設定	376

か

海外で利用できるサービス	452
カメラ	283
カメラの設定	288
撮影画面の見かた	285

静止画の撮影	286
動画の撮影	287
画面表示の拡大／縮小	79
画面ロック	75, 381
カレンダー	331
キーボード入力	92
Samsung 日本語キーパッド	92
手書き入力キーボード	97
入力方法の切り替え	92
起動中のアプリ一覧	142
起動中のアプリの件数	142
機内モード	360
キャッチホン	178
ギャラリー	300
切り取り	98
緊急速報「エリアメール」	227
クイック検索ボックス	136
クイック設定ボタン	116
公共モード（電源OFF）設定	179
声の宅配便	178
国際電話（WORLD CALL）	176
国際ローミング（WORLD WING）	451
個人設定	383
コピー	98

さ

最近使用したアプリの一覧	141
サウンドと画面表示	368
辞書	342

システム	400
自分の電話番号を確認	419
指紋認証機能を利用する	87
充電	67
仕様	491
省電力モード	410
初期設定	106
スクリーンキャプチャ	86
スクリーンセーバー	379
スクロール	79
ステータスバー	110
主なステータスアイコン	113
主な通知アイコン	110
ストレージ	411
スワイプ	79
静止画	286
撮影	286
表示	302
接続と共有	367
設定メニュー	346
ソフトウェア更新	488

た

タスクマネージャー	142
タッチスクリーン	77
タップ	78
ダブルタップ	78
近くのデバイス	447
着信音の設定	377

着信音量の設定	376
着信拒否	166, 187
SMSの送信	167, 186
伝言メモで応答	167
追加サービス	184
通知LED	109
通知音の設定	377
通知パネル	115
通話設定	178
ディスプレイ	58
ディスプレイの表示方向を切り替え	85
データ使用量	361
手書き入力キーボード	97
テザリング	356
テレビ（ワンセグ）	264
電源ON / OFF	74
伝言メモ	175
転送でんわサービス	178
電卓	335
電池パック	64
充電時間の目安	491
寿命	67
使用時間の目安	68
取り付けかた	65
取り外しかた	66
電話帳	188
電話をかける	195
登録	188
電話を受ける	166
電話をかける	160

電話帳	195
履歴	173
動画	287
再生	302, 310
撮影	287
時計	327
アラーム	327
ストップウォッチ	330
世界時計	329
タイマー	330
ドコモminiUIMカード	61
暗証番号	61
取り付けかた	62
取り外しかた	63
ドコモバックアップ	336
microSDカード	336
データ保管BOX	339
ドコモメール	201
ドラッグ	78
トルカ	253

な

ネットワーク接続	348
----------	-----

は

バイブの設定	377
ハイブリッドダウンロード	356
パソコンへのUSB接続	441

発信者番号通知	178
発信者番号の通知／非通知 (186 / 184)	162
発着信履歴	173
貼り付け	98
比吸収率 (SAR)	498
ビデオ	311
フリック	79
プレイヤー	308
ブロックモード	391
ボイスレコーダー	332
防水／防塵性能	50
ホーム画面	118, 146
ホーム切替	384

ま

マイク付ステレオヘッドセット	168, 459
マイファイル	427
マイプロフィール	195
マイマガジン	157
マチキャラ表示設定	153
マナーモード	375
マルチウィンドウ	120
メール	201
Eメール	211
Gmail	225
SMS	202
ドコモメール	201
メディアファイル共有機能対応機器	446
メディアプレイヤー	308

モーション	392
文字入力	92
文字入力設定	99
モバキャス	255

や

ユーザーとバックアップ	393
-------------	-----

ら

リモートコントロール	417
留守番電話サービス	178
ロック画面	76
ロングタッチ	78

わ

ワンセグ	264
------	-----

英数字

ACアダプタ	72
充電	72
Bluetooth	433
docomo LIVE UX	146
きせかえ	151
dマーケット	244
dメニュー	243
Eメール	211
アカウント設定	211

作成送信	219
受信	221
設定	213
Gmail	225
Google Play	244
Google マップ	324
経路検索	325
GPS	322
LED インジケーター	380
microSD カード	423
初期化	426
取り付けかた	424
取り外しかた	425
NFC / おサイフケータイ 設定	365
Play ストア	244
Samsung Apps	246
Samsung Kies	442
Samsung アカウント	397
Samsung 日本語キーパッド	92
キーボードの種類	95
ワイルドカード予測	96
S Health	343
SIM カードロックを設定	416
SIM 変更アラート	418
SMS	202
作成送信	202
受信	204
sp モード	363
S ファインダー	141
S プランナー	331

Sプレビュー	84
Sボイス	345
TouchWizかんたんホーム	123
TouchWiz標準ホーム	118
VPN	364
Wi-Fi	349
WORLD CALL	176
YouTube	341
186 / 184	162

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

spモードから dメニュー→「お客様サポート」→「ドコモオンライン手続きの一覧をみる」〔パケット通信料無料〕

パソコンから My docomo (<http://www.mydocomo.com/>)
⇒ ドコモオンライン手続き一覧

- ※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
- ※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
- ※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID / パスワード」が必要となります。
- ※ 「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID / パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は裏表紙の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
- ※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
- ※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに 注意しましょう

- レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

- 駅のホームや道路などで歩きながらスマートフォンを使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因となります。
- スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ 公共モード（電源OFF）（P.179）

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

■ バイブ（P.377）

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ マナーモード（サイレント、バイブ）（P.375）

キー確認音・着信音など本端末から鳴る音を消します。

※ ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.178）、転送でんわサービス（P.178）などのオプションサービスが利用できます。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのU・S・A・J・Cへの協力者。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、
卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

**海外での紛失、盗難、故障および
各種お問い合わせ先（24時間受付）**

ドコモの携帯電話からの場合

**滞在国の国際電話
アクセス番号** **-81-3-6832-6600*（無料）**

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※ SC-04Fからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

**ユニバーサルナンバー用
国際識別番号** **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先 〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

受付時間 24時間 (年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

試供品のお問い合わせ先

■サムスン電子ジャパン株式会社

0120-363-905

受付時間 午前9:00～午後5:00 (年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 試供品については、本書内でご確認ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。



Li-ion 00



危険です、
歩きスマホ。

販売元 株式会社NTTドコモ

製造元 Samsung Electronics Co.,Ltd.

'14.3 (1版)